

西行政センター特定天井及び外壁タイルその他改修工事

図面リスト							
A-00	表紙 図面リスト	-	A-22	1階天井伏図	1:200	M-01	-
A-01	特記仕様書(1)	-	A-23	2階天井伏図	1:200	M-02	機械設備 1階平面図 1:150
A-02	特記仕様書(2)	-	A-24	3階天井伏図	1:200	M-03	機械設備 3階平面図 1:150
A-03	特記仕様書(3)	-	A-25	4階天井伏図	1:200	M-04	機械設備 4階平面図 1:150
A-04	特記仕様書(4)	-	A-26	建具表	1:50	M-05	機械設備 R階平面図 1:150
A-05	-	-	A-27	B 1階平面図 (開口寸法図)	1:200		
A-06	工事区分表	-	A-28	1階平面図 (開口寸法図)	1:200		
A-07	工事概要・付近見取図	-	A-29	2階平面図 (開口寸法図)	1:200		
A-08	配置図	1:400	A-30	3階平面図 (開口寸法図)	1:200		
A-09	(既存)外部仕上表・内部仕上表	-	A-31	4階平面図 (開口寸法図)	1:200		
A-10	B 1階平面図	1:200	A-32	展開図 1 器具庫	1:50		
A-11	1階平面図	1:200	A-33	展開図 2 更衣室	1:50		
A-12	2階平面図	1:200	A-34	展開図 3 学習室 幼児室	1:50		
A-13	3階平面図	1:200	A-35	展開図 4 体育室1	1:50		
A-14	4階平面図	1:200	A-36	展開図 5 体育室2	1:50		
A-15	R階平面図	1:200	A-37	-			
A-16	立面図 1	1:200	A-38	各部詳細図	1:30		
A-17	立面図 2	1:200	A-39	体育室天井図	1:100・20		
A-18	断面図	1:200	A-40	体育室天井地下地補強図	1:100・30		
A-19	矩計詳細図(1)	1:50	A-41	仮設参考図	1:200		
A-20	矩計詳細図(2)	1:50					
A-21	矩計詳細図(3)	1:50					



公共建築課長

承認 設計 設計年月日

2019年11月 日

工事名 西行政センター特定天井及び外壁タイルその他改修工事

図面番号

図面名称 表紙 図面リスト

Scale -

A-00

特記仕様書																																																																																																																
<p>1. 本特記仕様書は、本工事における建築関連工事に適用する。</p> <p>2. 本特記仕様書における採用事項</p> <p>①. 項目欄は番号等に○印を付したものを適用する。</p> <p>②. 項目欄に○印を付し特記事項欄に○印を付していない場合は標準仕様書による。</p> <p>③. 特記事項は○印を付したものを適用する。但し○印の付かない場合は※印の付した事項を採用する。</p> <p>○印と◎印を付した場合は共に適用する。</p> <p>3. 本特記仕様書に記載なき事項については下記による。</p> <p>○国土交通省大臣官房長官官務部監修 公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)平成28年版</p> <p>○国土交通省大臣官房長官官務部監修 公共建築工事標準仕様書(建築工事編)平成28年版</p> <p>○国土交通省大臣官房長官官務部監修 建築物解体工事共通仕様書 平成24年版</p> <p>○「改正建築基準法に対応した建築物のシックハウス対策マニュアル」(編纂:国土交通省住宅局建築指導課)</p> <p>4. その他事項</p> <p>・各項目欄の番号(例:1.4 ○○○)は標準仕様書の番号(章番号を除く)に照合する</p> <p>・各項目欄の番号(例:1.* ○○○)は標準仕様書の番号(章番号を除く)に該当しない項目とする</p> <p>・各項目欄の番号(例:●○章***、○**、●***)は公共建築工事標準仕様書の各項目に相当する</p>																																																																																																																
<p>1.4 工事実績情報登録</p> <p>1.* 建築基準法の風圧</p> <p>積雪に関する規定</p> <p>3.3 電気保安技術者</p> <p>3.5 施工条件</p> <p>3.12 発生材の処理等</p> <p>4.* 使用材料</p> <p>5.2 施工数量調査</p> <p>5.3 調査のための</p> <p>5.4 現場部分の補修</p> <p>5.5 施工の検査等</p> <p>5.6 化学物質の濃度測定</p> <p>5.7 完成時の提出図書</p> <p>5.8 完成図</p> <p>5.9 安全に関する資料</p>	<p>特記事項</p> <p>登録: ・適用 ・不適用 ○現場説明書による</p> <p>基準風速: ・$V_0 = 3.4$ (m/s) 平成12年建築第1454号第2</p> <p>地表面粗度区分: ・Ⅰ ・Ⅱ ・Ⅲ ・Ⅳ</p> <p>積雪区分: ・区域=(32)/$\alpha=0.0009$ / $\beta=0.00$ / $\gamma=0.21$ / $R=0$</p> <p>平成12年建築第1445号 別表</p> <p>技術者の適用: ・適用 ・不適要</p> <p>施工順序等の制約: ・無し ○有り ○現場説明書による ・図示</p> <p>工事車両の駐車場所: ・図示 ○現場説明書による ○敷地内</p> <p>資材、機材置場: ・図示 ○現場説明書による ○敷地内</p> <p>発生土仮置場: ・図示 ○現場説明書による</p> <p>その他の施工条件: ・図示 ○現場説明書による ○監督員・施設管理者との協議による</p> <p>○発生者への引渡発生材:</p> <p>・特別管理産業廃棄物:</p> <p>・リサイクル発生材:</p> <p>ひ素・カドミウム含有せつこうボードの処理:</p> <p>・製造業者回収委託処理 ・管理型最終処分場埋立処理</p> <p>標準仕様書1.3.8(b) (5) (i) 及び(ii)以外のせつこうボードの処理:</p> <p>・管理型最終処分場埋立処理 ・再資源化</p> <p>PCB含有シーリングの調査方法: ・図示</p> <p>PCB含有シーリングの撤去方法: ・図示</p> <p>○仮設材以外の全ての建築材料(仕上材、下地材、副資材)のホルムアルデヒド放散量はJIS等の材料規格において放散量が規定されている場合は原則としてF☆☆☆☆とする。但し使用予定材料にF☆☆☆☆が存在しない場合は監督員と協議の上決定する。</p> <p>調査範囲: ・図示 ○工事概要(A-07)による ○現場説明書による</p> <p>調査方法: ○非破壊検査 ・破壊検査 ○テストハンマー・スケール等及び目視</p> <p>補修方法: ・破壊検査後の復旧に関しては監督員と協議の上決定する</p> <p>・図示</p> <p>見本施工の実施: ・実施しない ・実施する【実施箇所等: ・図示</p> <p>濃度測定: ○未実施 ・実施</p> <p>化学物質濃度を下記のとおり測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し報告すること。</p> <p>測定対象物質: ・ホルムアルデヒド ・トルエン ・キシレン ・エチルベンゼン ・ステレン ・図示</p> <p>測定方法: ・簡易法 ・バツシブ型採取機器 ・測定パッジ;</p> <p>測定対象室: ・図示</p> <p>測定箇所数: ・図示 ・箇所</p> <p>・厚生労働省の標準的測定方法による場合の測定者は、環境計量証明事業所として登録を行っている者、又は作業環境測定事業所の有機溶剤の登録を行っている者とする。</p> <p>完成図: ・必要 ・不要 ○現場説明書による</p> <p>安全に関する資料: ○必要 ・不要</p> <p>提出部数: ※各2部 ・部</p> <p>種類: ※表1.8.1 ・一般図 ・実施設計図一式</p> <p>記入内容: ※表1.8.1 ・図示</p> <p>提出要領: ・A3原稿2つ折り製本 ・A3版原図(CAD作図による) ・CADデータ</p> <p>施工計画書: ○監督員の承諾を受けたもの</p> <p>施工図: ・A3原稿2つ折り製本 ・A3縮小版第2原図 ・CADデータ</p> <p>○監督員の承諾を受けたもの</p> <p>安全に関する資料: ・安全に関する資料 提出部数: ※各2部 ・部</p> <p>内部足場の種類: ○脚立 ・足場板 ・0-リフター ○脚立</p> <p>外部足場の設置、種類: ・設置しない ○設置する ○伸縮足場 ○車台足場</p> <p>保護シートの設置: ○設置する ・設置しない</p> <p>既存部分養生材料: ○ビニールシート ○その他: 施工者にて適材適所を選択する</p> <p>既存家具養生材料: ・ビニールシート ○その他: 施工者にて適材適所を選択する</p> <p>既存ブラインド、カーテンの養生方法:</p> <p>・指定場所に保管し再設置 ・指定場所に保管し清掃の上再設置</p>																																																																																																															
<p>1.1 適用範囲</p> <p>1.2 施工一般</p> <p>1.3 防水改修工の種類</p> <p>1.4 防水改修工の種類</p> <p>1.5 シーリング改修工の種類</p> <p>2.1 ルーフの処理</p> <p>2.2 既存下地の補修</p> <p>3.1 材料</p>	<p>特記事項</p> <p>仮設間仕切り: ・無し ○有り 仮設参考図参照</p> <p>設置箇所: ○図示</p> <p>種別: ○種別B種 ・C種</p> <p>仮設扉: ・不要 ・必要【設置箇所: ・図示 ○注意の場所</p> <p>仮設扉の種類: ・鋼製 ・木製 ・図示 ○施工者にて適切な材料を選択</p> <p>監督員事務所等の設置: ・必要 ・不要</p> <p>○監督員事務所の規模、設備、備品等</p> <p>・()号(会議室()m²を含む)</p> <p>・()号に会議室()m²を加えた規模</p> <p>・専用電話 ・兼用FAX ・冷暖房機 ・机 ・椅子 ・書棚 ・検査用具</p> <p>・その他:</p> <p>受注者事務所等の設置: ・必要 ・不要</p> <p>○受注者事務所の規模、設備、備品等</p> <p>・()号(会議室()m²を含む)</p> <p>・()号に会議室()m²を加えた規模</p> <p>・専用電話 ・兼用FAX ・冷暖房機 ・机 ・椅子 ・書棚 ・検査用具</p> <p>・その他:</p> <p>構内既存の用水施設: ・利用できない ○利用できる(・有償 ・無償)</p> <p>構内既存の電力施設: ・利用できない ○利用できる(・有償 ・無償)</p> <p>・動力以外利用できる(・有償 ・無償)</p> <p>1. 一般事項</p> <p>防水工事の保証書の提出及び保証年限</p> <p>・保証年限10年;7mm防水 ・合成高分子メーキング防水</p> <p>・保証年限10年;塗膜防水 ・その他:</p> <p><保証書(請負人、材料製造所、防水施工者の連帯保証)は各3通提出する。防水施工者は、防水材料製造所の施工者とし、監督員の承諾を受ける></p> <p>降雨等による養生方法: ※標準仕様書3.1.3(e)による ・図示</p> <p>○防水改修工の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>工法の種類</th> <th>備考(特記工程)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">工事概要(A-07)による</td> </tr> </tbody> </table> <p>○シーリング改修工の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>工法の種類</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○打継目地</td> <td>シーリング再充填工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○既存タイル目地</td> <td>シーリング再充填工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○建具廻り・水切上</td> <td>シーリング再充填工法</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>2. 既存防水層の処理</p> <p>2重ドレンの設置: ・行わない ○行う(施工箇所: 図示</p> <p>補修箇所の形状、長さ、数量等: ○下表による ・図示</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>形状・長さ数量等</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">工事概要(A-07)による</td> </tr> </tbody> </table> <p>3. アスファルト防水</p> <p>改質アスファルトルーフィングシートの種別・厚さ:</p> <p>※標準仕様書3.3.2(g)による ・メーカ仕様による</p> <p>部分粘着層付改質アスファルトルーフィングの種別・厚さ:</p> <p>※標準仕様書3.3.2(g)による ・メーカ仕様による</p> <p>保護防水断熱工法の断熱材の材質: ※標準仕様書3.3.2(h)による ・メーカ仕様による</p> <p>保護防水断熱工法の断熱材の厚さ: ・図示</p> <p>露出防水断熱工法の断熱材の材質: ※標準仕様書3.3.2(i)による ・メーカ仕様による</p> <p>露出防水断熱工法の断熱材の厚さ: ・図示</p> <p>絶縁シートの材料の指定: ※標準仕様書3.3.2(j)による ・メーカ仕様による</p> <p>保護コンクリートの設計基準強度: ※18N/mm² ・21N/mm²</p> <p>保護コンクリートのスランプ: ※18cm ・15cm</p> <p>防水立上り部の保護: ・湿式 ・乾式</p> <p>立上り部の保護レンガの材料: ※標準仕様書3.3.2(a)による</p>	施工部位	工法の種類	備考(特記工程)	工事概要(A-07)による			施工部位	工法の種類	備考	○打継目地	シーリング再充填工法		○既存タイル目地	シーリング再充填工法		○建具廻り・水切上	シーリング再充填工法		施工部位	形状・長さ数量等	備考	工事概要(A-07)による																																																																																									
施工部位	工法の種類	備考(特記工程)																																																																																																														
工事概要(A-07)による																																																																																																																
施工部位	工法の種類	備考																																																																																																														
○打継目地	シーリング再充填工法																																																																																																															
○既存タイル目地	シーリング再充填工法																																																																																																															
○建具廻り・水切上	シーリング再充填工法																																																																																																															
施工部位	形状・長さ数量等	備考																																																																																																														
工事概要(A-07)による																																																																																																																
<p>3.3 種別及び工程</p> <p>3.4 材料</p> <p>3.5 種別及び工法</p> <p>4.2 材料</p> <p>4.3 種別及び工法</p> <p>5.2 材料</p>	<p>特記事項</p> <p>○屋根保護防水</p> <p>防水立上りの保護コンクリートの適用: ・適用しない ・適用する</p> <p>防水立上りの保護コンクリートの工法: ・図示</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>工法/種別</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・P1B/・B-1 ※B-2 ・B-3</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・P1B1/・B1-1 ※B1-2 ・B1-3</td> <td></td> <td>断熱材: t=</td> </tr> <tr> <td>・T1B1/・B1-1 ※B1-2 ・B1-3</td> <td></td> <td>断熱材: t=</td> </tr> <tr> <td>・P2A1/・A1-1 ※A1-2 ・A1-3</td> <td></td> <td>断熱材: t=</td> </tr> <tr> <td>・P2A/・A-1 ※A-2 ・A-3</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○屋根露出防水</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>工法/種別</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・M4C/・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4</td> <td></td> <td>仕上塗料;</td> </tr> <tr> <td>・M3D/・D-1 ※D-2 ・D-3 ・D-4</td> <td></td> <td>仕上塗料;</td> </tr> <tr> <td>・M0D/・D-1 ※D-2 ・D-3 ・D-4</td> <td></td> <td>仕上塗料;</td> </tr> </tbody> </table> <p>○M30工法及びPOD工法の脱気装置</p> <p>脱気装置の種類: ※製造メーカ仕様による ・図示</p> <p>脱気装置の設置数量: ※製造メーカ仕様による ・図示</p> <p>○屋根露出防水断熱工法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>工法/種別</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・P0D1/・D1-1 ※D1-2</td> <td></td> <td>仕上塗料;</td> </tr> <tr> <td>・M3D1/・D1-1 ※D1-2</td> <td></td> <td>仕上塗料;</td> </tr> <tr> <td>・M4D1/・D1-1 ※D1-2</td> <td></td> <td>仕上塗料;</td> </tr> </tbody> </table> <p>脱気装置の種類: ※製造メーカ仕様による ・図示</p> <p>脱気装置の設置数量: ※製造メーカ仕様による ・図示</p> <p>○屋内防水</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>工法/種別</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・P1E/・E-1 ※E-2</td> <td></td> <td>保護層: 普通コナート</td> </tr> <tr> <td>・P2E/・E-1 ※E-2</td> <td></td> <td>保護層: 普通コナート</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保護層: 軽量コナート</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保護層: 特殊t=30</td> </tr> </tbody> </table> <p>保護層のコンクリートの厚さ: ・100mm ※80mm ※60mm ・図示</p> <p>防水立上り部の保護: ・露出 ・コナート ・レガ押え ・乾式保護材:</p> <p>屋上排水溝: ・設置する ・設置しない</p> <p>4. 改質アスファルトシート防水</p> <p>改質アスファルトシートの種別・厚さ:</p> <p>※標準仕様書3.4.1~3.4.3による ・メーカ仕様による</p> <p>粘着層付改質アスファルトシートの種別・厚さ:</p> <p>※標準仕様書3.4.1~3.4.3による ・メーカ仕様による</p> <p>露出防水断熱工法の断熱材の材質・厚さ:</p> <p>※標準仕様書3.4.2(a)による ・メーカ仕様による</p> <p>○屋根露出防水密着工法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>工法/種別</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・M4AS/・AS-T1・AS-T2・AS-J2</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○屋根露出防水断熱工法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>工法/種別</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・M3AS/・AS-T3・AS-T4・AS-J1・AS-J3</td> <td></td> <td>脱気装置: ・設置</td> </tr> <tr> <td>・M4AS/・AS-T3・AS-T4・AS-J1・AS-J3</td> <td></td> <td>脱気装置: ・設置</td> </tr> </tbody> </table> <p>○屋根露出防水断熱工法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>工法/種別</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・M3AS1/・AS1-T1・AS1-J1</td> <td></td> <td>防護層: ・設置</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>脱気装置: ・設置</td> </tr> <tr> <td>・M4AS1/・AS1-T1・AS1-J1</td> <td></td> <td>防護層: ・設置</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>脱気装置: ・設置</td> </tr> <tr> <td>・M4AS1/・AS1-T1・AS1-J1</td> <td></td> <td>防護層: ・設置</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>脱気装置: ・設置</td> </tr> </tbody> </table> <p>5. 合成高分子系ルーフィングシート防水</p> <p>ルーフィングシートの種類・厚さ: ※標準仕様書3.5.1~3.5.3による</p> <p>絶縁用シート: ※発泡ポリウレタン ・図示</p> <p>断熱工法に用いる断熱材: ※標準仕様書3.5.2(a)による ・図示</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工法種別</th> <th>種類/種別</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>S-F1(SI-F1)</td> <td>・加硫ゴム系/均質シート・複合シート</td> <td>※1.2 ・1.5 ・2.0</td> </tr> <tr> <td>S-F2(SI-F2)</td> <td>・エポキシ樹脂系/均質シート</td> <td>・1.2 ・1.5 ※2.0</td> </tr> <tr> <td>S-M1(SI-M1)</td> <td>・加硫ゴム系/均質シート・複合シート</td> <td>・1.2 ※1.5 ・2.0</td> </tr> <tr> <td>S-M2(SI-M2)</td> <td>・エポキシ樹脂系/均質シート</td> <td>・1.2 ※1.5 ・2.0</td> </tr> <tr> <td>S-M3(SI-M3)</td> <td>・塩化ビニル樹脂系/均質シート・複合シート</td> <td>※1.2 ・1.5 ・2.0</td> </tr> </tbody> </table>	施工部位	工法/種別	備考	・P1B/・B-1 ※B-2 ・B-3			・P1B1/・B1-1 ※B1-2 ・B1-3		断熱材: t=	・T1B1/・B1-1 ※B1-2 ・B1-3		断熱材: t=	・P2A1/・A1-1 ※A1-2 ・A1-3		断熱材: t=	・P2A/・A-1 ※A-2 ・A-3			施工部位	工法/種別	備考	・M4C/・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4		仕上塗料;	・M3D/・D-1 ※D-2 ・D-3 ・D-4		仕上塗料;	・M0D/・D-1 ※D-2 ・D-3 ・D-4		仕上塗料;	施工部位	工法/種別	備考	・P0D1/・D1-1 ※D1-2		仕上塗料;	・M3D1/・D1-1 ※D1-2		仕上塗料;	・M4D1/・D1-1 ※D1-2		仕上塗料;	施工部位	工法/種別	備考	・P1E/・E-1 ※E-2		保護層: 普通コナート	・P2E/・E-1 ※E-2		保護層: 普通コナート			保護層: 軽量コナート			保護層: 特殊t=30	施工部位	工法/種別	備考	・M4AS/・AS-T1・AS-T2・AS-J2			施工部位	工法/種別	備考	・M3AS/・AS-T3・AS-T4・AS-J1・AS-J3		脱気装置: ・設置	・M4AS/・AS-T3・AS-T4・AS-J1・AS-J3		脱気装置: ・設置	施工部位	工法/種別	備考	・M3AS1/・AS1-T1・AS1-J1		防護層: ・設置			脱気装置: ・設置	・M4AS1/・AS1-T1・AS1-J1		防護層: ・設置			脱気装置: ・設置	・M4AS1/・AS1-T1・AS1-J1		防護層: ・設置			脱気装置: ・設置	工法種別	種類/種別	厚さ(mm)	S-F1(SI-F1)	・加硫ゴム系/均質シート・複合シート	※1.2 ・1.5 ・2.0	S-F2(SI-F2)	・エポキシ樹脂系/均質シート	・1.2 ・1.5 ※2.0	S-M1(SI-M1)	・加硫ゴム系/均質シート・複合シート	・1.2 ※1.5 ・2.0	S-M2(SI-M2)	・エポキシ樹脂系/均質シート	・1.2 ※1.5 ・2.0	S-M3(SI-M3)	・塩化ビニル樹脂系/均質シート・複合シート	※1.2 ・1.5 ・2.0
施工部位	工法/種別	備考																																																																																																														
・P1B/・B-1 ※B-2 ・B-3																																																																																																																
・P1B1/・B1-1 ※B1-2 ・B1-3		断熱材: t=																																																																																																														
・T1B1/・B1-1 ※B1-2 ・B1-3		断熱材: t=																																																																																																														
・P2A1/・A1-1 ※A1-2 ・A1-3		断熱材: t=																																																																																																														
・P2A/・A-1 ※A-2 ・A-3																																																																																																																
施工部位	工法/種別	備考																																																																																																														
・M4C/・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4		仕上塗料;																																																																																																														
・M3D/・D-1 ※D-2 ・D-3 ・D-4		仕上塗料;																																																																																																														
・M0D/・D-1 ※D-2 ・D-3 ・D-4		仕上塗料;																																																																																																														
施工部位	工法/種別	備考																																																																																																														
・P0D1/・D1-1 ※D1-2		仕上塗料;																																																																																																														
・M3D1/・D1-1 ※D1-2		仕上塗料;																																																																																																														
・M4D1/・D1-1 ※D1-2		仕上塗料;																																																																																																														
施工部位	工法/種別	備考																																																																																																														
・P1E/・E-1 ※E-2		保護層: 普通コナート																																																																																																														
・P2E/・E-1 ※E-2		保護層: 普通コナート																																																																																																														
		保護層: 軽量コナート																																																																																																														
		保護層: 特殊t=30																																																																																																														
施工部位	工法/種別	備考																																																																																																														
・M4AS/・AS-T1・AS-T2・AS-J2																																																																																																																
施工部位	工法/種別	備考																																																																																																														
・M3AS/・AS-T3・AS-T4・AS-J1・AS-J3		脱気装置: ・設置																																																																																																														
・M4AS/・AS-T3・AS-T4・AS-J1・AS-J3		脱気装置: ・設置																																																																																																														
施工部位	工法/種別	備考																																																																																																														
・M3AS1/・AS1-T1・AS1-J1		防護層: ・設置																																																																																																														
		脱気装置: ・設置																																																																																																														
・M4AS1/・AS1-T1・AS1-J1		防護層: ・設置																																																																																																														
		脱気装置: ・設置																																																																																																														
・M4AS1/・AS1-T1・AS1-J1		防護層: ・設置																																																																																																														
		脱気装置: ・設置																																																																																																														
工法種別	種類/種別	厚さ(mm)																																																																																																														
S-F1(SI-F1)	・加硫ゴム系/均質シート・複合シート	※1.2 ・1.5 ・2.0																																																																																																														
S-F2(SI-F2)	・エポキシ樹脂系/均質シート	・1.2 ・1.5 ※2.0																																																																																																														
S-M1(SI-M1)	・加硫ゴム系/均質シート・複合シート	・1.2 ※1.5 ・2.0																																																																																																														
S-M2(SI-M2)	・エポキシ樹脂系/均質シート	・1.2 ※1.5 ・2.0																																																																																																														
S-M3(SI-M3)	・塩化ビニル樹脂系/均質シート・複合シート	※1.2 ・1.5 ・2.0																																																																																																														
<p>5.3 種別及び工程</p> <p>5.4 施工</p> <p>5.5 種別及び工程</p> <p>5.6 材料</p> <p>5.7 目地寸法</p> <p>5.8 シーリング材の試験</p> <p>5.9 保証年限</p> <p>5.10 材料</p> <p>5.11 工法</p> <p>5.12 材料</p> <p>5.13 工法</p>	<p>特記事項</p> <p>5.3 種別及び工程</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>工法/種別</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・POS/・S-F1(SI-F1)・S-F2(SI-F2)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・POS/・S-M1(SI-M1)・S-M2(SI-M2)・S-M3</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・POS1/・S-F1(SI-F1)・S-F2(SI-F2)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・POS1/・S-M1(SI-M1)・S-M2(SI-M2)・S-M3</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・S4S/・S-F1(SI-F1)・S-F2(SI-F2)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・S4S/・S-M1(SI-M1)・S-M2(SI-M2)・S-M3</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・S4S1/・S-F1(SI-F1)・S-F2(SI-F2)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・S4S1/・S-M1(SI-M1)・S-M2(SI-M2)・S-M3</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・S3S/・S-F1(SI-F1)・S-F2(SI-F2)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・S3S1/・S-F1(SI-F1)・S-F2(SI-F2)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・M4S/・S-M1(SI-M1)・S-M2(SI-M2)・S-M3</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・M4S1/・S-M1(SI-M1)・S-M2(SI-M2)・S-M3</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・P1S/・S-C1</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>脱気装置: ・設置</p> <p>断熱材の種類: ・押出法ポリウレタンA3種B(特付) ・図示</p> <p>断熱工法の断熱材の厚さ: ・25mm ・35mm ・50mm</p> <p>目地処理(防水種別S-C1の場合):</p> <p>PCナット下地の場合: ・図示</p> <p>ALON下地の場合: ・図示</p> <p>入隅部の増張り(防水種別S-C1の場合):</p> <p>PCナット下地の場合: ・図示</p> <p>ALON下地の場合: ・図示</p> <p>機械的固定工法の場合の風圧力に対応した工法: ・メーカ仕様による</p> <p>保護層の施行(防水種別S-C1の場合):</p> <p>平場のタタキ塗り工法: ※標準仕様書6.15.6(b)(2,3)による ・図示</p> <p>平場のタタキ塗り厚さ: ・30mm</p> <p>平場のコナートの厚さ: ・60mm ・80mm</p> <p>立上りのタタキ塗りの厚さ: ※7mm以下</p> <p>6. 塗膜防水</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>工法/種別</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">工事概要(A-07)による</td> </tr> </tbody> </table> <p>7. シーリング</p> <p>種類及び施工箇所: ○種類は標準仕様書3.7.1により施工箇所は下表による</p> <p>ノンブリードタイプシーリング材の適用: ※使用する ・使用しない</p> <p>施工箇所: ○タタキ系シーリングで仕上げありの部位</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>シーリング材の種類</th> <th>目地寸法(mm)</th> <th>保証年限</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○打継目地</td> <td>ポリウレタン系</td> <td>W30</td> <td>3年</td> </tr> <tr> <td>○既存タイル目地</td> <td>ポリサルファイド系</td> <td>W25</td> <td>3年</td> </tr> <tr> <td>○建具廻り・水切上</td> <td>変成シリコーン系</td> <td>W15</td> <td>3年</td> </tr> </tbody> </table> <p>○簡易接着性試験 ・引張接着性試験</p> <p>シーリング保証書: ○提出する ・提出しない</p> <p>○保証書(請負人、材料製造所、シーリング施工者連帯保証)は各3通提出すること。</p> <p>8. とい</p> <p>軒どいの材種: ・7mm厚被覆鋼板 ・耐候性被覆鋼板</p> <p>縦どいの材種: ・配管用鋼管 ・塩化ビニル管【・か-VP ・か-VU ・VP</p> <p>掃除口: ・有 ・無</p> <p>飾り鉢: ・塩ビ製 ・銅板製</p> <p>とい受け金物: ・ステンレス製 ・亜鉛めっき鋼板製</p> <p>ルーフトレイン: ・ステンレス製 ・銅製 ・7mm厚鋼製</p> <p>既存といの撤去及び降雨時の養生: ・仮設のといを設置する ・図示</p> <p>鋼管製といの防露: ・行う ・行わない</p> <p>施工箇所: ※標準仕様書3.8.5による</p> <p>ルーフトレインの取替え: ・行わない ・行う【標準仕様書3.8.3(h)による</p> <p>9. アルミニウム製笠木</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>工法/種別</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>・250形 ・300形 ・350形</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・オブ形式 ・ノーマル形式</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>アルミニウム製笠木の厚み: ※2.0mm</p> <p>笠木本体の表面処理: ・A-1 ・B-1</p> <p>新規笠木の目地及び撤去後の補修:</p> <p>板材折曲げ型笠木の取付方法: ・図示</p>	施工部位	工法/種別	備考	・POS/・S-F1(SI-F1)・S-F2(SI-F2)			・POS/・S-M1(SI-M1)・S-M2(SI-M2)・S-M3			・POS1/・S-F1(SI-F1)・S-F2(SI-F2)			・POS1/・S-M1(SI-M1)・S-M2(SI-M2)・S-M3			・S4S/・S-F1(SI-F1)・S-F2(SI-F2)			・S4S/・S-M1(SI-M1)・S-M2(SI-M2)・S-M3			・S4S1/・S-F1(SI-F1)・S-F2(SI-F2)			・S4S1/・S-M1(SI-M1)・S-M2(SI-M2)・S-M3			・S3S/・S-F1(SI-F1)・S-F2(SI-F2)			・S3S1/・S-F1(SI-F1)・S-F2(SI-F2)			・M4S/・S-M1(SI-M1)・S-M2(SI-M2)・S-M3			・M4S1/・S-M1(SI-M1)・S-M2(SI-M2)・S-M3			・P1S/・S-C1			施工部位	工法/種別	備考	工事概要(A-07)による			施工箇所	シーリング材の種類	目地寸法(mm)	保証年限	○打継目地	ポリウレタン系	W30	3年	○既存タイル目地	ポリサルファイド系	W25	3年	○建具廻り・水切上	変成シリコーン系	W15	3年	施工部位	工法/種別	備考		・250形 ・300形 ・350形			・オブ形式 ・ノーマル形式																																							
施工部位	工法/種別	備考																																																																																																														
・POS/・S-F1(SI-F1)・S-F2(SI-F2)																																																																																																																
・POS/・S-M1(SI-M1)・S-M2(SI-M2)・S-M3																																																																																																																
・POS1/・S-F1(SI-F1)・S-F2(SI-F2)																																																																																																																
・POS1/・S-M1(SI-M1)・S-M2(SI-M2)・S-M3																																																																																																																
・S4S/・S-F1(SI-F1)・S-F2(SI-F2)																																																																																																																
・S4S/・S-M1(SI-M1)・S-M2(SI-M2)・S-M3																																																																																																																
・S4S1/・S-F1(SI-F1)・S-F2(SI-F2)																																																																																																																
・S4S1/・S-M1(SI-M1)・S-M2(SI-M2)・S-M3																																																																																																																
・S3S/・S-F1(SI-F1)・S-F2(SI-F2)																																																																																																																
・S3S1/・S-F1(SI-F1)・S-F2(SI-F2)																																																																																																																
・M4S/・S-M1(SI-M1)・S-M2(SI-M2)・S-M3																																																																																																																
・M4S1/・S-M1(SI-M1)・S-M2(SI-M2)・S-M3																																																																																																																
・P1S/・S-C1																																																																																																																
施工部位	工法/種別	備考																																																																																																														
工事概要(A-07)による																																																																																																																
施工箇所	シーリング材の種類	目地寸法(mm)	保証年限																																																																																																													
○打継目地	ポリウレタン系	W30	3年																																																																																																													
○既存タイル目地	ポリサルファイド系	W25	3年																																																																																																													
○建具廻り・水切上	変成シリコーン系	W15	3年																																																																																																													
施工部位	工法/種別	備考																																																																																																														
	・250形 ・300形 ・350形																																																																																																															
	・オブ形式 ・ノーマル形式																																																																																																															

公共建築課長



承認 設計 設計年月日

2019年11月 日

工 事 名 西行政センター 特定天井及び外壁タイルその他改修工事

図 面 名 称 特記仕様書(1) Scale -

図面番号

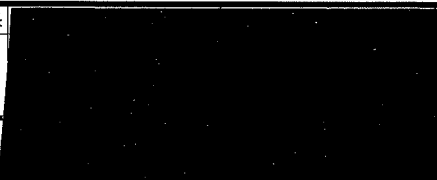
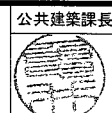
A-01

<p>5.2 性能</p> <p>8. 自動ドア開閉装置 スライディングドアの開閉性能: ※SSL-1 ※SSL-2 ※SLD-1 ※SLD-2</p> <p>スイングドアの開閉性能: ※SMD-1 ※SMD-2</p> <p>戸の開閉方法: センサーの種類: ※パルス型 ※光線型 ※熱線型 ※音波型 ※光電型 ※超音波型 ※圧力型 ※赤外線型 ※多機能型 ※センサーレス型</p> <p>凍結防止装置: ・有 ・無</p>	<p>2. 既存床の撤去並びに下地補修 合成樹脂塗膜床材の除去: 機械的除去法 ・ 目荒工法 改装後の床の清掃範囲: 〇影響範囲全て ・ 図示</p> <p>3. 既存壁の撤去並びに下地補修 コンクリート間仕切壁等の撤去に伴う構造体の補修: ※行う ・ 既存のまま ・ 抹き塗り (改修標準仕様書4.4.9による) ・ 図示</p>	<p>5.2 木材</p> <p>①一般事項 木材の含水率: ※A種 ・ B種 ②製材</p> <p>〇JASによる下地用針葉樹製材: 下表による (寸法は図示) ・ 図示</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>使用部位</th> <th>樹種</th> <th>区分等級</th> <th>含水率</th> <th>仕上げ</th> <th>防蟻防蝕処理</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>松</td> <td>1級</td> <td>SD15</td> <td>サグ</td> <td>なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>杉</td> <td>※2級</td> <td>SD20</td> <td>サグ</td> <td>なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>D15</td> <td>プレーナ</td> <td>なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>D20</td> <td>プレーナ</td> <td>なし</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	使用部位	樹種	区分等級	含水率	仕上げ	防蟻防蝕処理	備考		松	1級	SD15	サグ	なし			杉	※2級	SD20	サグ	なし					D15	プレーナ	なし					D20	プレーナ	なし		<p>6.2 材料</p> <p>ビニル床タイル、ゴム床タイルの材料: 〇図示 〇下表による</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>種類</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>〇ビニル床タイル</td> <td>〇硬質 (GT)</td> <td>※2.0</td> </tr> <tr> <td>・コネクションビニル床タイル</td> <td>軟質 (GTS)</td> <td>※2.0</td> </tr> <tr> <td>・ホビービニル床タイル (HT)</td> <td></td> <td>※2.0</td> </tr> <tr> <td>・ゴム床タイル</td> <td>・無地</td> <td>・4.0</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・マーブル</td> <td>・4.0</td> </tr> </tbody> </table>	種類	種類	厚さ(mm)	〇ビニル床タイル	〇硬質 (GT)	※2.0	・コネクションビニル床タイル	軟質 (GTS)	※2.0	・ホビービニル床タイル (HT)		※2.0	・ゴム床タイル	・無地	・4.0		・マーブル	・4.0
使用部位	樹種	区分等級	含水率	仕上げ	防蟻防蝕処理	備考																																																		
	松	1級	SD15	サグ	なし																																																			
	杉	※2級	SD20	サグ	なし																																																			
			D15	プレーナ	なし																																																			
			D20	プレーナ	なし																																																			
種類	種類	厚さ(mm)																																																						
〇ビニル床タイル	〇硬質 (GT)	※2.0																																																						
・コネクションビニル床タイル	軟質 (GTS)	※2.0																																																						
・ホビービニル床タイル (HT)		※2.0																																																						
・ゴム床タイル	・無地	・4.0																																																						
	・マーブル	・4.0																																																						
<p>9.3 性能等</p> <p>9. 自閉式上吊り引戸装置 性能: ※標準仕様書表5.9.11による</p> <p>10. 重量シャッター シャッターの種類: 〇図示 〇管理用シャッター 〇外壁用防火シャッター 〇屋内用防火シャッター 〇防煙シャッター 耐風圧性能: ・50 ・80 ・120 閉鎖機能: ※上部電動式 (手動併用) ・ 上部手動式 シャッターケース: 〇図示 〇設ける 〇設けない</p>	<p>5.1 一般事項</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>適用箇所</th> <th>種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>・A種 ・ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・A種 ・ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・A種 ・ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・A種 ・ B種 ・ C種</td> </tr> </tbody> </table>	適用箇所	種類		・A種 ・ B種 ・ C種		・A種 ・ B種 ・ C種		・A種 ・ B種 ・ C種		・A種 ・ B種 ・ C種	<p>5.3 接合具等</p> <p>5.4 木口</p> <p>5.5 防蟻・防蝕</p> <p>5.6~5.9</p> <p>5.* 壁</p> <p>5.* 床</p>	<p>6.3 材料</p> <p>9. カーペット敷き ・織じゅうたん 種類: 〇A種 〇B種 〇C種 パイル形状: 〇カット型 〇ループ型 〇カット/ループ併用 色柄: 〇無地 〇柄物 帯電性の適用: 〇適用しない 〇適用する (人体帯電圧: ※3kV以下) タフテッドカーペット パイル形状: 〇ループ 〇カット パイル長: 〇図示 〇mm ・ニードルパンチカーペット 厚さ: 〇4mm 〇7mm</p>																																											
適用箇所	種類																																																							
	・A種 ・ B種 ・ C種																																																							
	・A種 ・ B種 ・ C種																																																							
	・A種 ・ B種 ・ C種																																																							
	・A種 ・ B種 ・ C種																																																							
<p>10.2 形式及び仕様</p> <p>10. 重量シャッター シャッターの種類: 〇図示 〇管理用シャッター 〇外壁用防火シャッター 〇屋内用防火シャッター 〇防煙シャッター 耐風圧性能: ・50 ・80 ・120 閉鎖機能: ※上部電動式 (手動併用) ・ 上部手動式 シャッターケース: 〇図示 〇設ける 〇設けない</p>	<p>5.2 木材</p> <p>〇JASによる下地用針葉樹製材: 下表による (寸法は図示) ・ 図示</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>使用部位</th> <th>樹種</th> <th>区分等級</th> <th>含水率</th> <th>仕上げ</th> <th>防蟻防蝕処理</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>松</td> <td>1級</td> <td>SD15</td> <td>サグ</td> <td>なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>杉</td> <td>※2級</td> <td>SD20</td> <td>サグ</td> <td>なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>D15</td> <td>プレーナ</td> <td>なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>D20</td> <td>プレーナ</td> <td>なし</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	使用部位	樹種	区分等級	含水率	仕上げ	防蟻防蝕処理	備考		松	1級	SD15	サグ	なし			杉	※2級	SD20	サグ	なし					D15	プレーナ	なし					D20	プレーナ	なし		<p>5.3 接合具等</p> <p>5.4 木口</p> <p>5.5 防蟻・防蝕</p> <p>5.6~5.9</p> <p>5.* 壁</p> <p>5.* 床</p>	<p>6.3 材料</p> <p>9. カーペット敷き ・織じゅうたん 種類: 〇A種 〇B種 〇C種 パイル形状: 〇カット型 〇ループ型 〇カット/ループ併用 色柄: 〇無地 〇柄物 帯電性の適用: 〇適用しない 〇適用する (人体帯電圧: ※3kV以下) タフテッドカーペット パイル形状: 〇ループ 〇カット パイル長: 〇図示 〇mm ・ニードルパンチカーペット 厚さ: 〇4mm 〇7mm</p>																		
使用部位	樹種	区分等級	含水率	仕上げ	防蟻防蝕処理	備考																																																		
	松	1級	SD15	サグ	なし																																																			
	杉	※2級	SD20	サグ	なし																																																			
			D15	プレーナ	なし																																																			
			D20	プレーナ	なし																																																			
<p>11.2 形式及び仕様</p> <p>11. 軽量シャッター 開閉形式: ※手動式 ・ 上部電動式 (手動併用) 閉鎖形式: ※手動式 ・ 上部電動式 (手動併用) 耐風圧性能: ・50 ・80 ・120 スラットの材質: ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板 ステンレス鋼板 ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板にAl合金めっき鋼板 ・ 7M3押出型材 〈パイプの材質〉: ・ ステンレス鋼 ・ スチール 〈パイプ径〉: 〇図示 〇13mm 〇16mm 〇19mm 〈パイプ間隔〉: 〇図示 〇70mm 〈格子間隔〉: 〇図示 〇500mm スラットの形状: 〇ウレドタイプ形 〇オーバルタイプ形</p>	<p>〇JASによる造作用針葉樹製材: 下表による (寸法は図示) ・ 図示</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>使用部位</th> <th>樹種</th> <th>区分等級</th> <th>含水率</th> <th>仕上げ</th> <th>防蟻防蝕処理</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>杉</td> <td>無節</td> <td>SD15</td> <td>サグ</td> <td>なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>杉</td> <td>※上小節</td> <td>SD18</td> <td>サグ</td> <td>なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>松</td> <td>※小節</td> <td>D15</td> <td>プレーナ</td> <td>なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>並</td> <td>D18</td> <td>プレーナ</td> <td>なし</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	使用部位	樹種	区分等級	含水率	仕上げ	防蟻防蝕処理	備考		杉	無節	SD15	サグ	なし			杉	※上小節	SD18	サグ	なし			松	※小節	D15	プレーナ	なし			並	D18	プレーナ	なし			<p>5.3 接合具等</p> <p>5.4 木口</p> <p>5.5 防蟻・防蝕</p> <p>5.6~5.9</p> <p>5.* 壁</p> <p>5.* 床</p>	<p>6.3 材料</p> <p>9. カーペット敷き ・織じゅうたん 種類: 〇A種 〇B種 〇C種 パイル形状: 〇カット型 〇ループ型 〇カット/ループ併用 色柄: 〇無地 〇柄物 帯電性の適用: 〇適用しない 〇適用する (人体帯電圧: ※3kV以下) タフテッドカーペット パイル形状: 〇ループ 〇カット パイル長: 〇図示 〇mm ・ニードルパンチカーペット 厚さ: 〇4mm 〇7mm</p>																		
使用部位	樹種	区分等級	含水率	仕上げ	防蟻防蝕処理	備考																																																		
	杉	無節	SD15	サグ	なし																																																			
	杉	※上小節	SD18	サグ	なし																																																			
	松	※小節	D15	プレーナ	なし																																																			
	並	D18	プレーナ	なし																																																				
<p>12.2 形式及び仕様</p> <p>12. オーバーヘッドドア セクション材料による区別: 〇図示 〇下表による</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>セクション材料による区別</th> <th>開閉方式による種類</th> <th>収納形式による区分</th> <th>ガイドレールの材料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・チチア</td> <td>・バラス式</td> <td>・スリット形</td> <td>・鋼製</td> </tr> <tr> <td>・7M3コルダ</td> <td>・チェーン式</td> <td>・ロープ形</td> <td>・ステンレス製</td> </tr> <tr> <td>・ワイバークラスタ</td> <td>・電動式</td> <td>・パイプ形</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・パイプ形</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>耐風圧性能: ・50 ・75 ・100 ・125 ガイドレールの材質: ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板 ステンレス鋼板</p>	セクション材料による区別	開閉方式による種類	収納形式による区分	ガイドレールの材料	・チチア	・バラス式	・スリット形	・鋼製	・7M3コルダ	・チェーン式	・ロープ形	・ステンレス製	・ワイバークラスタ	・電動式	・パイプ形				・パイプ形		<p>〇JAS以外の製材: 下表による (寸法は図示) ・ 図示</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>使用部位</th> <th>樹種</th> <th>材面の品質</th> <th>含水率</th> <th>寸法</th> <th>防蟻防蝕処理</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>松</td> <td>※A種</td> <td>15%</td> <td>図示</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>杉</td> <td>B種</td> <td>18%</td> <td>図示</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>松</td> <td></td> <td>20%</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	使用部位	樹種	材面の品質	含水率	寸法	防蟻防蝕処理	備考		松	※A種	15%	図示				杉	B種	18%	図示				松		20%				<p>5.3 接合具等</p> <p>5.4 木口</p> <p>5.5 防蟻・防蝕</p> <p>5.6~5.9</p> <p>5.* 壁</p> <p>5.* 床</p>	<p>6.3 材料</p> <p>9. カーペット敷き ・織じゅうたん 種類: 〇A種 〇B種 〇C種 パイル形状: 〇カット型 〇ループ型 〇カット/ループ併用 色柄: 〇無地 〇柄物 帯電性の適用: 〇適用しない 〇適用する (人体帯電圧: ※3kV以下) タフテッドカーペット パイル形状: 〇ループ 〇カット パイル長: 〇図示 〇mm ・ニードルパンチカーペット 厚さ: 〇4mm 〇7mm</p>					
セクション材料による区別	開閉方式による種類	収納形式による区分	ガイドレールの材料																																																					
・チチア	・バラス式	・スリット形	・鋼製																																																					
・7M3コルダ	・チェーン式	・ロープ形	・ステンレス製																																																					
・ワイバークラスタ	・電動式	・パイプ形																																																						
		・パイプ形																																																						
使用部位	樹種	材面の品質	含水率	寸法	防蟻防蝕処理	備考																																																		
	松	※A種	15%	図示																																																				
	杉	B種	18%	図示																																																				
	松		20%																																																					
<p>13. 材料</p> <p>13. ガラス</p> <p>ガラスの種類: 〇器具表による</p> <p>ガラス留め材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>留め材の種類</th> <th>種類</th> <th>材質</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・7M3コルダ</td> <td>・チチア</td> <td>※チチア材 ・ パチ材 (1種 ・ 2種)</td> </tr> <tr> <td>〇鋼製</td> <td>〇チチア</td> <td>※チチア材 ・ パチ材 (1種 ・ 2種)</td> </tr> <tr> <td>〇ステンレス製</td> <td>〇チチア</td> <td>※チチア材 ・ パチ材 (1種 ・ 2種)</td> </tr> <tr> <td>・木製</td> <td>・チチア</td> <td>※チチア材 ・ パチ材 (木製用)</td> </tr> </tbody> </table> <p>ガラス溝の寸法、形状等</p> <p>13.4 工法</p> <p>13.5 5M3タイプ積み</p>	留め材の種類	種類	材質	・7M3コルダ	・チチア	※チチア材 ・ パチ材 (1種 ・ 2種)	〇鋼製	〇チチア	※チチア材 ・ パチ材 (1種 ・ 2種)	〇ステンレス製	〇チチア	※チチア材 ・ パチ材 (1種 ・ 2種)	・木製	・チチア	※チチア材 ・ パチ材 (木製用)	<p>〇JASによる造作用針葉樹製材: 下表による (寸法は図示) ・ 図示</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>使用部位</th> <th>樹種</th> <th>区分等級</th> <th>含水率</th> <th>仕上げ</th> <th>防蟻防蝕処理</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>杉</td> <td>特等</td> <td>D10</td> <td>サグ</td> <td>なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>杉</td> <td>※1等</td> <td>D13</td> <td>プレーナ</td> <td>K1</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>2等</td> <td></td> <td></td> <td>なし</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	使用部位	樹種	区分等級	含水率	仕上げ	防蟻防蝕処理	備考		杉	特等	D10	サグ	なし			杉	※1等	D13	プレーナ	K1				2等			なし		<p>5.3 接合具等</p> <p>5.4 木口</p> <p>5.5 防蟻・防蝕</p> <p>5.6~5.9</p> <p>5.* 壁</p> <p>5.* 床</p>	<p>6.3 材料</p> <p>9. カーペット敷き ・織じゅうたん 種類: 〇A種 〇B種 〇C種 パイル形状: 〇カット型 〇ループ型 〇カット/ループ併用 色柄: 〇無地 〇柄物 帯電性の適用: 〇適用しない 〇適用する (人体帯電圧: ※3kV以下) タフテッドカーペット パイル形状: 〇ループ 〇カット パイル長: 〇図示 〇mm ・ニードルパンチカーペット 厚さ: 〇4mm 〇7mm</p>										
留め材の種類	種類	材質																																																						
・7M3コルダ	・チチア	※チチア材 ・ パチ材 (1種 ・ 2種)																																																						
〇鋼製	〇チチア	※チチア材 ・ パチ材 (1種 ・ 2種)																																																						
〇ステンレス製	〇チチア	※チチア材 ・ パチ材 (1種 ・ 2種)																																																						
・木製	・チチア	※チチア材 ・ パチ材 (木製用)																																																						
使用部位	樹種	区分等級	含水率	仕上げ	防蟻防蝕処理	備考																																																		
	杉	特等	D10	サグ	なし																																																			
	杉	※1等	D13	プレーナ	K1																																																			
		2等			なし																																																			
<p>13. ガラス溝の寸法、形状等</p> <p>13.4 工法</p> <p>13.5 5M3タイプ積み</p>	<p>〇JASによる造作用針葉樹製材: 下表による (寸法は図示) ・ 図示</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>使用部位</th> <th>樹種</th> <th>区分等級</th> <th>含水率</th> <th>仕上げ</th> <th>防蟻防蝕処理</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>杉</td> <td>特等</td> <td>D10</td> <td>サグ</td> <td>なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>杉</td> <td>※1等</td> <td>D13</td> <td>プレーナ</td> <td>K1</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>2等</td> <td></td> <td></td> <td>なし</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	使用部位	樹種	区分等級	含水率	仕上げ	防蟻防蝕処理	備考		杉	特等	D10	サグ	なし			杉	※1等	D13	プレーナ	K1				2等			なし		<p>5.3 接合具等</p> <p>5.4 木口</p> <p>5.5 防蟻・防蝕</p> <p>5.6~5.9</p> <p>5.* 壁</p> <p>5.* 床</p>	<p>6.3 材料</p> <p>9. カーペット敷き ・織じゅうたん 種類: 〇A種 〇B種 〇C種 パイル形状: 〇カット型 〇ループ型 〇カット/ループ併用 色柄: 〇無地 〇柄物 帯電性の適用: 〇適用しない 〇適用する (人体帯電圧: ※3kV以下) タフテッドカーペット パイル形状: 〇ループ 〇カット パイル長: 〇図示 〇mm ・ニードルパンチカーペット 厚さ: 〇4mm 〇7mm</p>																									
使用部位	樹種	区分等級	含水率	仕上げ	防蟻防蝕処理	備考																																																		
	杉	特等	D10	サグ	なし																																																			
	杉	※1等	D13	プレーナ	K1																																																			
		2等			なし																																																			
<p>1. 一般事項</p> <p>既存間仕切り壁撤去に伴う天井、壁及び床の改修範囲: ※壁厚程度 〇図示</p> <p>天井内の既存壁の撤去に伴う取り合い天井改修範囲: ※高側800mm程度 〇図示</p> <p>天井の撤去に伴う取り合い壁の改修範囲: ※既存のまま 〇図示</p> <p>既存部分の撤去工法: 適用する: 〇標準仕様書6.2 〇標準仕様書6.3 〇標準仕様書6.4 〇図示</p> <p>新設下地の工法: 適用する: 〇標準仕様書6.5 〇標準仕様書6.6 〇標準仕様書6.7 〇図示</p> <p>仕上げの工法: ※該当項の有無により適用する 〇図示</p>	<p>〇JASによる造作用針葉樹製材: 下表による (寸法は図示) ・ 図示</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>使用部位</th> <th>樹種</th> <th>区分等級</th> <th>含水率</th> <th>仕上げ</th> <th>防蟻防蝕処理</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>杉</td> <td>特等</td> <td>D10</td> <td>サグ</td> <td>なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>杉</td> <td>※1等</td> <td>D13</td> <td>プレーナ</td> <td>K1</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>2等</td> <td></td> <td></td> <td>なし</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	使用部位	樹種	区分等級	含水率	仕上げ	防蟻防蝕処理	備考		杉	特等	D10	サグ	なし			杉	※1等	D13	プレーナ	K1				2等			なし		<p>5.3 接合具等</p> <p>5.4 木口</p> <p>5.5 防蟻・防蝕</p> <p>5.6~5.9</p> <p>5.* 壁</p> <p>5.* 床</p>	<p>6.3 材料</p> <p>9. カーペット敷き ・織じゅうたん 種類: 〇A種 〇B種 〇C種 パイル形状: 〇カット型 〇ループ型 〇カット/ループ併用 色柄: 〇無地 〇柄物 帯電性の適用: 〇適用しない 〇適用する (人体帯電圧: ※3kV以下) タフテッドカーペット パイル形状: 〇ループ 〇カット パイル長: 〇図示 〇mm ・ニードルパンチカーペット 厚さ: 〇4mm 〇7mm</p>																									
使用部位	樹種	区分等級	含水率	仕上げ	防蟻防蝕処理	備考																																																		
	杉	特等	D10	サグ	なし																																																			
	杉	※1等	D13	プレーナ	K1																																																			
		2等			なし																																																			
<p>1.3 地の部位との取合い等</p> <p>1.4 工法</p>	<p>〇JASによる造作用針葉樹製材: 下表による (寸法は図示) ・ 図示</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>使用部位</th> <th>樹種</th> <th>区分等級</th> <th>含水率</th> <th>仕上げ</th> <th>防蟻防蝕処理</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>杉</td> <td>特等</td> <td>D10</td> <td>サグ</td> <td>なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>杉</td> <td>※1等</td> <td>D13</td> <td>プレーナ</td> <td>K1</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>2等</td> <td></td> <td></td> <td>なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>3等</td> <td></td> <td></td> <td>なし</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	使用部位	樹種	区分等級	含水率	仕上げ	防蟻防蝕処理	備考		杉	特等	D10	サグ	なし			杉	※1等	D13	プレーナ	K1				2等			なし				3等			なし		<p>5.3 接合具等</p> <p>5.4 木口</p> <p>5.5 防蟻・防蝕</p> <p>5.6~5.9</p> <p>5.* 壁</p> <p>5.* 床</p>	<p>6.3 材料</p> <p>9. カーペット敷き ・織じゅうたん 種類: 〇A種 〇B種 〇C種 パイル形状: 〇カット型 〇ループ型 〇カット/ループ併用 色柄: 〇無地 〇柄物 帯電性の適用: 〇適用しない 〇適用する (人体帯電圧: ※3kV以下) タフテッドカーペット パイル形状: 〇ループ 〇カット パイル長: 〇図示 〇mm ・ニードルパンチカーペット 厚さ: 〇4mm 〇7mm</p>																		
使用部位	樹種	区分等級	含水率	仕上げ	防蟻防蝕処理	備考																																																		
	杉	特等	D10	サグ	なし																																																			
	杉	※1等	D13	プレーナ	K1																																																			
		2等			なし																																																			
		3等			なし																																																			

<p>12.2 材料</p> <p>1.2. 敷敷き 種類: A種・B種・C種 D種 (KT-I・KT-II・KT-III・KT-K・KT-M)</p>	<p>16.3 セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り</p> <p>◎タイルの役物 使用箇所: 出隅・入隅・幅木・まぐさ・窓台 製造方法: 接着成型品・一体成型品 タイルの見本焼き: 行う・行わない タイルの試験張り: 行う・行わない 壁タイル張り工法: 改良積上張り タイルの種類: 図示・下表による</p>	<p>9. つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (E-P-G) コンクリート面及びモルタル面の種類: A種・B種・C種 プaster面の種類: A種・B種・C種 せっこうボード、及びその他のボード面の種類: A種・B種・C種 塗替えの場合のしき止め: 標準仕様書7.9.2(2)による・図示 屋内木部の種類 (新規): A種・B種・C種 屋内木部の種類 (多孔質広葉樹): A種・B種・C種 屋内木部の種類 (塗替え): A種・B種・C種 屋内鉄鋼面の種類: A種・B種・C種 屋内亜鉛めっき鋼面の種類: A種・B種・C種</p>	<p>2.4 あと施工アンカー ◎接着系アンカー 引張耐力: 図示 せん断耐力: 図示 アンカーの種類: 図示・加付型 アンカーの径: 図示 アンカーの埋込深さ: 図示 アンカー筋の種類: 図示 ※異形棒鋼 アンカー筋の新設壁内への定着長さ: 図示 ※標準仕様書8.2.4(c)(6)による あと施工アンカーの性能確認試験: 行う・行わない セメントの種類: ※普通ポルトランドセメント ※混合ポルトランドセメント ※高炉セメント フェノキスルファゲ細骨材の使用: 使用する・使用しない 骨材のアルカリシリカ反応性による区分: ※A・B 鋼スラグ細骨材の使用: 使用する・使用しない 電気炉酸化スラグ細骨材の使用: 使用する・使用しない 混和剤: ※AE剤 ※AE減水剤 ※高性能AE減水剤 混和剤: ※フライアッシュ ※高炉スラグ微粉 ※膨張剤 モルタルの圧縮強度: 図示・18N/mm² モルタルのフロー値: 図示・180mm未満・180mm以上240mm未満・240mm以上 型枠の材料等: 下表による・図示</p>																																																																																													
<p>1.3. せっこうボードその他ボード及び合板張り</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>規格名称</th> <th>種類</th> <th>記号</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>木質系合板</td> <td>・木毛むく板 ・木片むく板</td> <td>・HW・NW ・HF・NF</td> <td>・25・50</td> </tr> <tr> <td>せっこうボード製品</td> <td>◎せっこうボード ・シングルス「せっこうボード」 ・強化せっこうボード ・せっこうボード ・化粧せっこうボード (1750系) ・化粧せっこうボード</td> <td>GB-R GB-S GB-F GB-L GB-D</td> <td>◎9.5・12.5 9.5・12.5 12.5・15.0 ◎9.5・7 9.5・12.5 9.5・12.5</td> </tr> <tr> <td>ロックウール吸音板</td> <td>・ロックウール化粧吸音板</td> <td>RB</td> <td>9.◎2.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>材料のM7F7H7D7放散量: ※F☆☆☆☆・F☆☆☆</p> <p>◎合板</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材種</th> <th>樹種など</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>工法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・難燃合板</td> <td>生地のまま又は透明塗料塗りの場合 ・ツツ 不透明塗料塗りの場合 ・ツツ【1級・2級】</td> <td>・4・5.5 ・6</td> <td>・A種 ※B種</td> </tr> <tr> <td>・普通合板</td> <td>・ツツ ・ツツ</td> <td>・4・5.5 ・6</td> <td>・A種 ※B種</td> </tr> <tr> <td>・捨張り用合板</td> <td>・南洋材 ・針葉樹</td> <td>・9・12</td> <td>・A種 ※B種</td> </tr> <tr> <td>・有孔合板</td> <td>・ツツ</td> <td>・4・6</td> <td>・A種 ※B種</td> </tr> <tr> <td>・天然木化粧合板</td> <td>化粧単板のそば包み ・行う ※行わない 化粧単板の厚さ ※0.3未満</td> <td>・4.2</td> <td>・A種 ※B種</td> </tr> <tr> <td>・特殊加工化粧合板</td> <td>表面仕上げの種類 ・フミン・ポリイソシアネート</td> <td>・4.0・3.0</td> <td>・A種 ※B種</td> </tr> </tbody> </table> <p>材料のM7F7H7D7放散量: ※F☆☆☆☆・F☆☆☆</p> <p>普通合板の防虫処理: ※行わない・行う</p> <p>天然木化粧合板の防虫処理: ※行わない・行う</p> <p>特殊加工化粧合板の防虫処理: ※行わない・行う</p> <p>接着剤のM7F7H7D7放散量: ※F☆☆☆☆・F☆☆☆</p> <p>せっこうボードの目地処理: 総目地処理工法・目直し工法・突付け工法</p> <p>遮音シール材: ・77系シリコン材・ゾウノシマト</p>	規格名称	種類	記号	厚さ(mm)	木質系合板	・木毛むく板 ・木片むく板	・HW・NW ・HF・NF	・25・50	せっこうボード製品	◎せっこうボード ・シングルス「せっこうボード」 ・強化せっこうボード ・せっこうボード ・化粧せっこうボード (1750系) ・化粧せっこうボード	GB-R GB-S GB-F GB-L GB-D	◎9.5・12.5 9.5・12.5 12.5・15.0 ◎9.5・7 9.5・12.5 9.5・12.5	ロックウール吸音板	・ロックウール化粧吸音板	RB	9.◎2.0	材種	樹種など	厚さ(mm)	工法	・難燃合板	生地のまま又は透明塗料塗りの場合 ・ツツ 不透明塗料塗りの場合 ・ツツ【1級・2級】	・4・5.5 ・6	・A種 ※B種	・普通合板	・ツツ ・ツツ	・4・5.5 ・6	・A種 ※B種	・捨張り用合板	・南洋材 ・針葉樹	・9・12	・A種 ※B種	・有孔合板	・ツツ	・4・6	・A種 ※B種	・天然木化粧合板	化粧単板のそば包み ・行う ※行わない 化粧単板の厚さ ※0.3未満	・4.2	・A種 ※B種	・特殊加工化粧合板	表面仕上げの種類 ・フミン・ポリイソシアネート	・4.0・3.0	・A種 ※B種	<p>17.2 材料</p> <p>◎タイルの役物 使用箇所: 出隅・入隅・幅木・まぐさ・窓台 製造方法: 接着成型品・一体成型品 タイルの見本焼き: 行う・行わない タイルの試験張り: 行う・行わない 壁タイル張り工法: 改良積上張り</p> <p>17. セルフレベリング材塗り 品質: ・セメント系・せっこう系 厚さ: ・10mm・図示</p>	<p>10.2 ***塗料塗り</p> <p>◎耐水性低汚染型2液水系 ふっ素樹脂塗料</p> <p>◎耐影部 (W-11以上) 無機無溶剤系浸透性保護材 (2回塗り) ◎水洗い 乾燥 (1日) ◎工程: 洗浄・乾燥・無機無溶剤系浸透性保護材 (2回塗り) (樹クリエイティブライフ S8-2000-4F 同等品以上)</p> <p>◎耐熱塗料 (全光型光触媒仕様)</p> <p>◎耐影部 (W-11以上) 無機無溶剤系浸透性保護材 (2回塗り) ◎水洗い 乾燥 (1日) ◎工程: 洗浄・乾燥・無機無溶剤系浸透性保護材 (2回塗り) (樹クリエイティブライフ S8-2000-4F 同等品以上)</p>	<p>2.5 ココットの材料 及び調査</p> <p>2.6 構造体用材料の 材料及び調査</p> <p>2.7 型枠の材料</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>種別・厚さ</th> <th>材質</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>※「コック」型枠用合板 (JAS)・12mm</td> <td>※複合</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※「コック」型枠用合板 (JAS)・15mm</td> <td>※南洋材</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※針葉材</td> </tr> </tbody> </table> <p>スリーブ: ※標準仕様書8.2.6(I,II)による・図示 ・硬質塩化ビニル管・溶融亜鉛めっき鋼管・鋼管・つば付き鋼管 ・つば付き鋼管 鋼材の材質: 下表による・図示</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>材質 (種類の記号)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>SS400 SSC400</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>SM490A</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>SKR400</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>SCR295</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>SN400C SN400A</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>鋼材の形状及び寸法: 図示 種類: ・H型鋼材 H12種 (S10T)・JISの高力鋼 H2種 (F10T) ・溶融亜鉛めっき高力鋼 H1種 (F8T相当)</p> <p>高力ボルトの径: 図示</p> <p>2.10 溶接材料 溶接棒等 (標準仕様書8.2.7)及びガス以外の溶接材料: 図示 モルタルの種類: 図示 ※無収縮モルタル</p> <p>2.11 柱束均しモルタル 及びゲージ材 無収縮モルタルの調査: ※標準仕様書8.2.10(b)(1)~(4)による・図示</p> <p>2.12 連続繊維材及び 含浸接着樹脂等 材料: 図示 工法: 図示 引張強度・ヤング係数等: 図示</p> <p>2.13 鋼材の材料試験等 引張りを受ける鋼材の試験: 適用する・適用しない・図示</p> <p>2.14 基礎工事に用いる 材料 杭の材料: 構造特記仕様書による・図示 杭の継手・工法等: 構造特記仕様書による・図示</p>	種類	種別・厚さ	材質		※「コック」型枠用合板 (JAS)・12mm	※複合		※「コック」型枠用合板 (JAS)・15mm	※南洋材			※針葉材	施工部位	材質 (種類の記号)	備考		SS400 SSC400			SM490A			SKR400			SCR295			SN400C SN400A																				
規格名称	種類	記号	厚さ(mm)																																																																																													
木質系合板	・木毛むく板 ・木片むく板	・HW・NW ・HF・NF	・25・50																																																																																													
せっこうボード製品	◎せっこうボード ・シングルス「せっこうボード」 ・強化せっこうボード ・せっこうボード ・化粧せっこうボード (1750系) ・化粧せっこうボード	GB-R GB-S GB-F GB-L GB-D	◎9.5・12.5 9.5・12.5 12.5・15.0 ◎9.5・7 9.5・12.5 9.5・12.5																																																																																													
ロックウール吸音板	・ロックウール化粧吸音板	RB	9.◎2.0																																																																																													
材種	樹種など	厚さ(mm)	工法																																																																																													
・難燃合板	生地のまま又は透明塗料塗りの場合 ・ツツ 不透明塗料塗りの場合 ・ツツ【1級・2級】	・4・5.5 ・6	・A種 ※B種																																																																																													
・普通合板	・ツツ ・ツツ	・4・5.5 ・6	・A種 ※B種																																																																																													
・捨張り用合板	・南洋材 ・針葉樹	・9・12	・A種 ※B種																																																																																													
・有孔合板	・ツツ	・4・6	・A種 ※B種																																																																																													
・天然木化粧合板	化粧単板のそば包み ・行う ※行わない 化粧単板の厚さ ※0.3未満	・4.2	・A種 ※B種																																																																																													
・特殊加工化粧合板	表面仕上げの種類 ・フミン・ポリイソシアネート	・4.0・3.0	・A種 ※B種																																																																																													
種類	種別・厚さ	材質																																																																																														
	※「コック」型枠用合板 (JAS)・12mm	※複合																																																																																														
	※「コック」型枠用合板 (JAS)・15mm	※南洋材																																																																																														
		※針葉材																																																																																														
施工部位	材質 (種類の記号)	備考																																																																																														
	SS400 SSC400																																																																																															
	SM490A																																																																																															
	SKR400																																																																																															
	SCR295																																																																																															
	SN400C SN400A																																																																																															
<p>1.4. 壁紙張り</p> <p>防火性能の指定: ◎F表による・図示</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品質</th> <th>検定区分</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>◎無化性樹脂系 ・織物系 ・77系ツツ系</td> <td>◎1級・2級 1級・3級・4級 1級・2級</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>材料のM7F7H7D7放散量: ◎F☆☆☆☆・F☆☆☆</p> <p>モルタル面及びプaster面の下地調整: ・RA種 ※RB種・RC種</p> <p>コンクリート面の下地調整: ・RA種 ※RB種・RC種</p> <p>せっこうボード及びその他ボード面の下地調整: ・RA種 ◎B種・RC種</p>	品質	検定区分	施工箇所	◎無化性樹脂系 ・織物系 ・77系ツツ系	◎1級・2級 1級・3級・4級 1級・2級		<p>1. 一般事項 塗料の防火材料の指定: 図示・無◎有</p> <p>2. 下地調整</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>塗装面の種類</th> <th>種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>木部 (不透明塗料塗り部)</td> <td>※RA種 ◎RB種・RC種</td> </tr> <tr> <td>木部 (透明塗料塗り部)</td> <td>・RA種 ※RB種・RC種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>・RA種 ◎B種・RC種</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td>・RA種 ※RB種・RC種</td> </tr> <tr> <td>モルタル・プaster</td> <td>・RA種 ※RB種・RC種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート・ALCパネル</td> <td>・RA種 ※RB種・RC種</td> </tr> <tr> <td>押出成形セメント板</td> <td>・RA種・RB種・RC種</td> </tr> <tr> <td>せっこうその他のボード</td> <td>種目処理工法の場合: ・RA種 ※RB種・RC種 その他の場合: ・RA種 ※RB種・RC種</td> </tr> </tbody> </table> <p>3. 鉄鋼面錆止め塗料塗り 亜鉛めっき鋼面塗: ※A種・B種・C種 亜鉛めっき鋼面内: ※A種・B種・C種 亜鉛めっき鋼面E-P-G塗装下地: ・A種・B種 ※C種 鉄鋼面見え隠れ部分新規塗り工法: ※A種・B種・C種 鉄鋼面見え隠れ部分新規塗り工法: ・A種 ※B種・C種 鉄鋼面塗替え部分工法: ・A種・B種 ◎C種</p> <p>4. 合成樹脂調合ペイント塗り (SOP) 種別: ◎1種・2種 木部の種別 (新規外部): ※A種・B種 木部の種別 (新規内部): ・A種 ※B種 木部の種別 (多孔質広葉樹): ・A種・B種 木部の種別 (塗替え): ・A種 ◎B種 鉄鋼面の種別: ・A種 ◎B種 亜鉛めっき鋼面の種別 (塗替え): ※A種・B種 亜鉛めっき鋼面の種別 (新規): ・A種 ※B種</p> <p>5. クリヤーラッカー塗り (CL) 種別: ・A種 ◎B種</p> <p>7. アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り (NAD) 種別: ・A種 ※B種</p> <p>8. 耐候性塗料塗り (DP) 鉄鋼面の種別: ・A種・B種・C種 亜鉛めっき鋼面の種別: ・A種・B種・C種 コンクリート面の種別: ・A-1種・A-2種・B-1種・B-2種・C-1種・C-2種 押出成形セメント板面の種別: ・A-1種・A-2種・B-1種・B-2種・C-1種・C-2種</p>	塗装面の種類	種別	木部 (不透明塗料塗り部)	※RA種 ◎RB種・RC種	木部 (透明塗料塗り部)	・RA種 ※RB種・RC種	鉄鋼面	・RA種 ◎B種・RC種	亜鉛めっき鋼面	・RA種 ※RB種・RC種	モルタル・プaster	・RA種 ※RB種・RC種	コンクリート・ALCパネル	・RA種 ※RB種・RC種	押出成形セメント板	・RA種・RB種・RC種	せっこうその他のボード	種目処理工法の場合: ・RA種 ※RB種・RC種 その他の場合: ・RA種 ※RB種・RC種	<p>1. 一般事項 ◎本事項は構造特記仕様書による ◎本事項は構造特記仕様書による ◎本事項は構造特記仕様書による</p> <p>1.1. コンクリート工事 1.2. 鉄骨工事 1.3. 鉄筋工事 1.4. ココットの種別</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>設計基準強度 (N/mm²)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>30</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>24</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>21</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>18・21</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>使用骨材による種類: ・普通コンクリート (下表による)・図示</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>設計基準強度 (N/mm²)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>18・21</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>18・21</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>18・21</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>使用骨材による種類: ・軽量コンクリート (下表による)・図示</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>設計基準強度 (N/mm²)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>18・21</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>18・21</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>18・21</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>スランブ: ※18cm・図示 コンクリート部材の許容差及び測定方法: ※標準仕様書8.1.4(d)(1)による 打抜き仕上げの種類 (合板せき板を用いる場合)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>種別</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>A種</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>C種</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>コンクリートの仕上りの平坦さ: ※標準仕様書8.1.4による 製作工場のグレードは下記同等以上で大臣認定された工場とする: ・S'レド'・H'レド'・M'レド'・R'レド'・J'レド'</p> <p>2. 材料 2.1 鉄筋 鉄筋の種類: ・SR295・SD295A・SD295B・SD345・SD390・図示 2.2 溶接金網 溶接金網の寸法・径: ・φ6x150x150・φ6x100x100・φ4.5x50x50・図示 2.4 あと施工アンカー ◎金属系アンカー 引張耐力: 図示 せん断耐力: 図示 アンカー本体の径: 図示 アンカー本体の埋込深さ: 図示 アンカー本体のセット方式: 図示 ※本体打込み式改良型 接合部の径及び長さ: 図示</p>	施工部位	設計基準強度 (N/mm ²)	備考		30			24			21			18・21		施工部位	設計基準強度 (N/mm ²)	備考		18・21			18・21			18・21		施工部位	設計基準強度 (N/mm ²)	備考		18・21			18・21			18・21		施工部位	種別	備考		A種			B種			C種		<p>2.8 鋼材</p> <p>鋼材の材質: 下表による・図示</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>材質 (種類の記号)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>SS400 SSC400</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>SM490A</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>SKR400</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>SCR295</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>SN400C SN400A</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>鋼材の形状及び寸法: 図示 種類: ・H型鋼材 H12種 (S10T)・JISの高力鋼 H2種 (F10T) ・溶融亜鉛めっき高力鋼 H1種 (F8T相当)</p> <p>高力ボルトの径: 図示</p> <p>2.10 溶接材料 溶接棒等 (標準仕様書8.2.7)及びガス以外の溶接材料: 図示 モルタルの種類: 図示 ※無収縮モルタル</p> <p>2.11 柱束均しモルタル 及びゲージ材 無収縮モルタルの調査: ※標準仕様書8.2.10(b)(1)~(4)による・図示</p> <p>2.12 連続繊維材及び 含浸接着樹脂等 材料: 図示 工法: 図示 引張強度・ヤング係数等: 図示</p> <p>2.13 鋼材の材料試験等 引張りを受ける鋼材の試験: 適用する・適用しない・図示</p> <p>2.14 基礎工事に用いる 材料 杭の材料: 構造特記仕様書による・図示 杭の継手・工法等: 構造特記仕様書による・図示</p> <p>3. 鉄筋の加工及び組立 継手の種類: ・重ね継手・ガス圧継手・機械継手・図示 継手の位置: 図示 主筋の重ね継手長さ: ※標準仕様書5.3.4(c)(1)による・図示 耐力壁鉄筋の重ね継手長さ: ※標準仕様書5.3.4(c)(1)による・図示 先組み工法等の継手の位置: 図示 柱への引張り鉄筋の定着長さ: ※標準仕様書5.3.4(d)(1)による・図示 土に接する柱・梁・スラブ及び壁の鉄筋のかぶり厚さ (軽量コンクリートの場合): ・図示・40mm・50mm・60mm 塩害を受ける恐れのある部分等の鉄筋のかぶり厚さ: 図示 特殊な鉄筋継手のあき寸法: 図示</p> <p>3.7 壁の配筋及び補強 壁の配筋: 図示 開口部の補強筋: 図示</p> <p>3.8 ガス圧接 抜取試験の方法: ※超音波探傷試験・引張試験</p> <p>4.2 機械式継手 機械式継手の種類: 図示 機械式継手の工法及び品質の確認方法等: 図示 ※標準仕様書8.4.2(c)による</p> <p>4.3 溶接継手 溶接継手の工法: 図示 品質の確認方法: 図示 不良継手部の修正方法: 図示 ※標準仕様書8.4.3(c)による</p> <p>7. コンクリートの工事現場内運搬並びに打込み及び締固め 外部に面する打抜き仕上げの増打厚さ: ・25mm・20mm・15mm 型枠セパレーターとしてのシアコネクタの使用: ・適用する・適用しない</p>	施工部位	材質 (種類の記号)	備考		SS400 SSC400			SM490A			SKR400			SCR295			SN400C SN400A	
品質	検定区分	施工箇所																																																																																														
◎無化性樹脂系 ・織物系 ・77系ツツ系	◎1級・2級 1級・3級・4級 1級・2級																																																																																															
塗装面の種類	種別																																																																																															
木部 (不透明塗料塗り部)	※RA種 ◎RB種・RC種																																																																																															
木部 (透明塗料塗り部)	・RA種 ※RB種・RC種																																																																																															
鉄鋼面	・RA種 ◎B種・RC種																																																																																															
亜鉛めっき鋼面	・RA種 ※RB種・RC種																																																																																															
モルタル・プaster	・RA種 ※RB種・RC種																																																																																															
コンクリート・ALCパネル	・RA種 ※RB種・RC種																																																																																															
押出成形セメント板	・RA種・RB種・RC種																																																																																															
せっこうその他のボード	種目処理工法の場合: ・RA種 ※RB種・RC種 その他の場合: ・RA種 ※RB種・RC種																																																																																															
施工部位	設計基準強度 (N/mm ²)	備考																																																																																														
	30																																																																																															
	24																																																																																															
	21																																																																																															
	18・21																																																																																															
施工部位	設計基準強度 (N/mm ²)	備考																																																																																														
	18・21																																																																																															
	18・21																																																																																															
	18・21																																																																																															
施工部位	設計基準強度 (N/mm ²)	備考																																																																																														
	18・21																																																																																															
	18・21																																																																																															
	18・21																																																																																															
施工部位	種別	備考																																																																																														
	A種																																																																																															
	B種																																																																																															
	C種																																																																																															
施工部位	材質 (種類の記号)	備考																																																																																														
	SS400 SSC400																																																																																															
	SM490A																																																																																															
	SKR400																																																																																															
	SCR295																																																																																															
	SN400C SN400A																																																																																															
<p>15.3 材料</p> <p>既製目地: ・適用・不適用</p> <p>既製目地の形状寸法等: 図示</p> <p>15.6 工法</p> <p>床の目地: ・設ける・設けない 工法: ※押し目地・切り目地</p> <p>16. タイル張り</p> <p>16.1 一般事項 伸縮調整目地の位置: ※φ4mm(縦・横共)・図示</p> <p>16.3 セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り</p> <p>タイルの種類: 図示 下表による</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>形式・形状寸法 (mm)</th> <th>用途による区分</th> <th>耐凍害性</th> <th>色</th> <th>釉薬</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>有</td> <td>無</td> <td>標準</td> <td>特注</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>有</td> <td>無</td> <td>標準</td> <td>特注</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>有</td> <td>無</td> <td>標準</td> <td>特注</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>有</td> <td>無</td> <td>標準</td> <td>特注</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>有</td> <td>無</td> <td>標準</td> <td>特注</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>有</td> <td>無</td> <td>標準</td> <td>特注</td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	形式・形状寸法 (mm)	用途による区分	耐凍害性	色	釉薬	備考				有	無	標準	特注				有	無	標準	特注				有	無	標準	特注				有	無	標準	特注				有	無	標準	特注				有	無	標準	特注	<p>3.2 塗料種別</p> <p>◎錆止め塗料塗り</p> <p>4.2 塗料の種別</p> <p>4.3 4.5 合成樹脂調合ペイント塗り (SOP)</p> <p>5.2 塗料塗り</p> <p>7.2 塗料塗り</p> <p>8.2~8.4 ***塗料塗り</p>	<p>1.4 ココットの品質</p> <p>1.5 鉄骨製作工場</p> <p>2.1 鉄筋</p> <p>2.2 溶接金網</p> <p>2.4 あと施工アンカー</p> <p>◎金属系アンカー 引張耐力: 図示 せん断耐力: 図示 アンカー本体の径: 図示 アンカー本体の埋込深さ: 図示 アンカー本体のセット方式: 図示 ※本体打込み式改良型 接合部の径及び長さ: 図示</p>	<p>3.4 継手及び定着 継手の種類: ・重ね継手・ガス圧継手・機械継手・図示 継手の位置: 図示 主筋の重ね継手長さ: ※標準仕様書5.3.4(c)(1)による・図示 耐力壁鉄筋の重ね継手長さ: ※標準仕様書5.3.4(c)(1)による・図示 先組み工法等の継手の位置: 図示 柱への引張り鉄筋の定着長さ: ※標準仕様書5.3.4(d)(1)による・図示 土に接する柱・梁・スラブ及び壁の鉄筋のかぶり厚さ (軽量コンクリートの場合): ・図示・40mm・50mm・60mm 塩害を受ける恐れのある部分等の鉄筋のかぶり厚さ: 図示 特殊な鉄筋継手のあき寸法: 図示</p> <p>3.7 壁の配筋及び補強 壁の配筋: 図示 開口部の補強筋: 図示</p> <p>3.8 ガス圧接 抜取試験の方法: ※超音波探傷試験・引張試験</p> <p>4.2 機械式継手 機械式継手の種類: 図示 機械式継手の工法及び品質の確認方法等: 図示 ※標準仕様書8.4.2(c)による</p> <p>4.3 溶接継手 溶接継手の工法: 図示 品質の確認方法: 図示 不良継手部の修正方法: 図示 ※標準仕様書8.4.3(c)による</p> <p>7. コンクリートの工事現場内運搬並びに打込み及び締固め 外部に面する打抜き仕上げの増打厚さ: ・25mm・20mm・15mm 型枠セパレーターとしてのシアコネクタの使用: ・適用する・適用しない</p>																																												
施工箇所	形式・形状寸法 (mm)	用途による区分	耐凍害性	色	釉薬	備考																																																																																										
			有	無	標準	特注																																																																																										
			有	無	標準	特注																																																																																										
			有	無	標準	特注																																																																																										
			有	無	標準	特注																																																																																										
			有	無	標準	特注																																																																																										
			有	無	標準	特注																																																																																										
<p>15.3 材料</p> <p>既製目地: ・適用・不適用</p> <p>既製目地の形状寸法等: 図示</p> <p>15.6 工法</p> <p>床の目地: ・設ける・設けない 工法: ※押し目地・切り目地</p> <p>16. タイル張り</p> <p>16.1 一般事項 伸縮調整目地の位置: ※φ4mm(縦・横共)・図示</p> <p>16.3 セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り</p> <p>タイルの種類: 図示 下表による</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>形式・形状寸法 (mm)</th> <th>用途による区分</th> <th>耐凍害性</th> <th>色</th> <th>釉薬</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>有</td> <td>無</td> <td>標準</td> <td>特注</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>有</td> <td>無</td> <td>標準</td> <td>特注</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>有</td> <td>無</td> <td>標準</td> <td>特注</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>有</td> <td>無</td> <td>標準</td> <td>特注</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>有</td> <td>無</td> <td>標準</td> <td>特注</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>有</td> <td>無</td> <td>標準</td> <td>特注</td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	形式・形状寸法 (mm)	用途による区分	耐凍害性	色	釉薬	備考				有	無	標準	特注				有	無	標準	特注				有	無	標準	特注				有	無	標準	特注				有	無	標準	特注				有	無	標準	特注	<p>3.2 塗料種別</p> <p>◎錆止め塗料塗り</p> <p>4.2 塗料の種別</p> <p>4.3 4.5 合成樹脂調合ペイント塗り (SOP)</p> <p>5.2 塗料塗り</p> <p>7.2 塗料塗り</p> <p>8.2~8.4 ***塗料塗り</p>	<p>1.4 ココットの品質</p> <p>1.5 鉄骨製作工場</p> <p>2.1 鉄筋</p> <p>2.2 溶接金網</p> <p>2.4 あと施工アンカー</p> <p>◎金属系アンカー 引張耐力: 図示 せん断耐力: 図示 アンカー本体の径: 図示 アンカー本体の埋込深さ: 図示 アンカー本体のセット方式: 図示 ※本体打込み式改良型 接合部の径及び長さ: 図示</p>	<p>3.4 継手及び定着 継手の種類: ・重ね継手・ガス圧継手・機械継手・図示 継手の位置: 図示 主筋の重ね継手長さ: ※標準仕様書5.3.4(c)(1)による・図示 耐力壁鉄筋の重ね継手長さ: ※標準仕様書5.3.4(c)(1)による・図示 先組み工法等の継手の位置: 図示 柱への引張り鉄筋の定着長さ: ※標準仕様書5.3.4(d)(1)による・図示 土に接する柱・梁・スラブ及び壁の鉄筋のかぶり厚さ (軽量コンクリートの場合): ・図示・40mm・50mm・60mm 塩害を受ける恐れのある部分等の鉄筋のかぶり厚さ: 図示 特殊な鉄筋継手のあき寸法: 図示</p> <p>3.7 壁の配筋及び補強 壁の配筋: 図示 開口部の補強筋: 図示</p> <p>3.8 ガス圧接 抜取試験の方法: ※超音波探傷試験・引張試験</p> <p>4.2 機械式継手 機械式継手の種類: 図示 機械式継手の工法及び品質の確認方法等: 図示 ※標準仕様書8.4.2(c)による</p> <p>4.3 溶接継手 溶接継手の工法: 図示 品質の確認方法: 図示 不良継手部の修正方法: 図示 ※標準仕様書8.4.3(c)による</p> <p>7. コンクリートの工事現場内運搬並びに打込み及び締固め 外部に面する打抜き仕上げの増打厚さ: ・25mm・20mm・15mm 型枠セパレーターとしてのシアコネクタの使用: ・適用する・適用しない</p>																																												
施工箇所	形式・形状寸法 (mm)	用途による区分	耐凍害性	色	釉薬	備考																																																																																										
			有	無	標準	特注																																																																																										
			有	無	標準	特注																																																																																										
			有	無	標準	特注																																																																																										
			有	無	標準	特注																																																																																										
			有	無	標準	特注																																																																																										
			有	無	標準	特注																																																																																										



項目	分類					備考	設備配線配管	項目	分類					備考
	建築	電気	衛生	空調	別途				建築	電気	衛生	空調	別途	
屋内							屋外							
1. 軽鉄天井・壁下地	体育室感知器・非常用照明開口		○				1. 雨水	屋外雨水排水管						
	体育室照明器具・スピーカー・吊ハットワイヤ-開口		○					樹及び樹ふた						
	体育室照明器具・スピーカー・吊ハットワイヤ-固定・補強		○				2. 雑排水・汚水	屋外雑排水及び屋外汚水排水管						
	その他補強を要するボードの切り込み及び下地の補強		○					樹及び樹ふた						
	その他補強を要しないボードの切り込み		○	○				化粧マンホール上ふたの表面仕上げ						
	開口部の墨出し		○		○			本管接続管及び接続						
	照明器具 撤去・新設または再取付		○				3. 照明器具	照明器具 撤去・新設		○				
	換気扇カバー 撤去・新設				○									
	設備配管 撤去・新設			○	○									
2. つりボルト	設備機器・器具・配管・配線・ダクト用		○	○	○		4. 設備基礎等	空調室外機 取り外し再取付				○		
								設備配管架台基礎 撤去・新設			○	○		
3. 水まわり	流し台・洗面カウンター下部収納						5. 植栽	植栽帯 枝払い・撤去				○		
	水栓・ボール													
	衛生器具ユニット・ユニット手すり													
	紙巻器													
4. 誘導灯	下地補強(穴あけ共)													
	誘導灯 撤去新設		○											
	誘導灯まわり塞ぎ加工		○											
5. その他														
	点検口(天井)		○											
	サイン工事		○											
	体育室 天井照明バトン取り外し・再取り付け		○											



承認設計 設計年月日
2019年11月 日

工事名 西行政センター
特定天井及び外壁タイルその他改修工事
図面名称 工事区分表 Scale -

図面番号

敷地建物概要	工事場所： 横須賀市長坂1丁目210番11ほか
	用途地域： 第1種住居地域 (200% / 60%) 第1種高度地域 準防火地域
	構造・規模： 鉄骨鉄筋コンクリート造 地上4階 地下1階
	敷地面積： 4,056.00㎡
	建築面積： 1,376.95㎡
	延床面積： 4,579.72㎡

■ 工事概要

□ 外壁改修その他

Wa: セツ器質タイル部改修 タイル清掃(高圧洗浄10~15MPa、酸洗い共)

Wb: 超耐候性低汚染型2液水系ふっ素樹脂塗り

Wb-1 鉄部 ステンレス部 アルミ部 4フッ化型ふっ素樹脂塗料 水系 (縦樋 笠木 水切 懸垂幕)

Wb-2 御影石部(ハーフ仕上) 無機無溶剤系浸透性保護材

Wb-3 アルミモールディング部・出窓・バルコニー部 4フッ化型ふっ素樹脂塗料 水系 (軒裏部 出窓上下 体育室上部側面 通用口屋根・幕板 EXP. Jカー)

Wc: 外装薄塗材E Wc-1 【軒裏部 1階コナート 南側バルコニー 2階コナート 南側バルコニー 4階発電機室前外部】

(アクリルリシン) 既存塗膜の除去(コンクリート面 工程RA種) 下地処理(水洗い)

外装薄塗材E (吹付仕上)

Wc-2 【軒裏部 1渡り廊下上裏】

既存塗膜の除去(超音波ケレン工法(HEPAフィルター付掃除機併用)及び集じん装置付ディスクケレン工法)

下地処理(水洗い)

外装薄塗材E (C-1共 吹付仕上)

Wd: 防水形複層塗材E 【B1階トイレ壁・天井 3階テラス上部天井・バルコニー ラウンジ前上部バルコニー 4階機械室庇 北側屋上壁・梁】

既存塗膜の除去(超音波ケレン工法(HEPAフィルター付掃除機併用)及び集じん装置付ディスクケレン工法)

下地処理(水洗い) 下地調整(C-2)

防水形複層塗材E (アクリルゴム系吹付タイルローラー塗り、低汚染型弾性ふっ素樹脂仕上)

外壁及び下地補修

施工数量調査: Wa、Wb、Wc、Wd範囲

下地補修工法: (タイル面) 浮き部補修 ・注入口付アンカーボルト部分モルタル樹脂注入工法 3177穴

(コンクリート・モルタル面) ひび割れ補修 Uカットリング材充填工法(モルタルセメントモルタル充填仕上げ): 40.0m

欠損部補修 モルタル樹脂モルタル充填工法(100×100): 5か所

鉄筋露出部補修 ケレン・防錆処理後、モルタル樹脂モルタル充填工法(100×100): 15か所

その他: 館銘サイン撤去・新設 4階ドレン継ぎ改修 屋上タラップガード 笠木取外・再取付

□ 防水改修

Ra: ウレタン系塗膜防水

下地処理: ケレン清掃 下地補修: Uカットリング材充填工法: 50.0m 下地調整: モルタルセメントモルタル(Ra-3はモルタル金ゴテ仕上)

伸縮目地は撤去後シーリング(ポリウレタン系)

ウレタン系塗膜防水(フッ素): 平場(X-1)、立上り部(X-2) ただし3階ラウンジ前 3階屋根・バルコニー 4階発電機室前外部 階段室屋根は(X-2)

Ra-1 【3階ラウンジ前 3階屋根 階段室屋根】 既存防水層撤去(シート防水層)

Ra-2 【3・4階バルコニー】 既存防水モルタル面

Ra-3 【3階テラス】 既存タイル撤去(下地モルタル共)

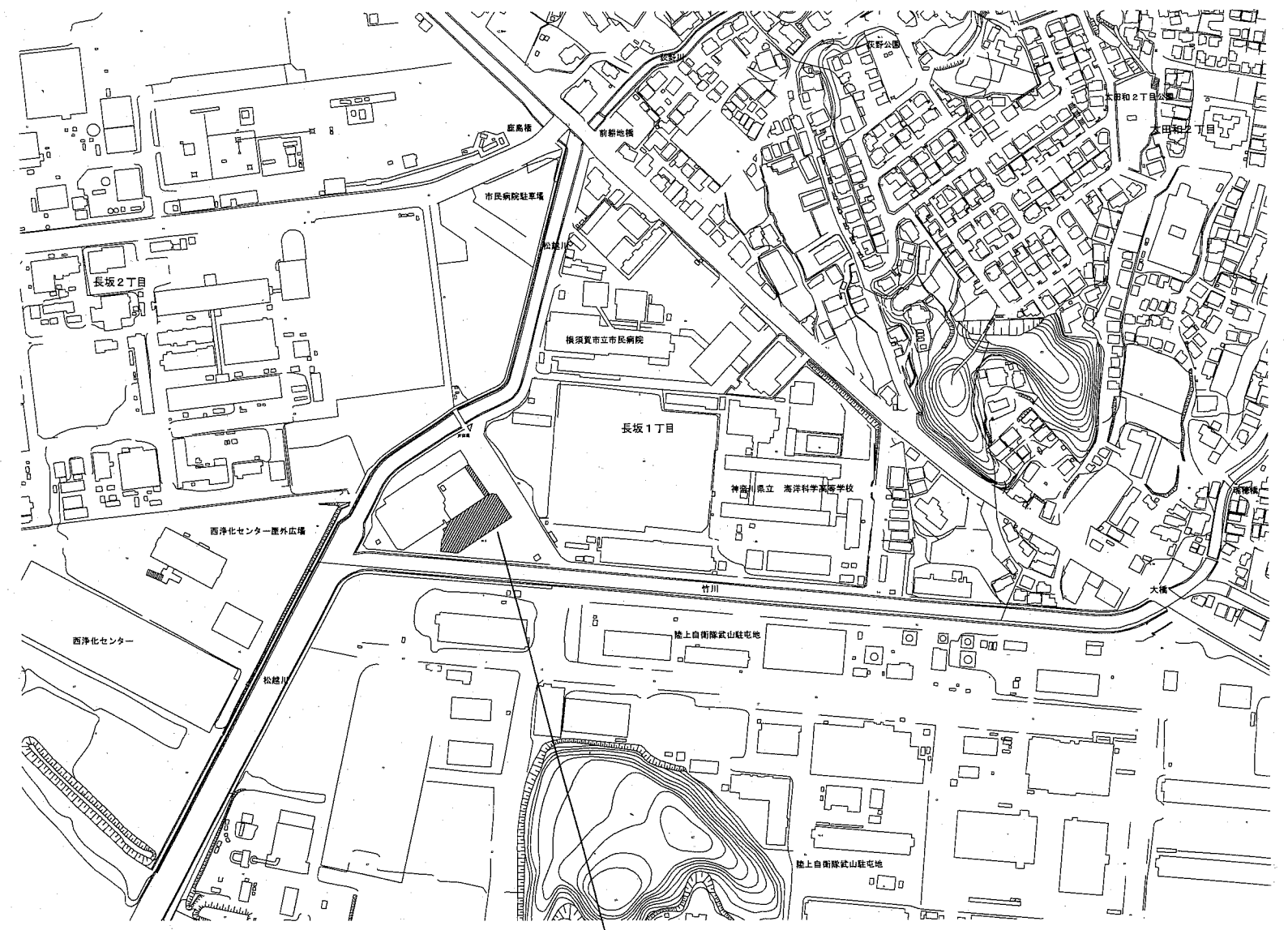
Ra-4 【4階】 既存押えコンクリート面

Rb: 遮熱断熱塗料塗 (全光型光触媒仕様) 【体育室屋根(折板 耐候性鋼板)】

SP: シーリング打替

その他 脱気装置設置(13か所)・ランドマークサイン・水準点基礎 (※位置は監督員と協議による)

改修用ドレン(縦・横・中継用)



改修場所: 横須賀市長坂1丁目2番2号

付近見取図

□ 内装改修

・3階 体育室 天井(特定天井)改修

・3階 学習室兼幼児室 内装(床・壁・天井)改修

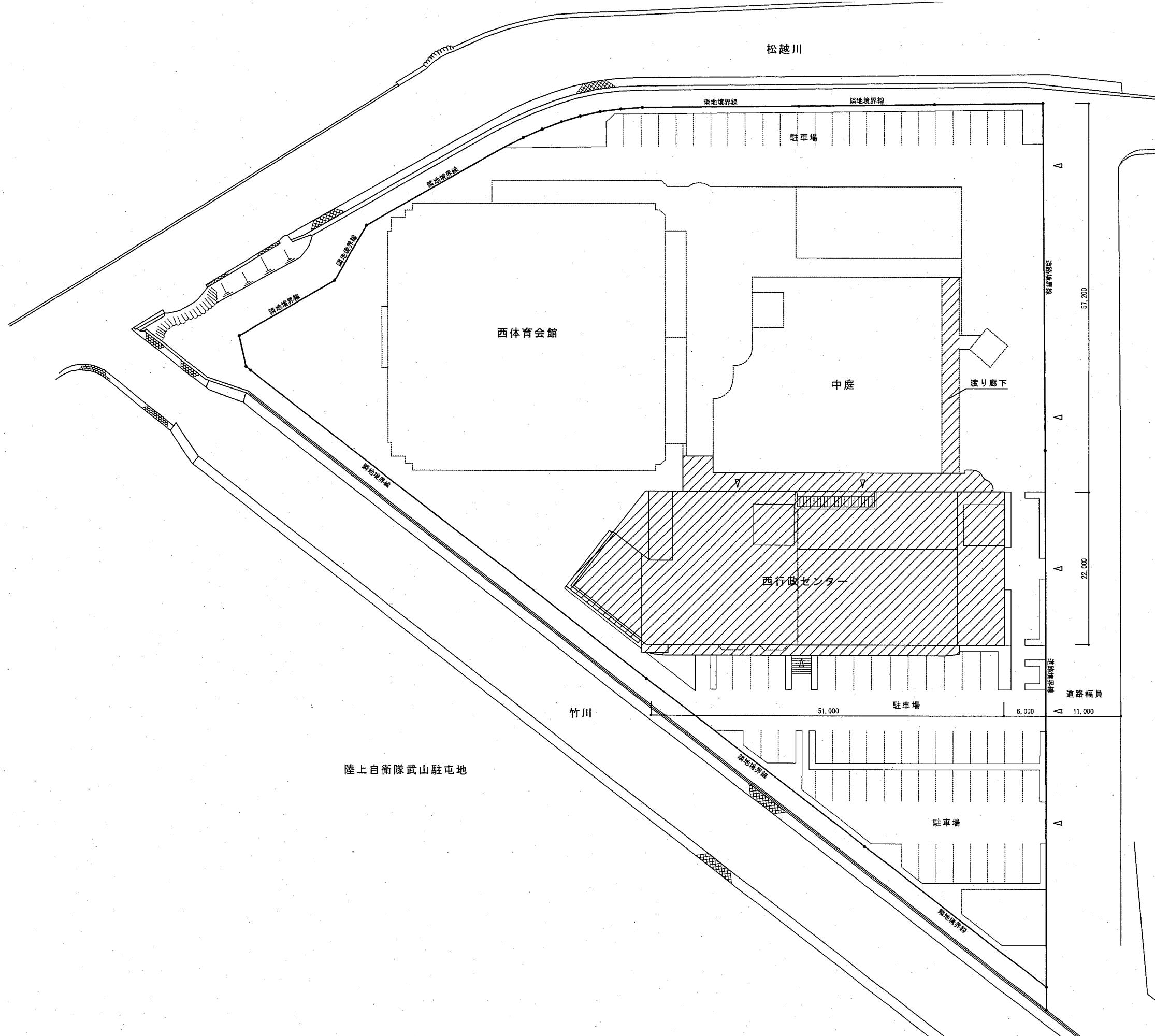
・3階 更衣室 内装(壁・天井)改修

・3階 器具庫 内装(壁・天井)改修

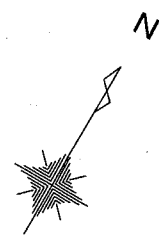
・3階 廊下体育室前(天井)一部改修

・3階 便所(男子・女子)(天井)改修

その他 建具改修及び塗装 トイレ内配管貫通穴補修 天井点検口(※位置は監督員と協議による)



▨ : 工事範囲を示す。



配置図 1/400



公共建築課長



承認設計 設計年月日
2019年11月 日

工事名 西行政センター
特定天井及び外壁タイルその他改修工事
図面名称 配置図 Scale 1/400

図面番号

A-08

階	外部仕上表	既 存
屋上 (4、R階) 防水工事	コンクリート金ゴテ下地、アスファルト防水、押えコンクリート 厚80	
	パラベット笠木：アルミ(発色)厚2.0 一部耐候性鋼板 厚2.3(体育室上部)、パーゴラ：吹付タイル仕上	
屋根	(体育室上部) 耐候性鋼板 折板葺き	
	(コロネード部)コンクリート金ゴテ下地、シート防水 厚2.0、(1階南側出入口庇)耐候性鋼板 厚2.3	
テラス	(図書室上部)コンクリート金ゴテ下地、アスファルト防水、押えコンクリート 厚8.0、せっき器質タイル貼り(100角)	
	パラベット立上り：せっき器質タイル貼り、パーゴラ：吹付タイル仕上	
樋 ドレン	縦樋：ステンレス製 Φ100 Φ80 Φ40 押え金物、ドレン：鑄鉄製、横引型、縦型	
外壁	せっき器質タイル(二丁掛、リブ付タイル)一部耐候性鋼板 厚2.3(体育室上部側面)、吹付タイル(屋上吹抜部内壁)	
コロネード	(1階床)せっき器質タイル(100角)、(2階床)シート防水、せっき器質タイル(100角)	
	せっき器質タイル(二丁掛)	
バルコニー	(2階)床：せっき器質タイル(100角)	
	(3階)床：モルタル金ゴテ仕上、立上り：せっき器質タイル(二丁掛)	
軒天	V P吹付仕上、中庭、南側出入口及び体育室北側、アルミモールディング(発色)厚1.0	
ドライエリア	床：モルタル金ゴテ、壁：吹付タイル仕上、防護メッシュ：エキスパンドメタル亜鉛メッキGP	
	壁：コンクリート打放しの上吹付タイル仕上	
渡り廊下	上裏：コンクリート打放しV P	

内部仕上表								
室名		床	巾木	壁	天井	廻縁	天井高	備考
3	体育室	既存	フローリング(乱尺)厚18.0 特殊貼り	ナラ集成材CL	有孔木片セメント板 厚12.0 吹付コート (内部グラスウール充填)	グラスウール成型板 厚25.0 グラスクロス貼り	CH=7,200	
	更衣室	既存	塩ビシート 厚3.0	塩ビ	P B 厚12.5 EP	P B 厚12.5 目透しEP-S	CH=2,800	
	器具庫	既存	塩ビシート 厚3.0	塩ビ	P B 厚12.5 EP	P B 厚9.0 目透しEP-S	CH=2,800	
	学習室兼幼児室	既存	カーペット敷き	ラワンOSCL	難燃合板 厚6.0 OP ビニールレザー貼り(クッション入)(腰：1,200)	P B 厚9.0 クロス貼り	CH=2,800	
	廊下	既存	塩ビシート 厚3.0	塩ビ	P B 厚12.0 吹付コート	岩綿吸音板 厚12.0 下地 石膏ボード 厚9.5	CH=2,500 CH=2,800	
	男子便所・女子便所	既存	塩ビシート 厚3.0		P B 厚12.0 吹付コート	岩綿吸音板 厚12.0 下地 石膏ボード 厚9.5	CH=2,500	
	階段室	既存	ゴムタイル 厚5.0		モルタル金ゴテ吹付コート	ケイカル板 厚9.0 EP		

公共建築課長



承認 設計 設計年月日

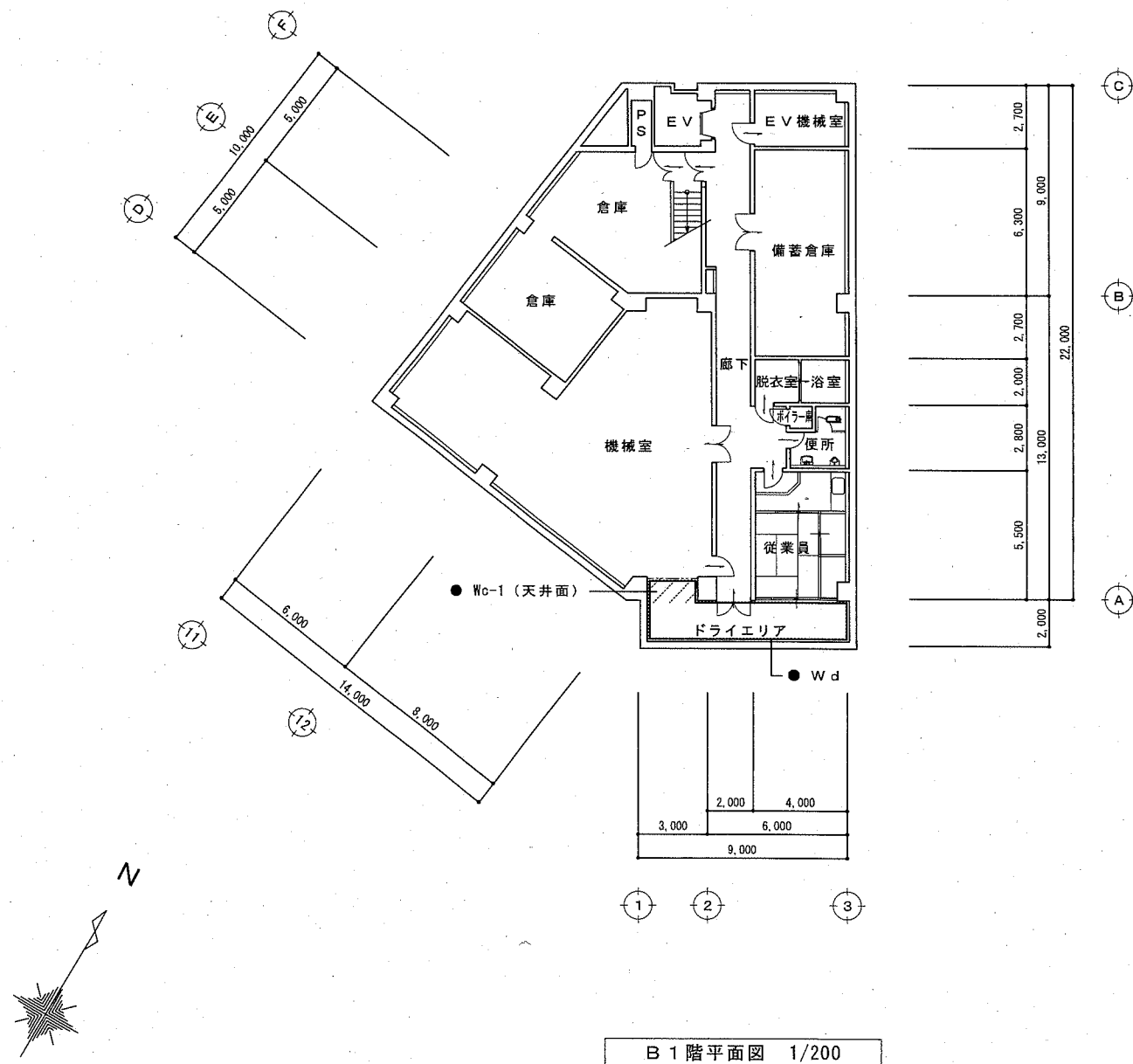
2019年11月 日

工事名 西行政センター
特定天井及び外壁タイルその他改修工事
(既存)
図面名称 外部仕上表・内部仕上表 Scale -



図面番号

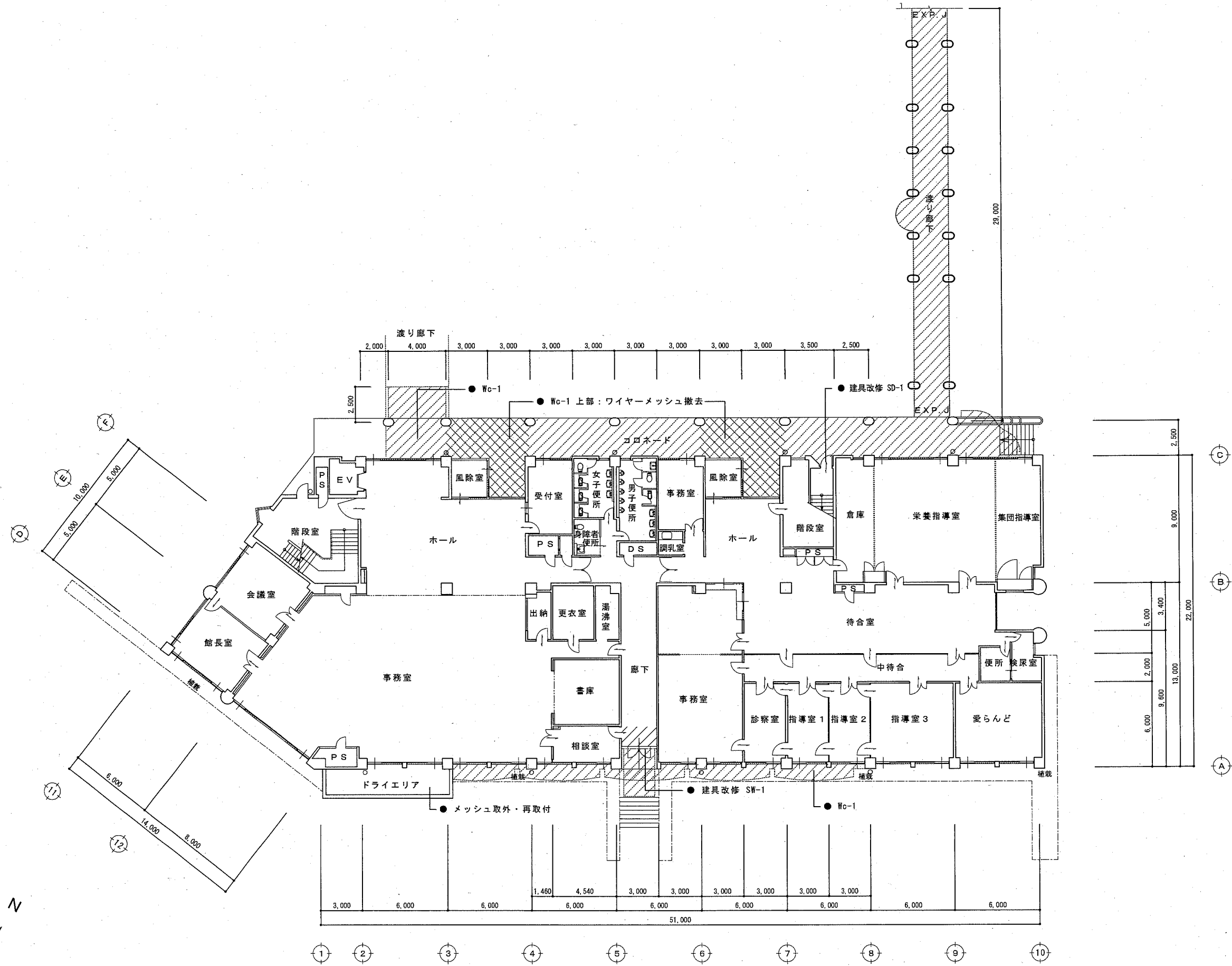
A-09

— : 吹付タイル面（アスベスト含有壁材）範囲を示す。
 ● : 改修内容を示す。

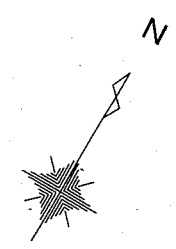



備考	公共建築課長	承認	設計	設計年月日 2019年11月 日	工事名 西行政センター 特定天井及び外壁タイルその他改修工事	図面番号 A-10
					図面名称 B 1 階平面図	

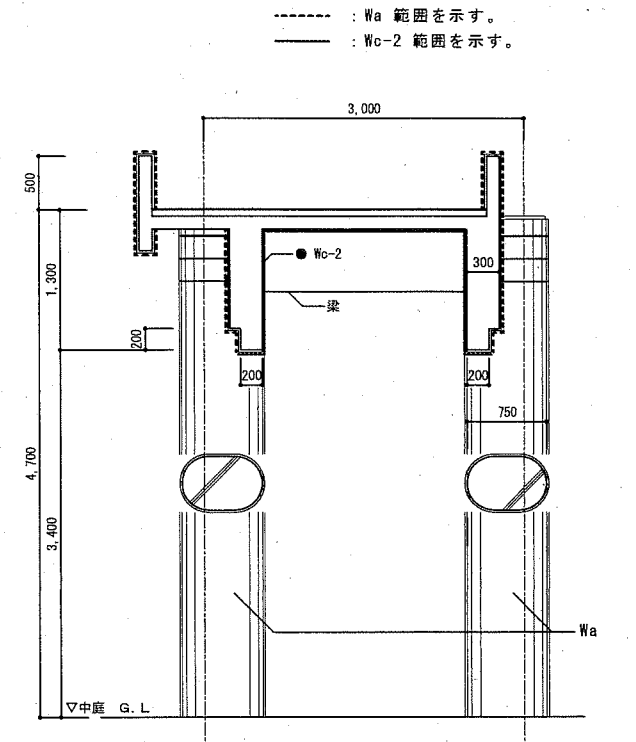
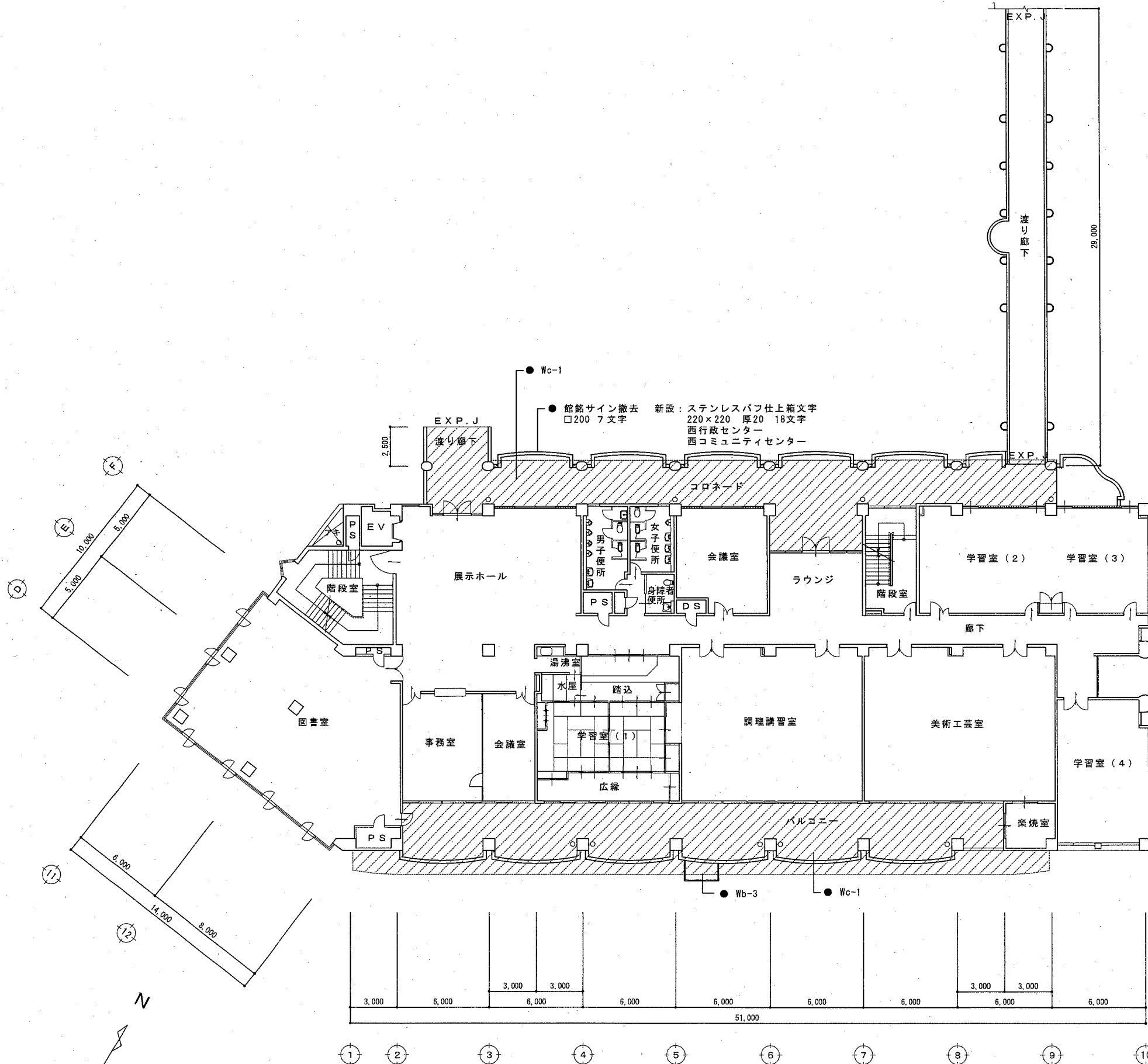
 : 改修部上裏を示す。
 : 改修内容を示す。



1階平面図 1/200

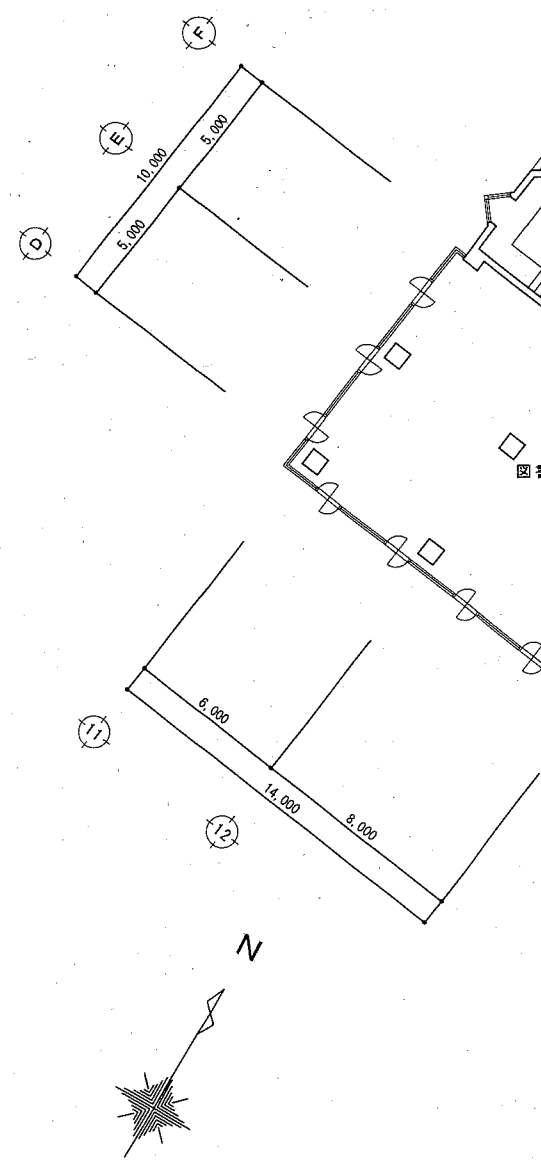


公共建築課長 	承認	設計	設計年月日	工事名	図面番号
			2019年11月 日	西行政センター 特定天井及び外壁タイルその他改修工事	図面名称 1階平面図 Scale 1/200

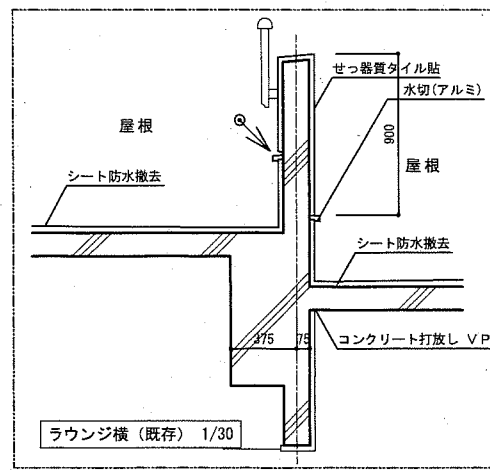
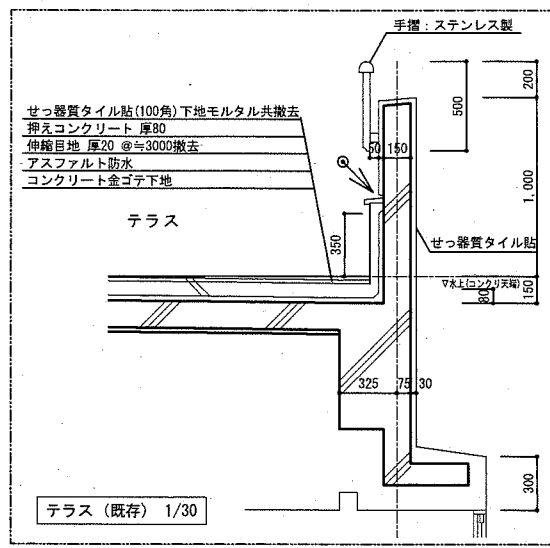


渡り廊下断面図 1/50

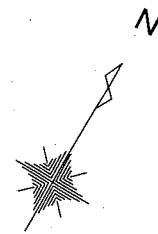
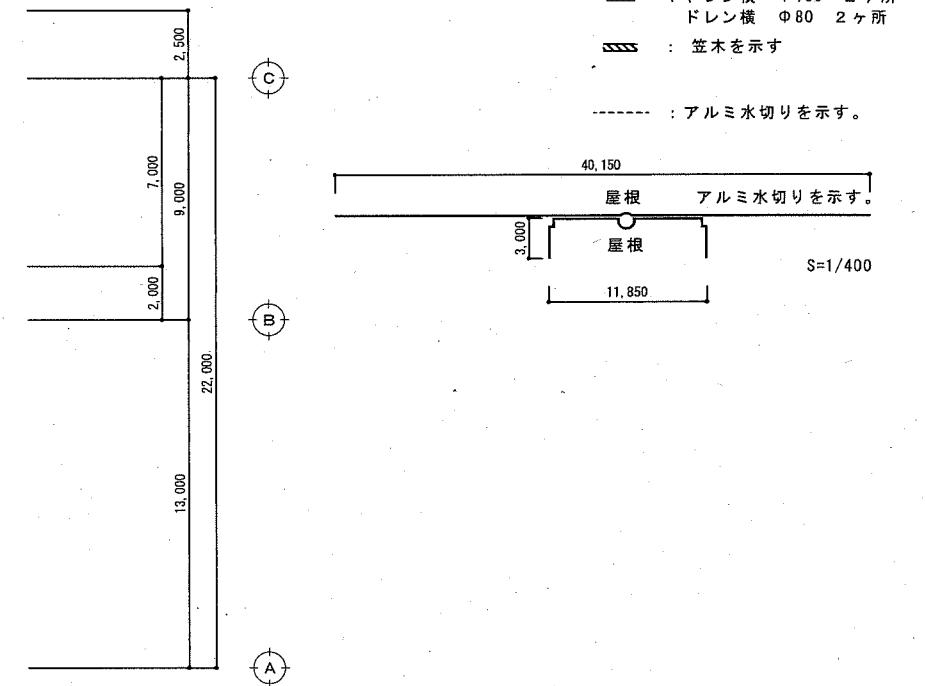
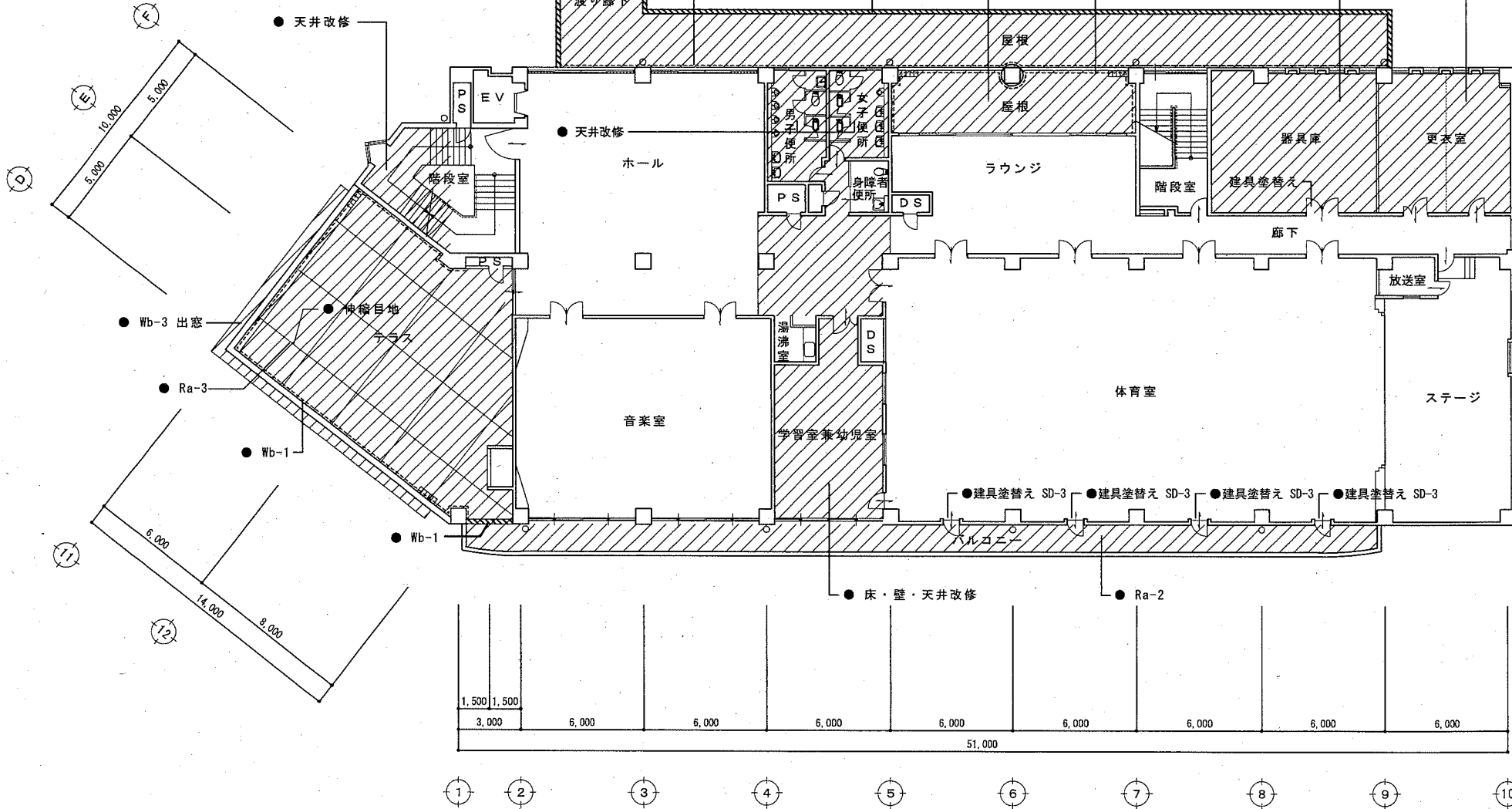
- ▨ : 改修部上裏を示す。
- : 改修内容を示す。
- : 2階ドレンは改修なし



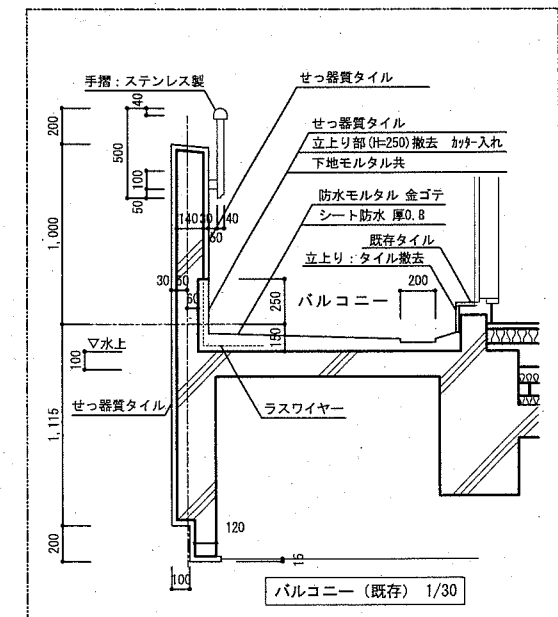
公共建築課長 	承認	設計	設計年月日	西行政センター 特定天井及び外壁タイルその他改修工事	図面番号 A-12
			2019年11月 日		



- : 改修範囲を示す。
- : 改修内容を示す。
- : ドレン横 φ100 8ヶ所
- : ドレン横 φ100 2ヶ所
ドレン横 φ80 2ヶ所
- : 笠木を示す
- : アルミ水切りを示す。



3階平面図 1/200

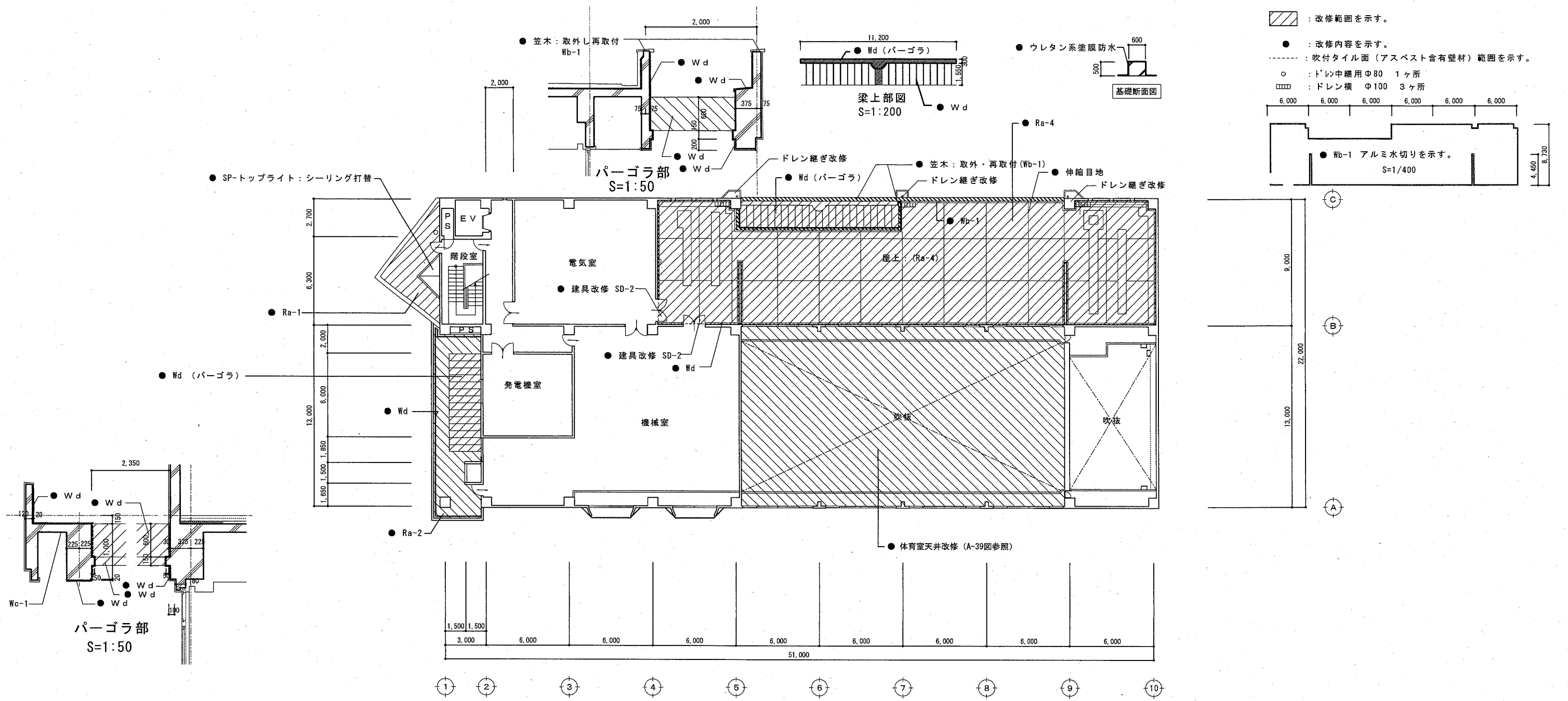


公共建築課長

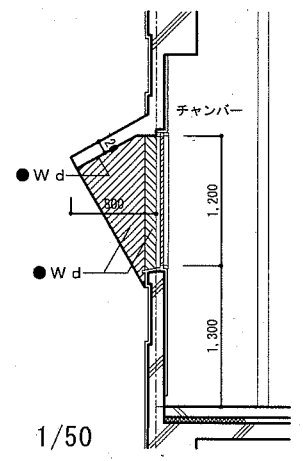
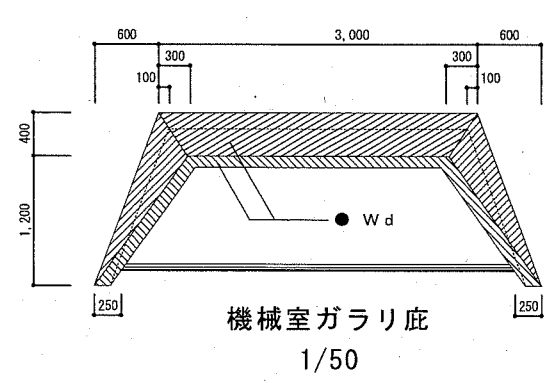
承認 設計 設計年月日
2019年11月 日

工事名 西行政センター
特定天井及び外壁タイルその他改修工事
図面名称 3階平面図 Scale 1/200

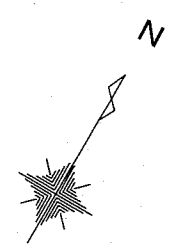
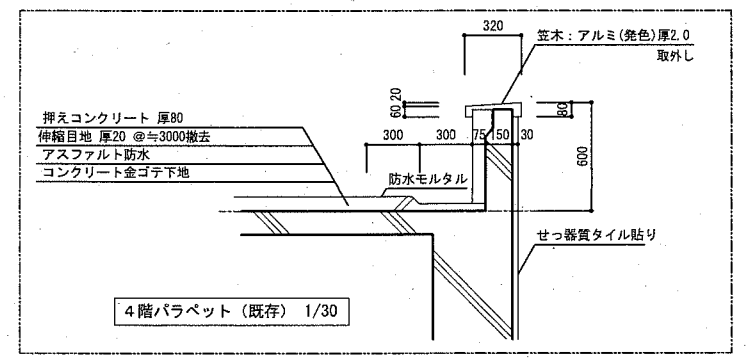
図面番号

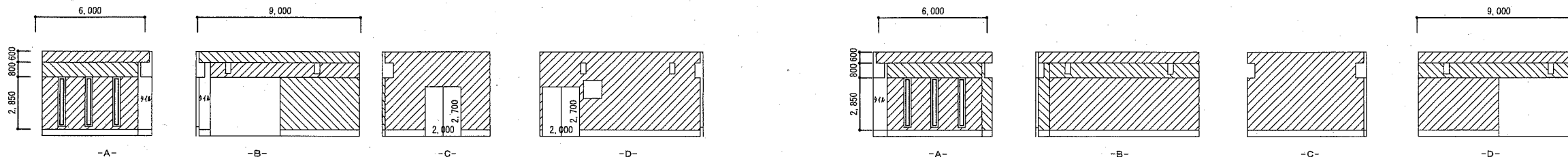


- : 改修範囲を示す。
- : 改修内容を示す。
- - - : 吹付タイル面 (アスベスト含有壁材) 範囲を示す。
- : ドレン中継用 Φ80 1ヶ所
- : ドレン横 Φ100 3ヶ所

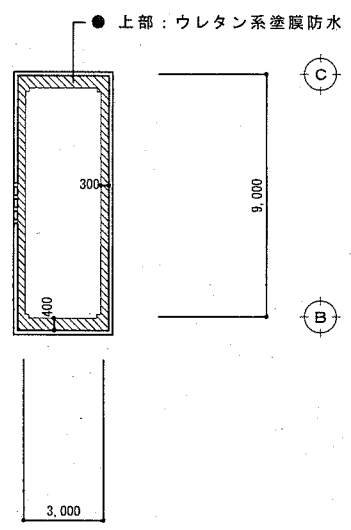


4階平面図 1/200

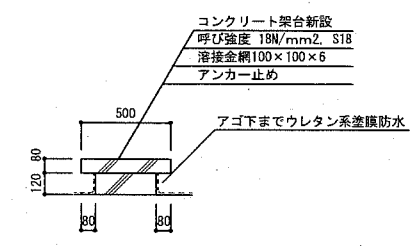




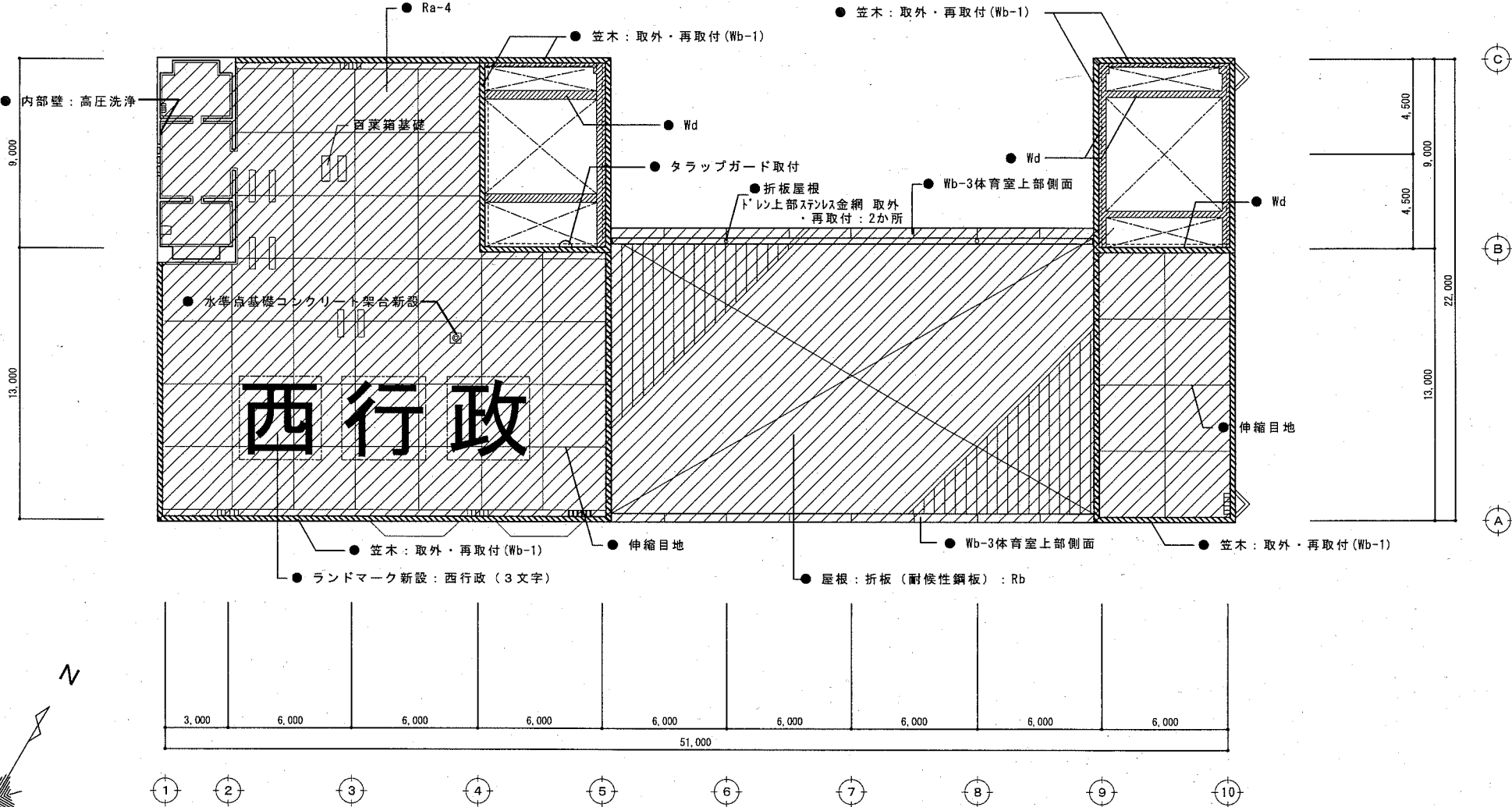
室外機置場展開図 4-5通り 1/200 ※ハッチ部：Wd
 室外機置場展開図 9-10通り 1/200 ※ハッチ部：Wd



受水槽置場 1/200



コンクリート基礎詳細図 1/30

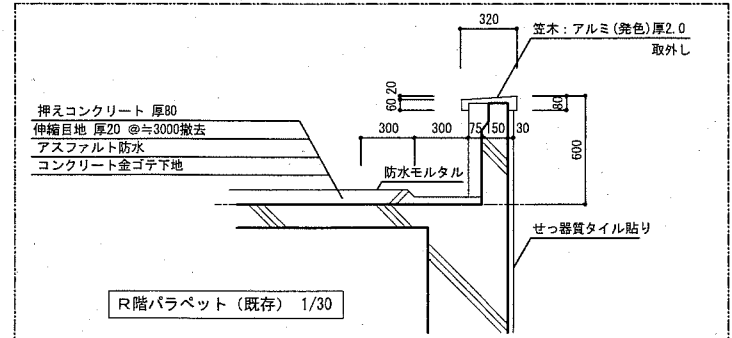
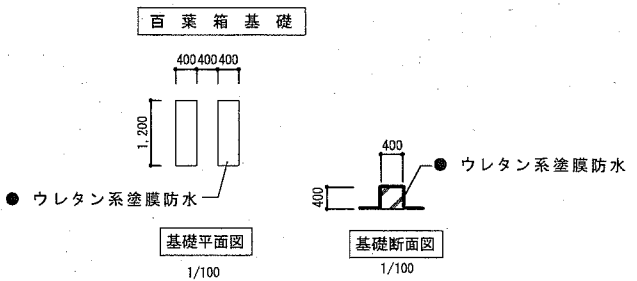


R階平面図 1/200

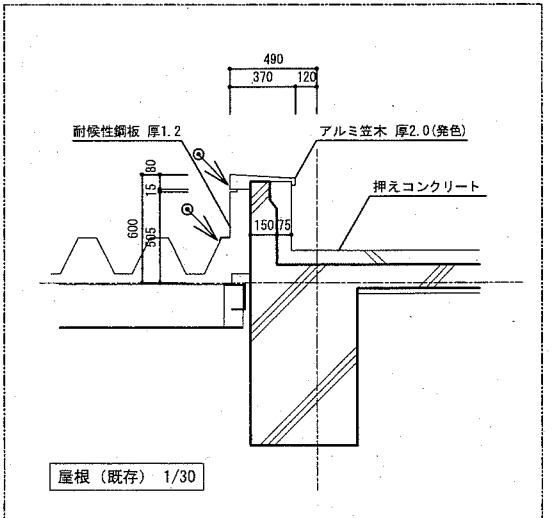
ランドマーク仕様書

- 文字
 - 大きさ □4m×4mで文字間隔は1mとする。
 - 文字の書体は、ゴシック体で、文字の太さは概ね300mmとする。
- 表示の色
 - 字・・・蛍光オレンジ
- 作業工程

① シーラー塗装	1回 (エポキシ樹脂)
② 文字下塗塗装	1回 (ウレタン樹脂)
③ 蛍光塗装	2回 (ウレタン樹脂)
④ 反射塗装	2回 (ガラスビーズアクリルウレタン樹脂)

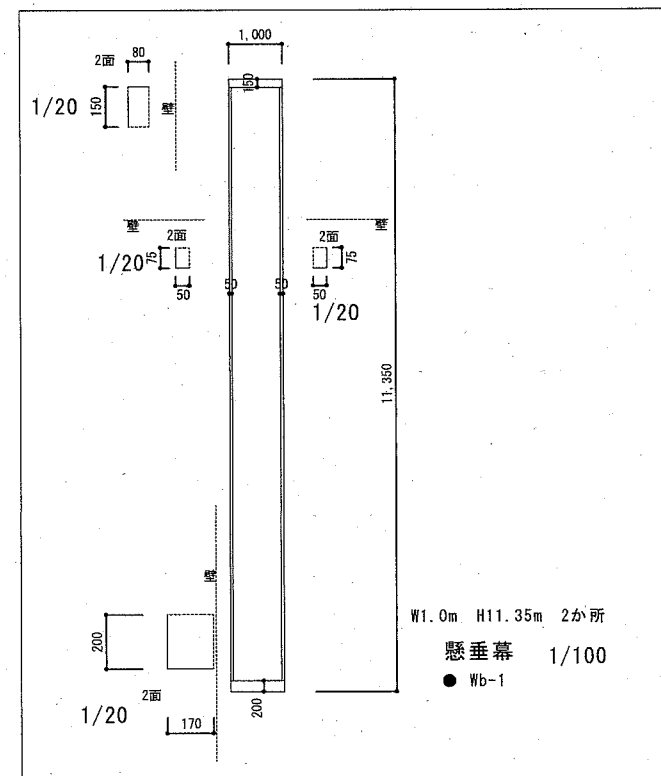
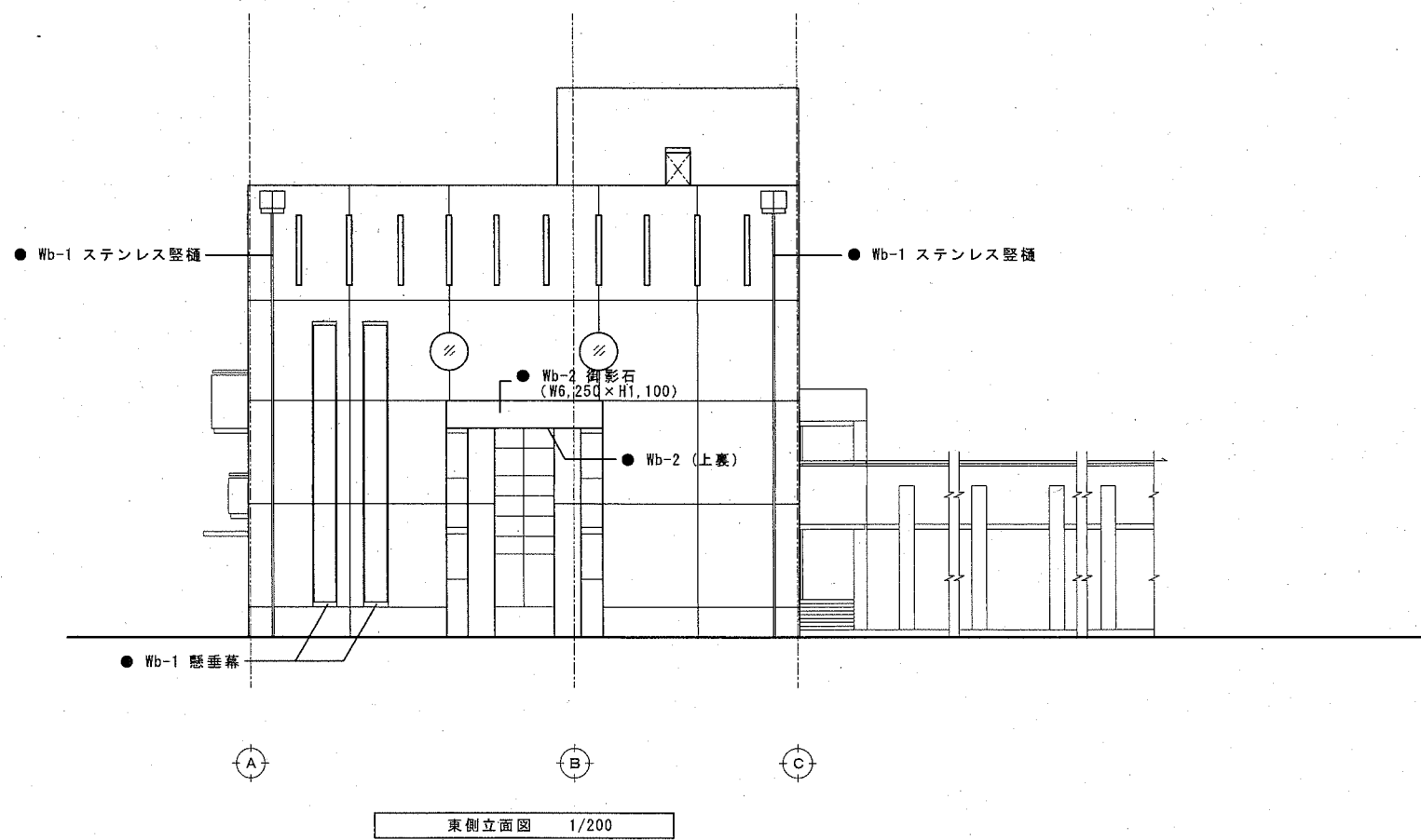
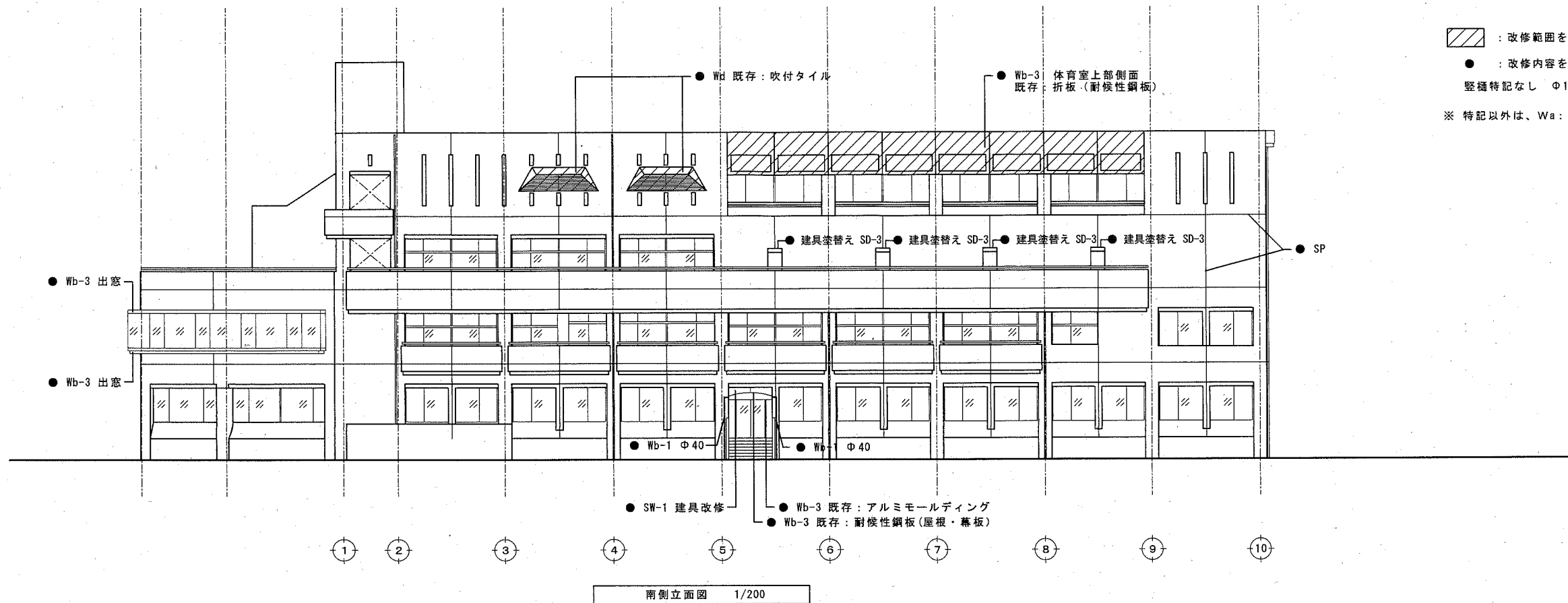


R階パラベット(既存) 1/30

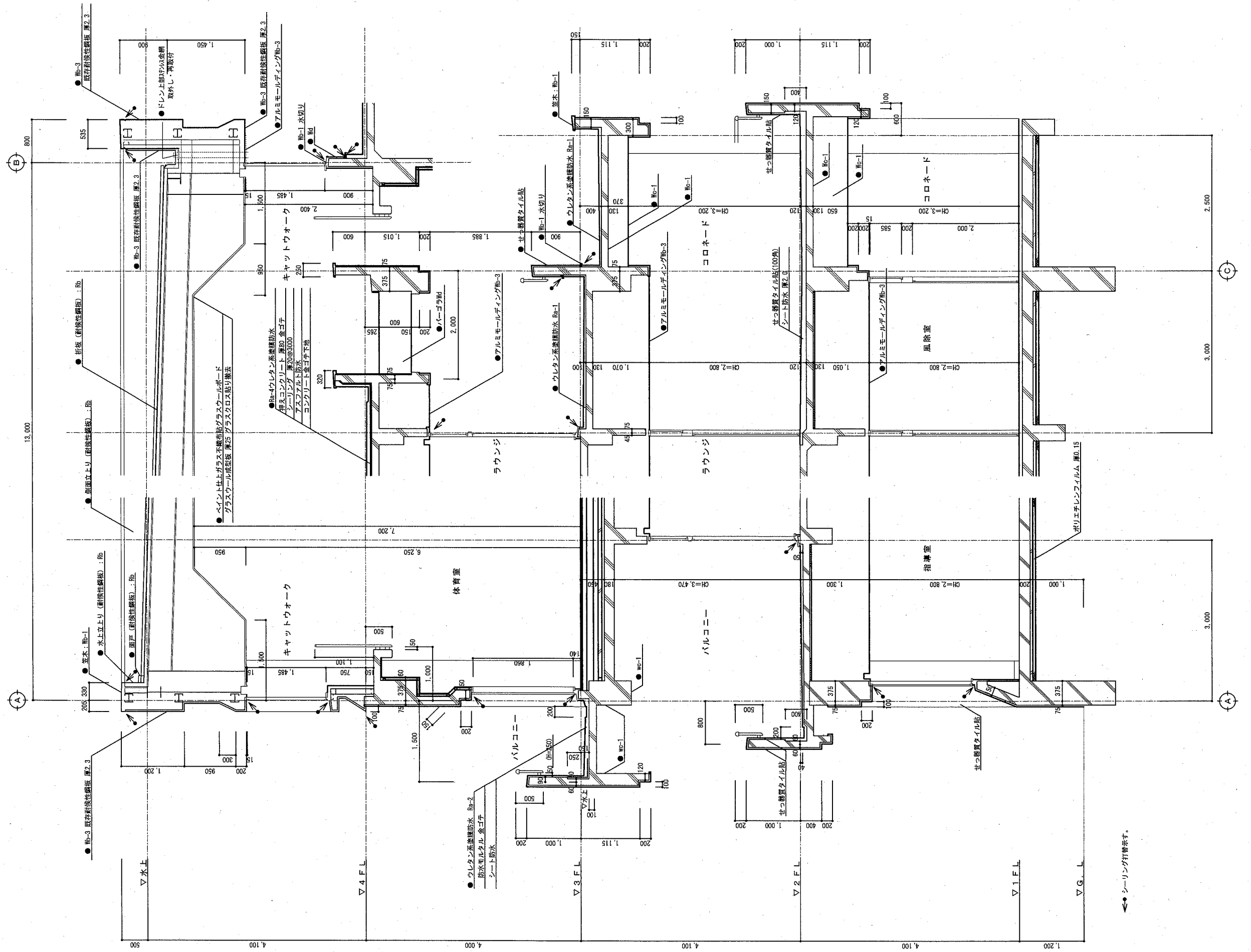


屋根(既存) 1/30

- : 改修範囲を示す。
- : 改修内容を示す。
- : 吹付タイル面(アスベスト含有壁材)範囲を示す。
- : ドレン横 φ100 4ヶ所
- : ドレン横 φ80 1ヶ所
- : 水準点撤去
- : 笠木を示す



※ 改修内容を示す。



◀ シーリング打替示す。

公共建築課長



承認設計 設計年月日

2019年11月 日

工事名 西行政センター
特定天井及び外壁タイルその他改修工事

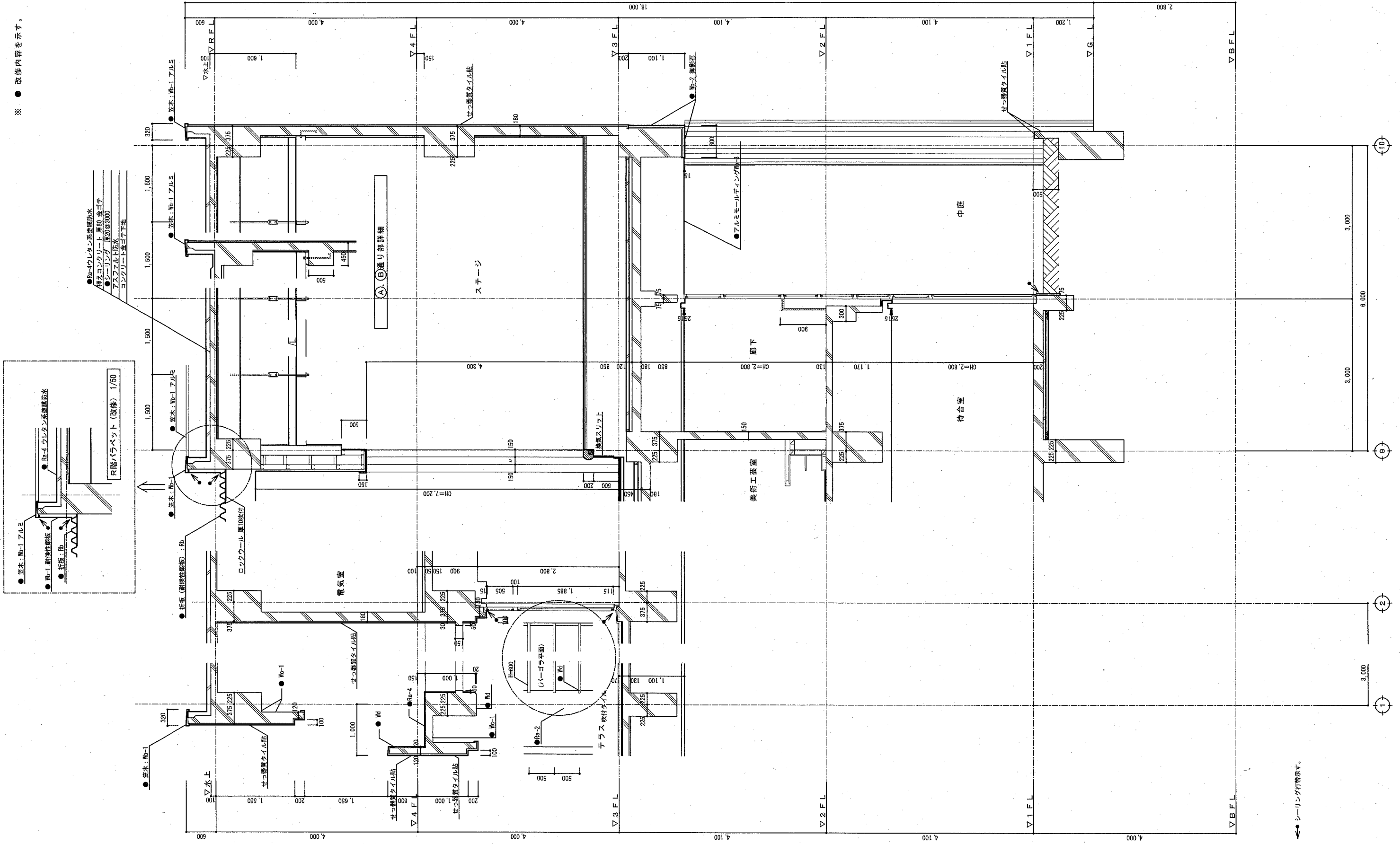
図面名称 矩計詳細図(1)

Scale 1/50

図面番号

A-19

※ ● 改修内容を示す。



● シーリング打替示す。

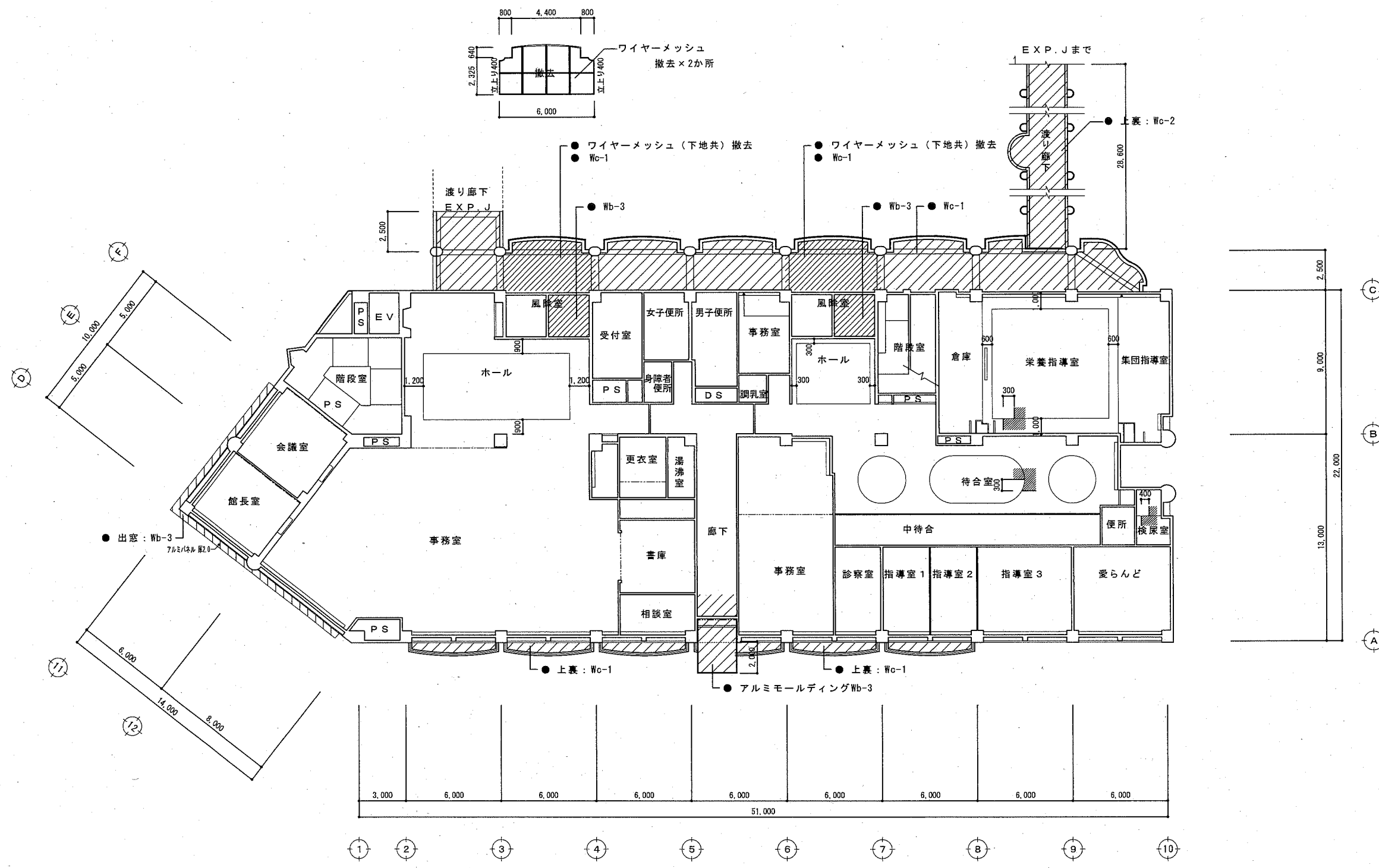




公共建築課長

承認 設計 設計年月日
2019年11月 日

工事名 西行政センター
特定天井及び外壁タイルその他改修工事
図面名称 矩計詳細図(2) Scale 1/50

図面番号
A-20



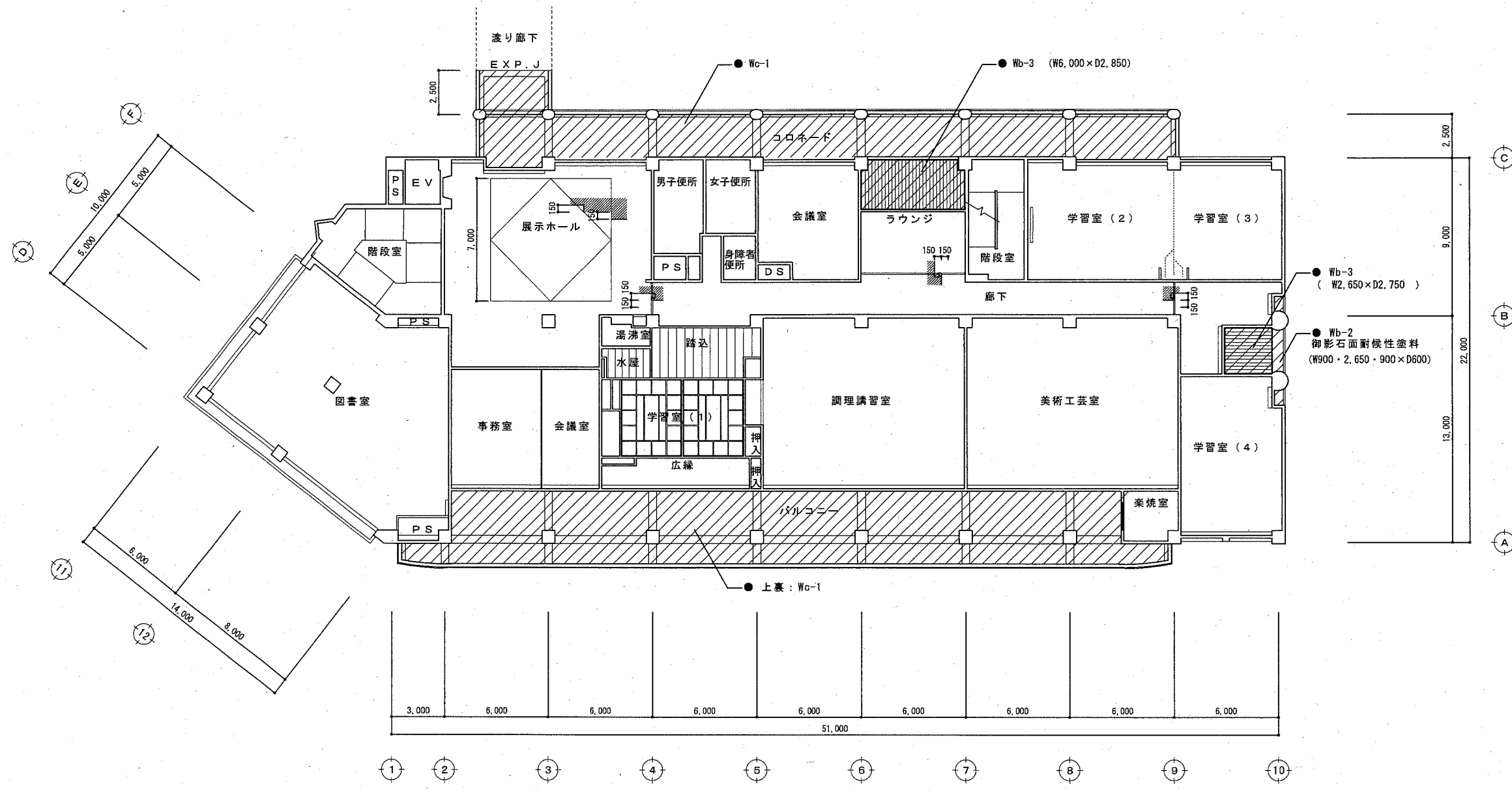
 : 改修範囲を示す。
 : 改修内容を示す。

1階天井伏図 1/200

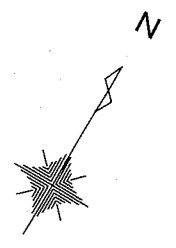
公共建築課長 	承認	設計	設計年月日	西行政センター 特定天井及び外壁タイルその他改修工事	図面番号 A-22
			2019年11月 日		


▨ : 改修範囲を示す。

● : 改修内容を示す。



2階天井伏図 1/200





公共建築課長 	承認	設計	設計年月日 2019年11月 日	工事名 西行政センター 特定天井及び外壁タイルその他改修工事	図面番号 A-23
				図面名称 2階天井伏図 Scale 1/200	

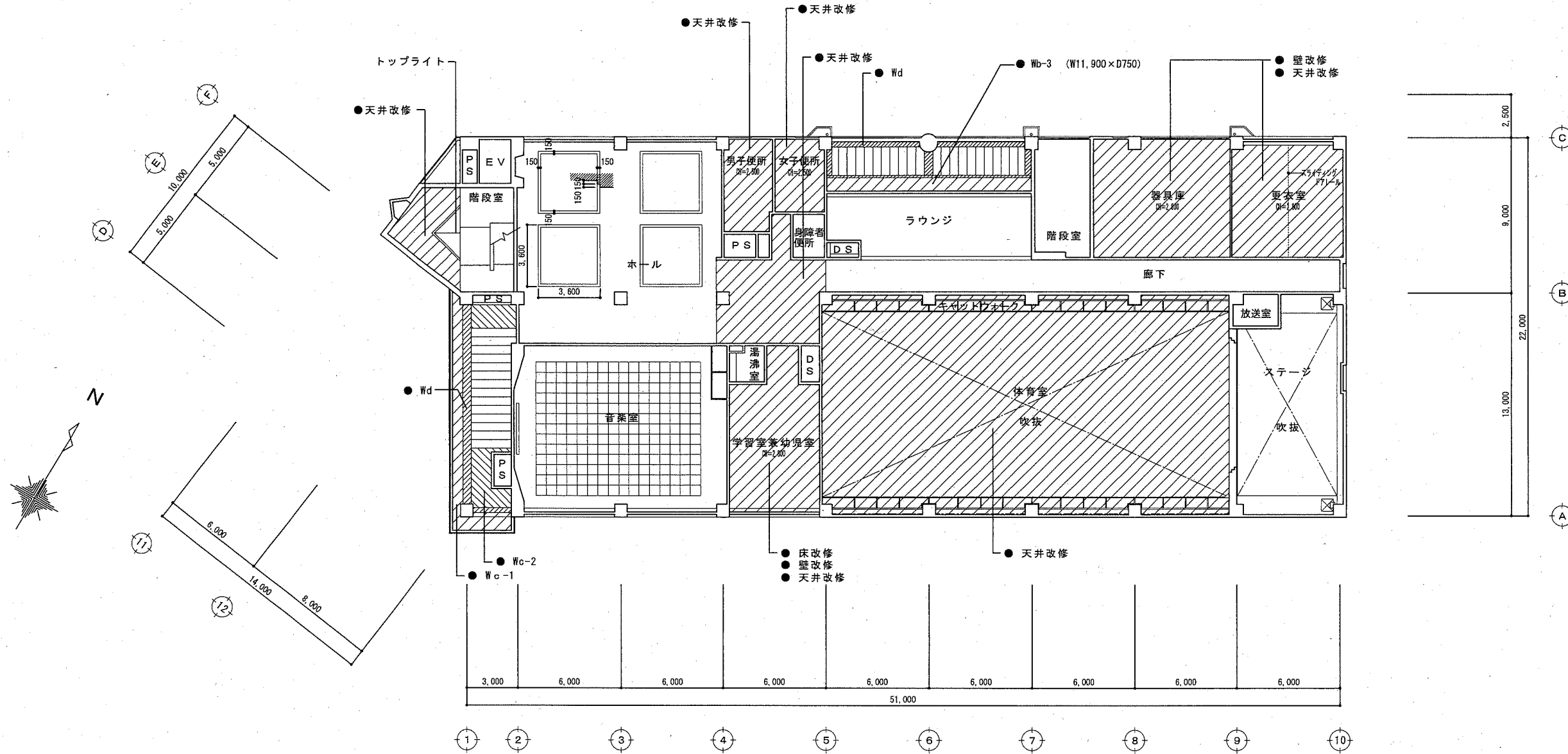
工事内容

男子便所・女子便所		
	既存	改修
天井	天井ボード撤去(二重張り 廻り縁共)	ロックル化粧吸音板厚12 (下張せつこうボード厚9.5) 廻り縁(塩化ビニル製)
壁	—	—
巾木	—	—
床	—	—
備考	天井点検口 撤去3か所	天井点検口 (口450) : 3か所

工事内容

廊下・ホール		
	既存	改修
天井	天井ボード撤去(二重張り 廻り縁共)	ロックル化粧吸音板厚12 (下張せつこうボード厚9.5) 廻り縁(塩化ビニル製)
壁	—	—
巾木	—	—
床	—	—
備考	天井点検口 撤去3か所	天井点検口 (口450) : 3か所

 : 改修範囲を示す。
 : 改修内容を示す。



工事内容

階段室		
	既存	改修
天井	天井ボード撤去(一重 下地・廻り縁共)	ロックル化粧吸音板厚12 (下張せつこうボード厚9.5 LGS下地@360 インサート含) 廻り縁(塩化ビニル製)
壁	—	—
巾木	—	—
床	—	—
備考		

3階天井伏図 1/200

公共建築課長



承認 設計 設計年月日

2019年11月 日

工事名 西行政センター 特定天井及び外壁タイルその他改修工事

図面名称 3階天井伏図

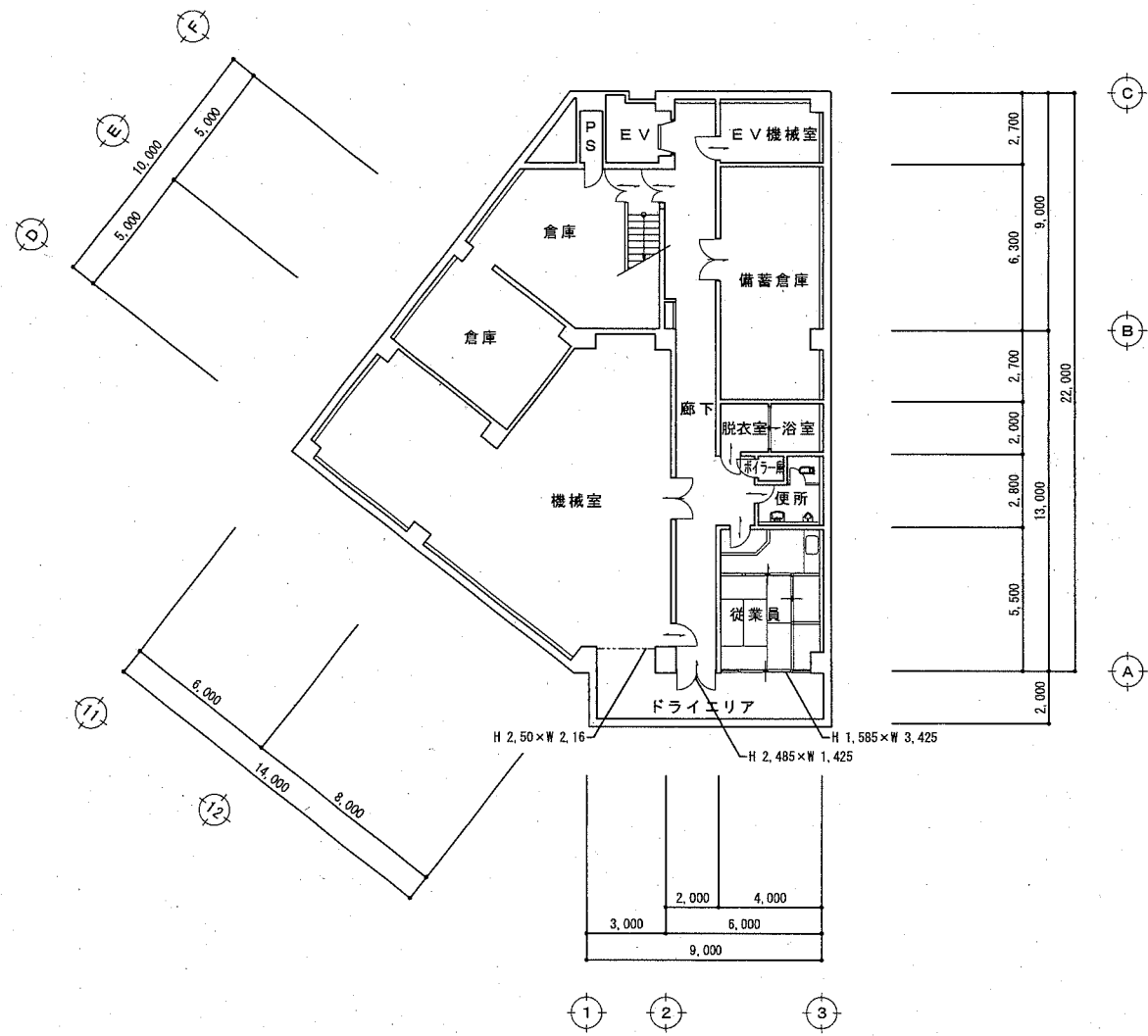
Scale 1/200

図面番号

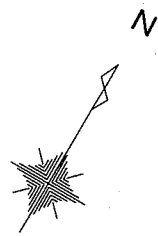
A-24


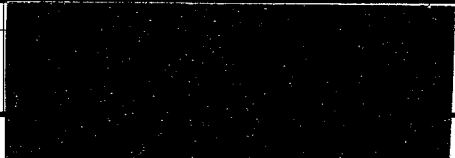
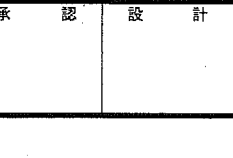
改修前	符号	名称	個数	1 SW	両開きドア	1	1 SD	ランマFIX窓付片開きフラッシュドア	1	2 SD	両開きフラッシュドア	2	3 SD	片開きフラッシュドア	4	
	室名	1階廊下				1階階段室				4階屋上				3階体育室		
形状																
材料	ステンレス (鏡面 角出し)				鋼板				鋼板				鋼板			
仕上見込	100				100 OP				100 OP				100 OP			
硝子	網入熱線吸収ガラス 厚8.0、厚3.0 (ランマ)				網入り透明 厚6.8				-				-			
金物	フローアヒンジ・シリンダー本締錠・フランス落し・押棒 (ハンドル)・オペレーター (5mm)				ヒポットヒンジ・ドアチェック シリンダー錠 (握玉付自動本締錠) サムターン付				ヒポットヒンジ・ドアチェック シリンダー錠 (握玉付自動本締錠) サムターン付				ヒポットヒンジ・ドアチェック シリンダー錠 (握玉付自動本締錠) サムターン付			
備考																
改修後	符号	名称	個数	1 SW	内倒し排煙窓	1	1 SD	ランマFIX窓付片開きフラッシュドア	1	2 SD	両開きフラッシュドア	2	3 SD	片開きフラッシュドア	4	
	室名	1階廊下				1階階段室				4階屋上				3階体育室		
形状																
材料	ステンレス (鏡面 角出し)				鋼板 1.6t				鋼板 1.6t				鋼板			
仕上見込	100				100 枠・扉とも焼付塗装				100 枠・扉とも焼付塗装				100 見えがかり面SOP			
硝子	網入り透明板ガラス 厚6.8				網入り透明板ガラス 厚6.8				-				-			
金物	オペレーター (ランマ)				ヒポットヒンジ・ドアチェック シリンダー錠 (レバーハンドル付自動本締錠) サムターン付				ヒポットヒンジ・ドアチェック シリンダー錠 (レバーハンドル付自動本締錠) サムターン付				ヒポットヒンジ・ドアチェック シリンダー錠 (握玉付自動本締錠) サムターン付			
備考	ランマのみかぶせ工法				既存枠：一部補修、かぶせ工法				既存枠：一部補修、かぶせ工法							

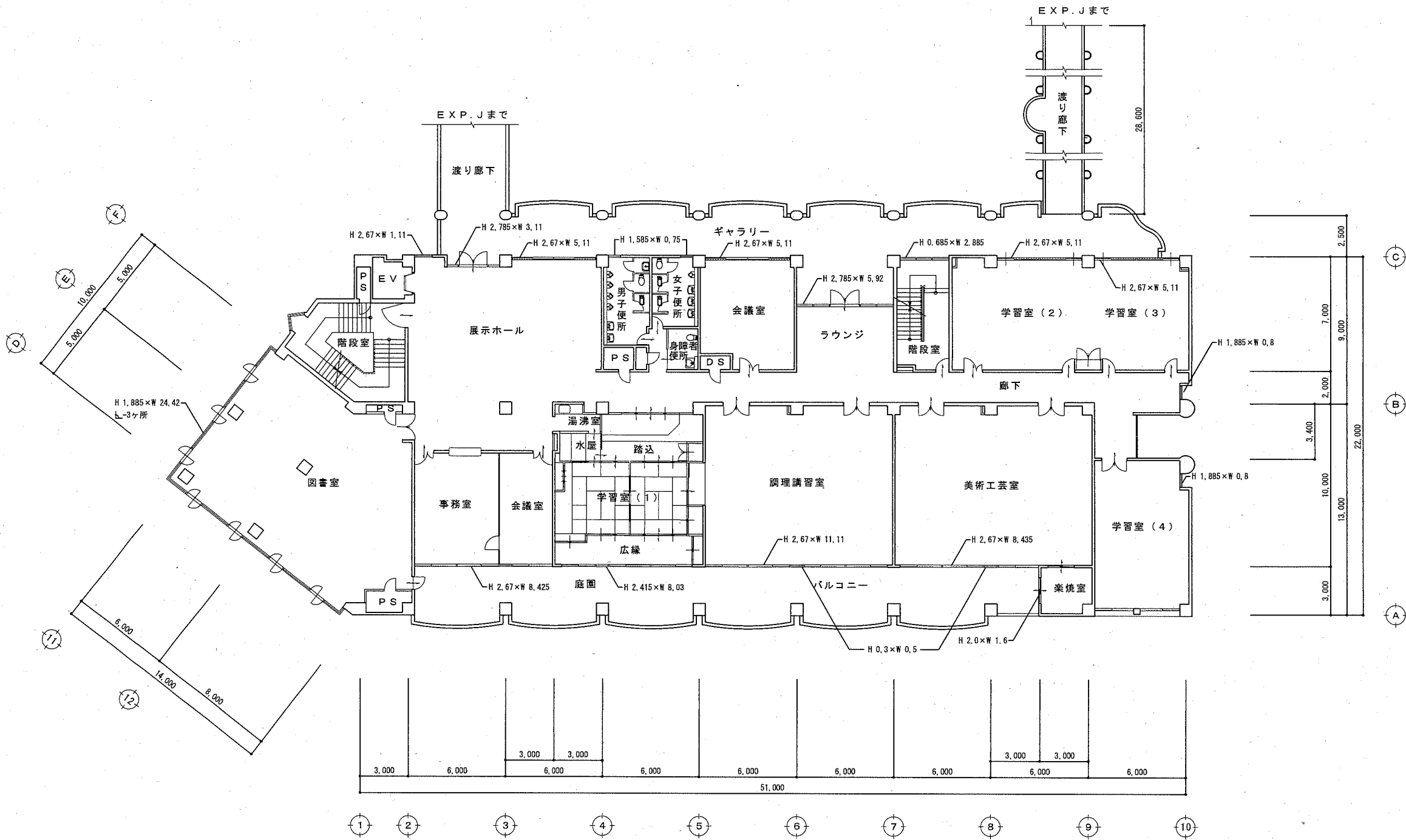




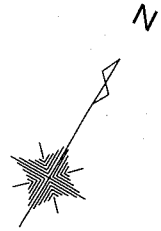
B 1 階平面図 1/200


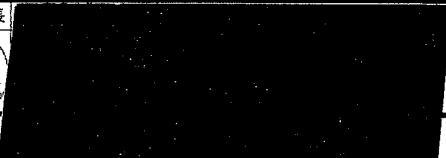
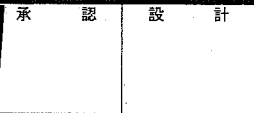


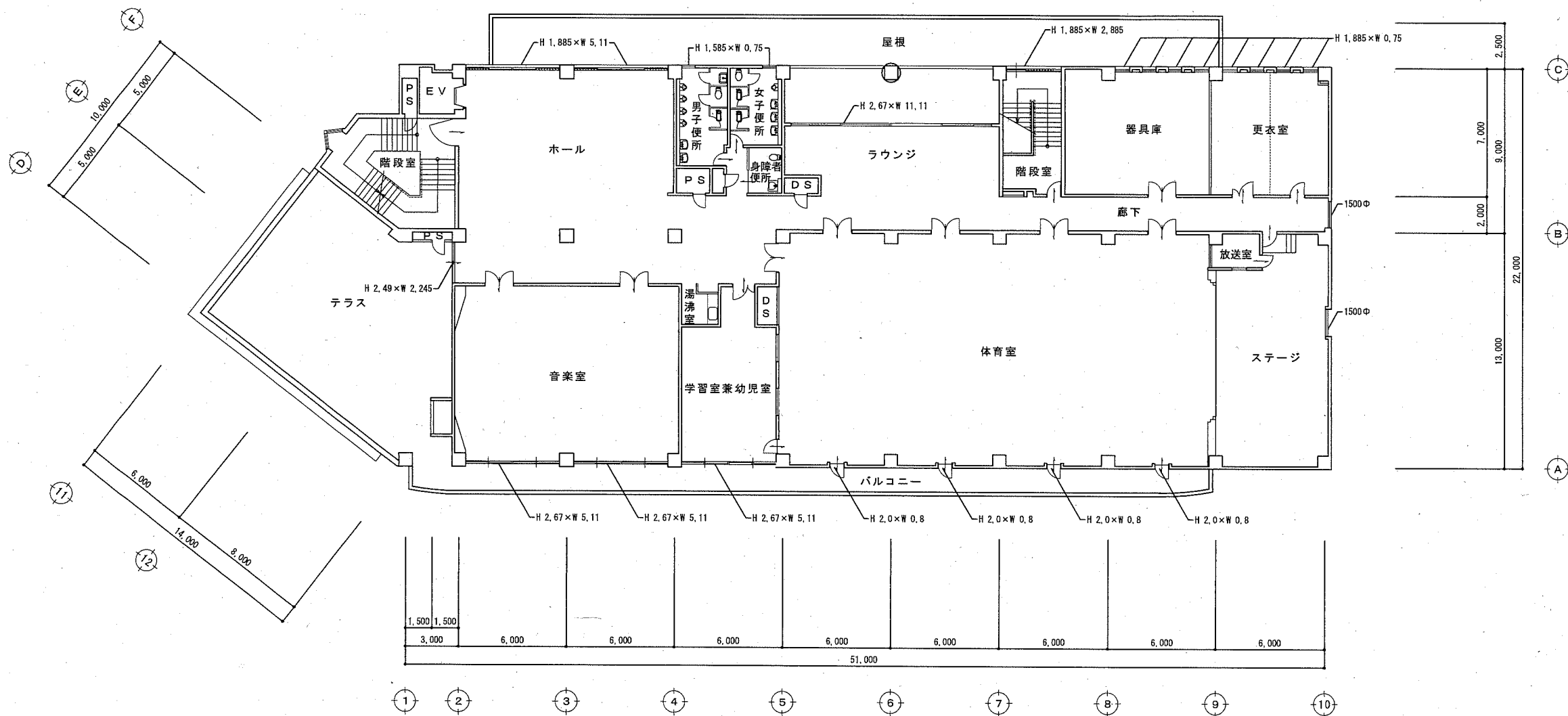
公共建築課長 	承認 	設計 	設計年月日 2019年11月 日	工事名 西行政センター 特定天井及び外壁タイルその他改修工事	図面番号 A-27
				図面名称 B 1 階平面図 (開口寸法図)	Scale 1/200



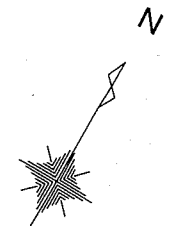
2階平面図 1/200




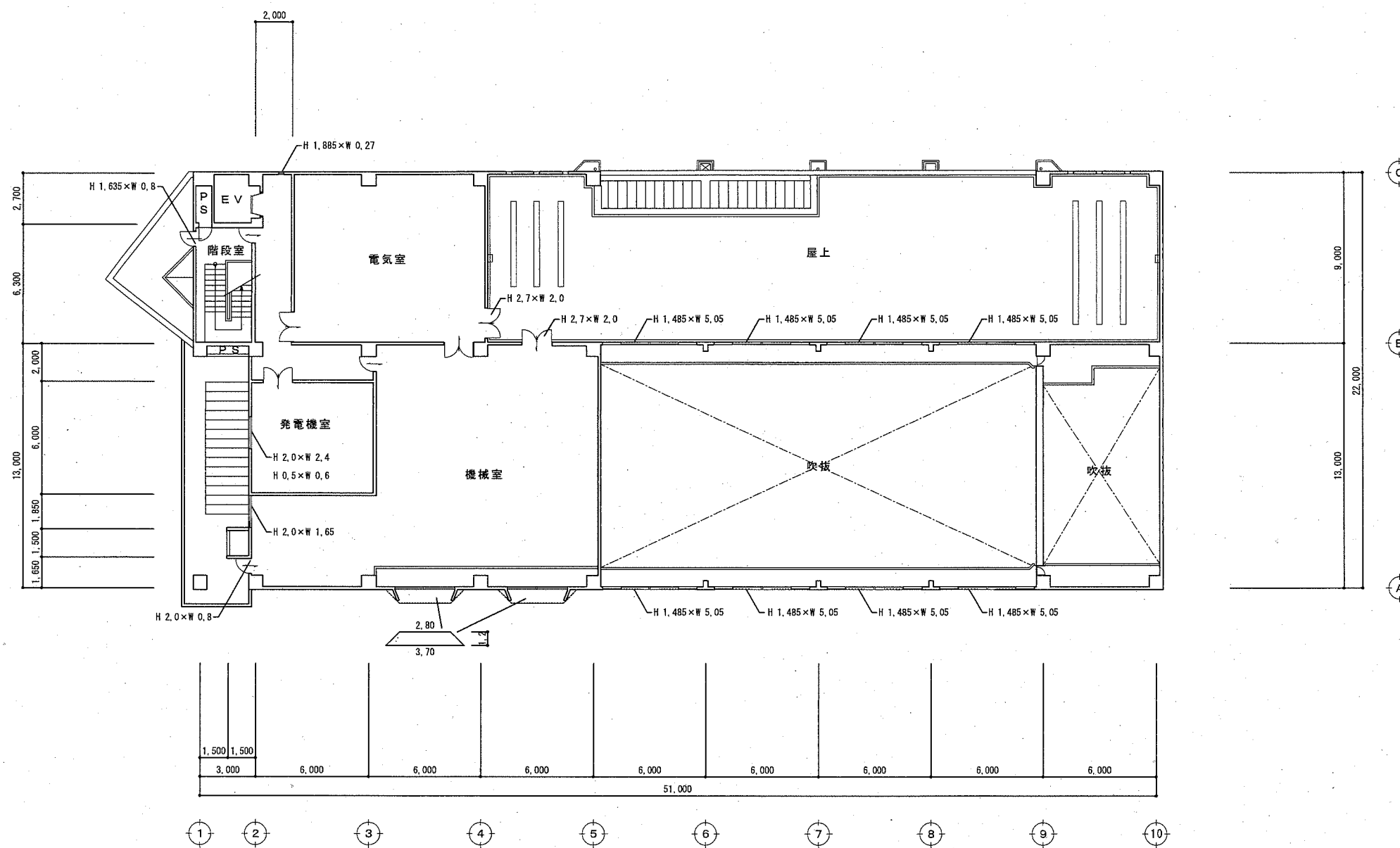
公共建築課長 	承認 	設計 	設計年月日 2019年11月 日	工事名 西行政センター 特定天井及び外壁タイルその他改修工事	図面番号 A-29
				図面名称 2階平面図 (開口寸法図)	Scale 1/200



3階平面図 1/200



公共建築課長 	承認	設計	設計年月日	西行政センター 特定天井及び外壁タイルその他改修工事 図面名称 3階平面図 (開口寸法図) Scale 1/200	図面番号 A-30
			2019年11月 日		



4階平面図 1/200



公共建築課長



承認設計
設計年月日
2019年11月 日



工事名 西行政センター
特定天井及び外壁タイルその他改修工事
図面名称 4階平面図
(開口寸法図) Scale 1/200

図面番号

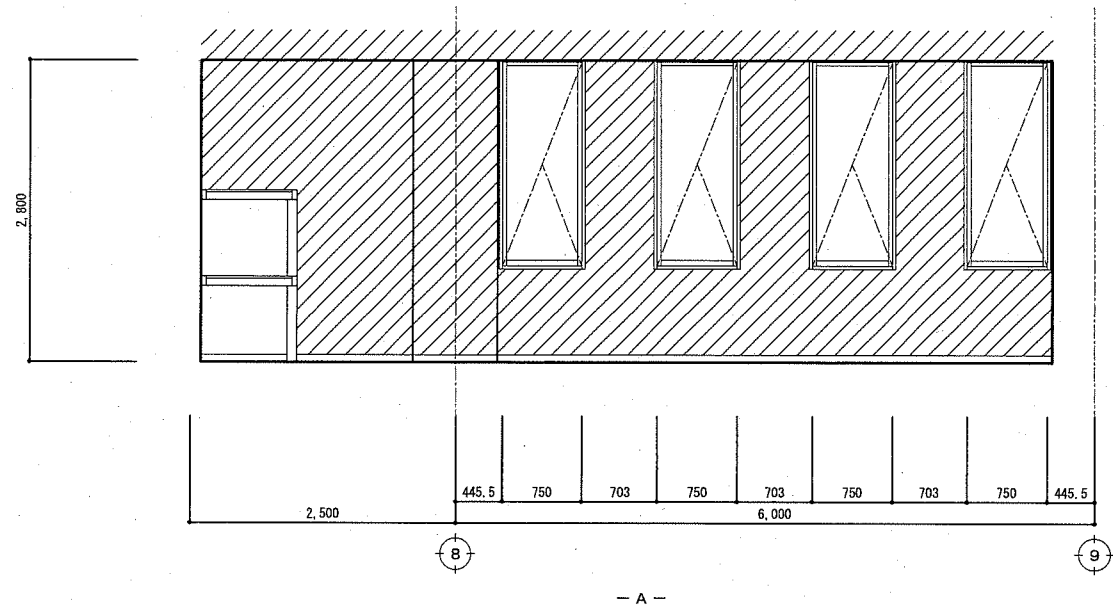
A-31

工事内容

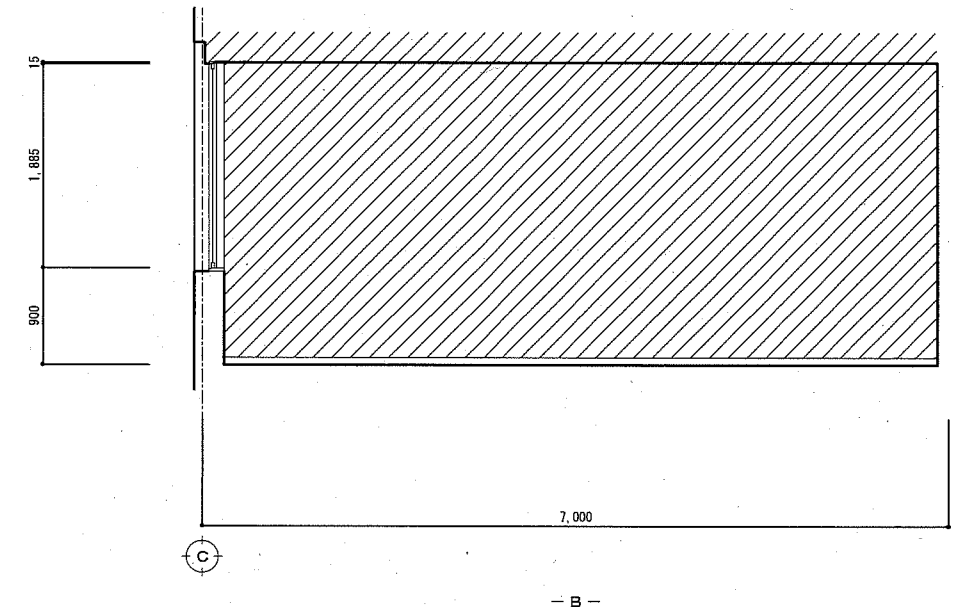
器具庫		
	既存	改修
天井	天井ボード撤去 (一重 下地・廻り縁共)	ロック化化粧吸音板厚12 (下張せっこうボード厚9.5 LGS下地@360 インサト含) 廻り縁(塩化ビニル製)
壁	せっこうボード一部撤去 (1800×900)	せっこうボード張り (1800×900) EP-G (工程B種 下地調整RB種)
巾木	—	—
床	—	—
備考		建具塗替え EP-G (木部工程B種 下地調整RB種) 天井点検口 (450×450)・開口補強: 1か所

 : 改修範囲を示す。
 : 改修部分を示す。

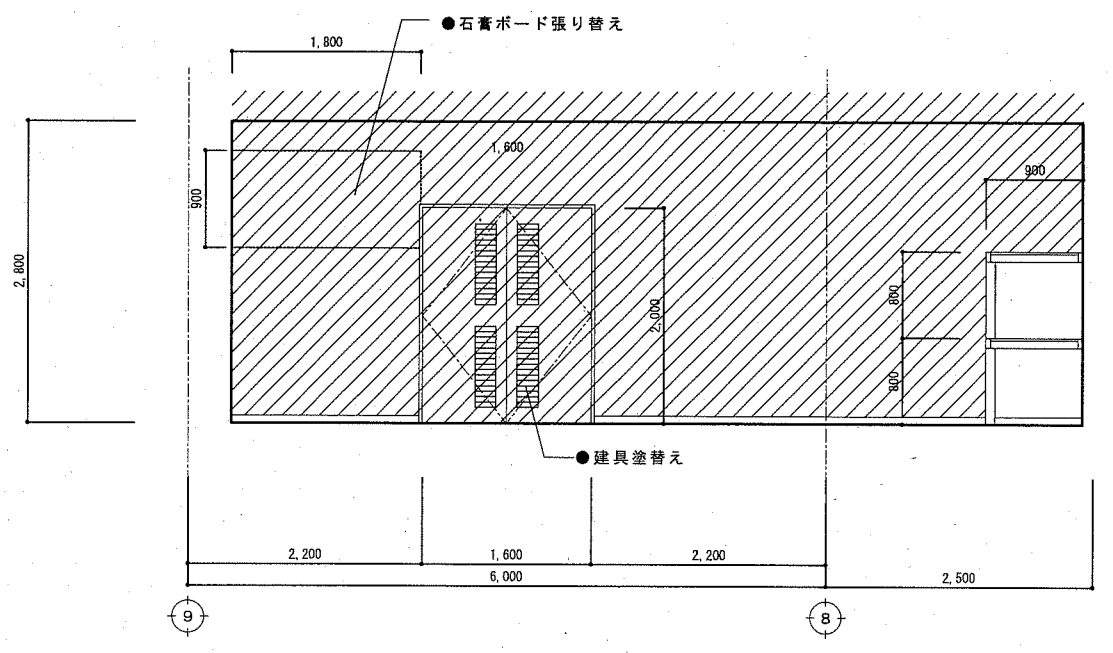
器具庫



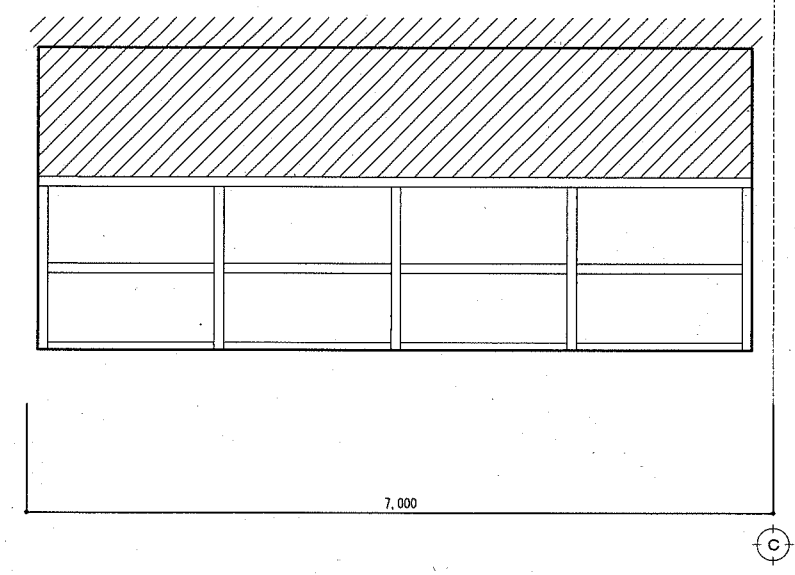
- A -



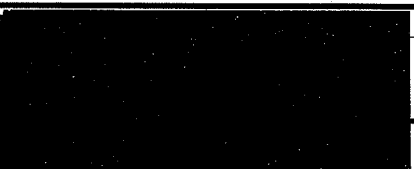
- B -



- C -



- D -




承認設計 設計年月日
2019年11月 日

工事名 西行政センター 特定天井及び外壁タイルその他改修工事
 図面名称 展開図(1) 器具庫 Scale 1/50

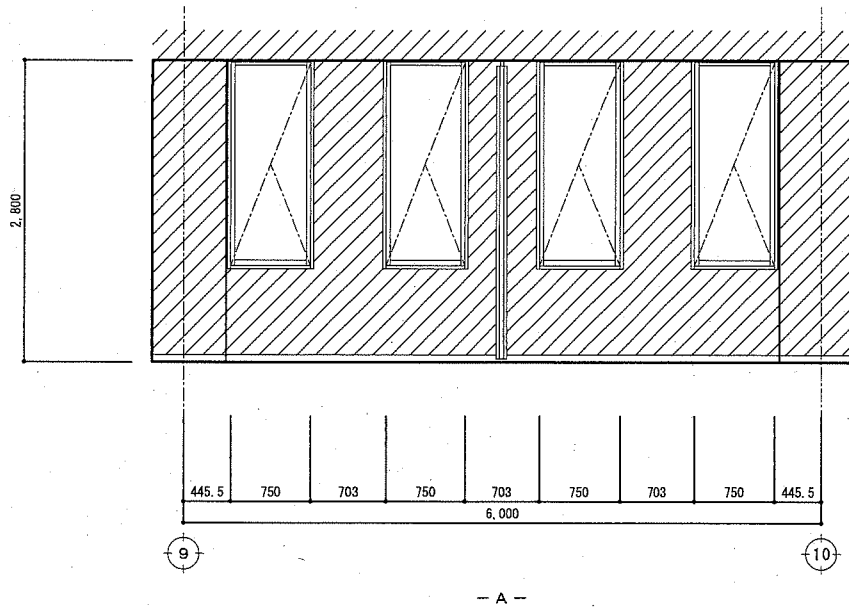
図面番号
A-32

工事内容

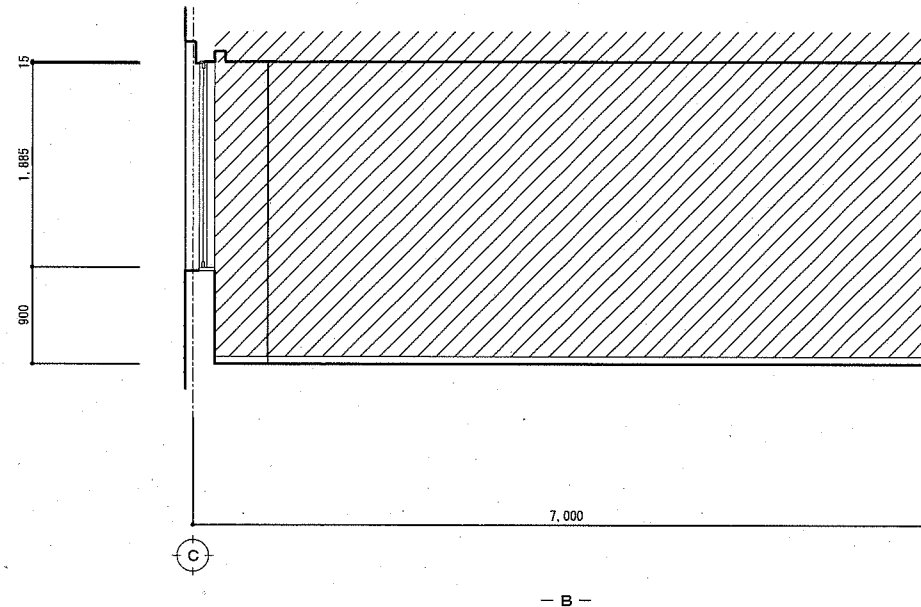
更衣室		
	既存	改修
天井	天井ボード撤去 (一重 下地・廻り縁共)	ロック化粒吸音板厚12 下張せつこうボード厚9.5 LGS下地@360 インサート含 廻り縁(塩化ビニル製)
壁	—	EP-G (工程B種 下地調整RB種)
巾木	—	—
床	—	—
備考	建具塗替え EP-G (木部工程B種 下地調整RB種) 天井点検口 (450×450)・開口補強: 1か所 設備用開口補強 (150×150程度): 2か所	

 : 改修範囲を示す。

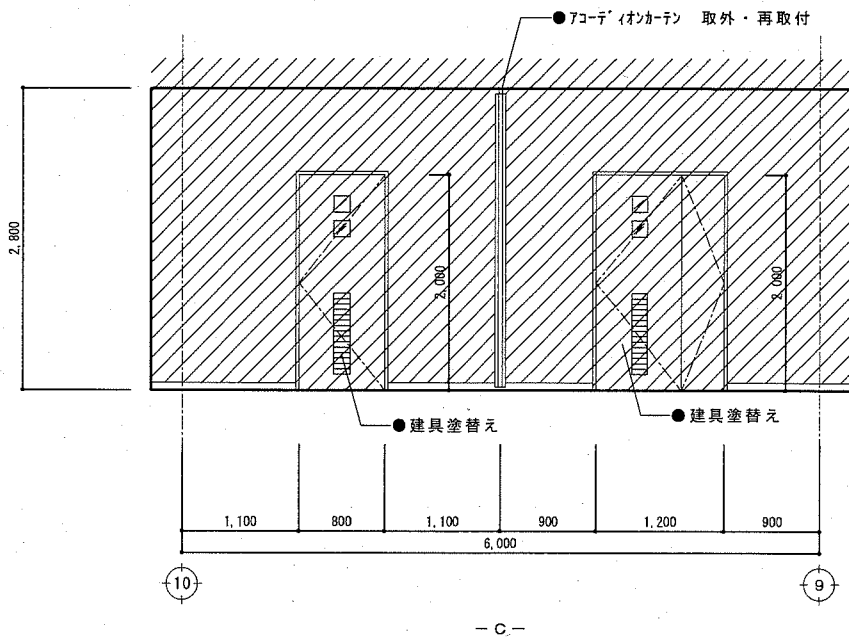
更衣室



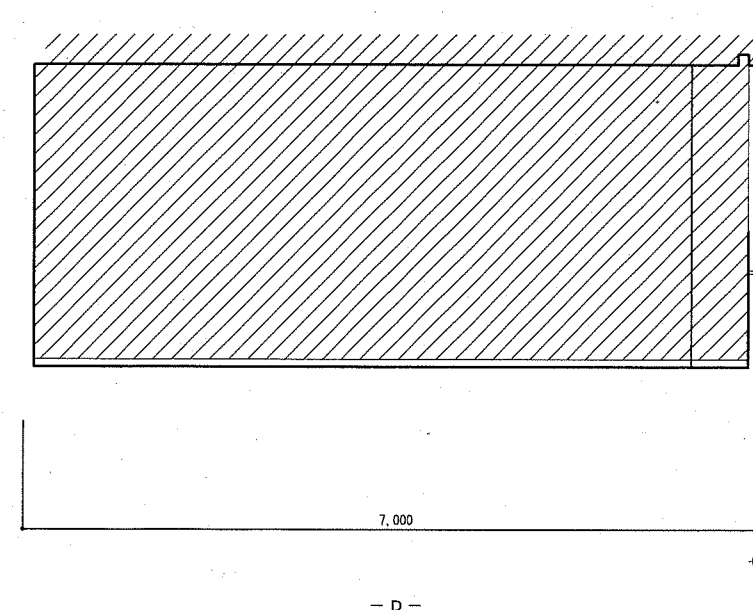
- A -



- B -



- C -



- D -

公共建築課長



承認 設計 設計年月日
2019年11月 日


工事名 西行政センター
特定天井及び外壁タイルその他改修工事
図面名称 展開図(2) 更衣室 Scale 1/50

図面番号

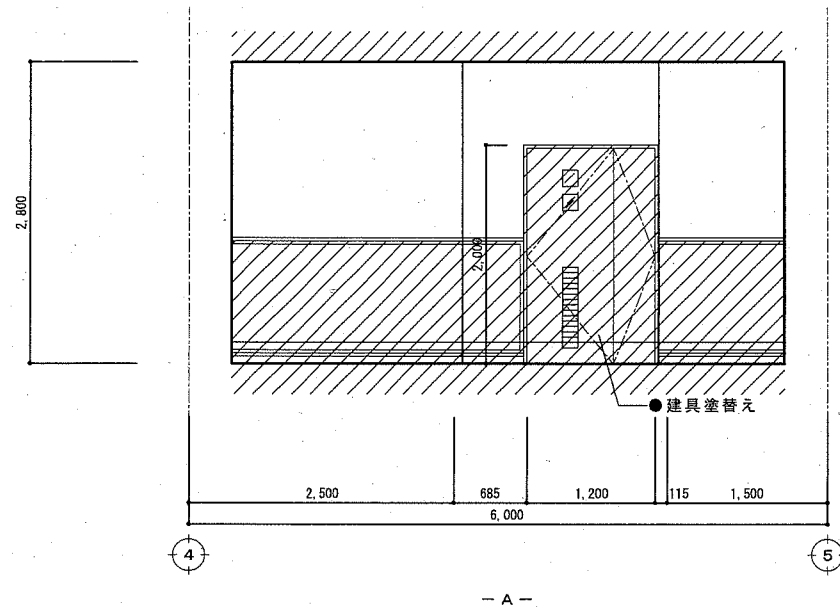
A-33

工事内容

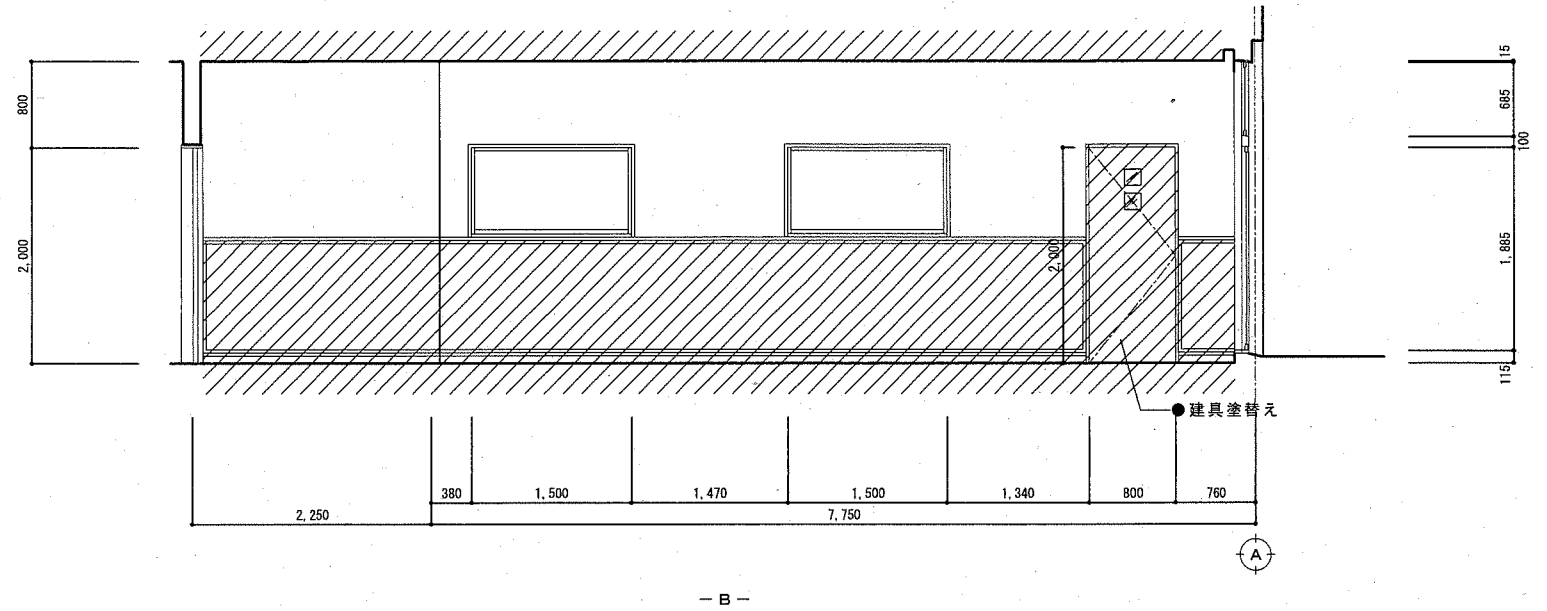
学習室 幼児室		
	既存	改修
天井	クロス撤去	クロス張り
壁	ビニールレザー貼り(クッション入)(腰:1,200)撤去	ビニールレザー貼り(クッション入)(腰:1,200)張り替え
巾木	—	OSCL塗(工程B種 下地調整RB種)
床	床カーペット撤去	タイルカーペット貼り
備考	—	—

 : 改修範囲を示す。

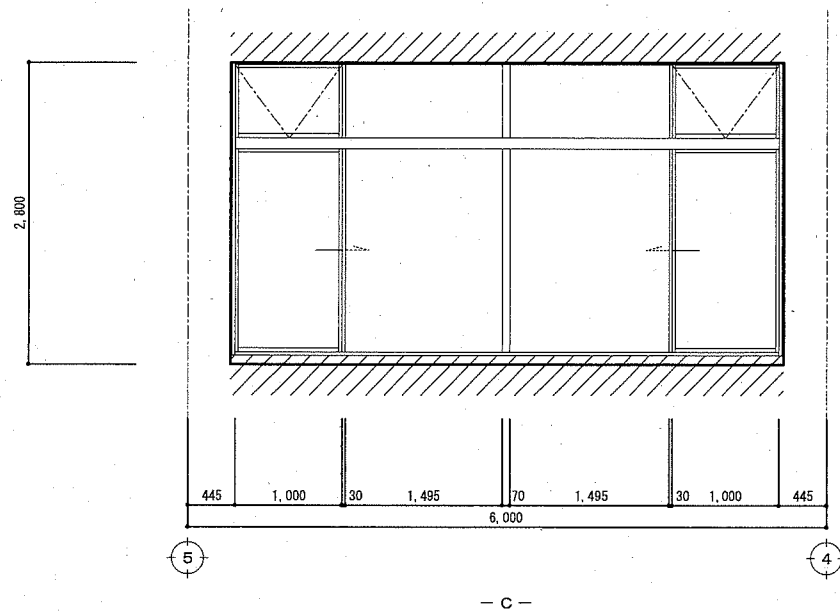
学習室 幼児室



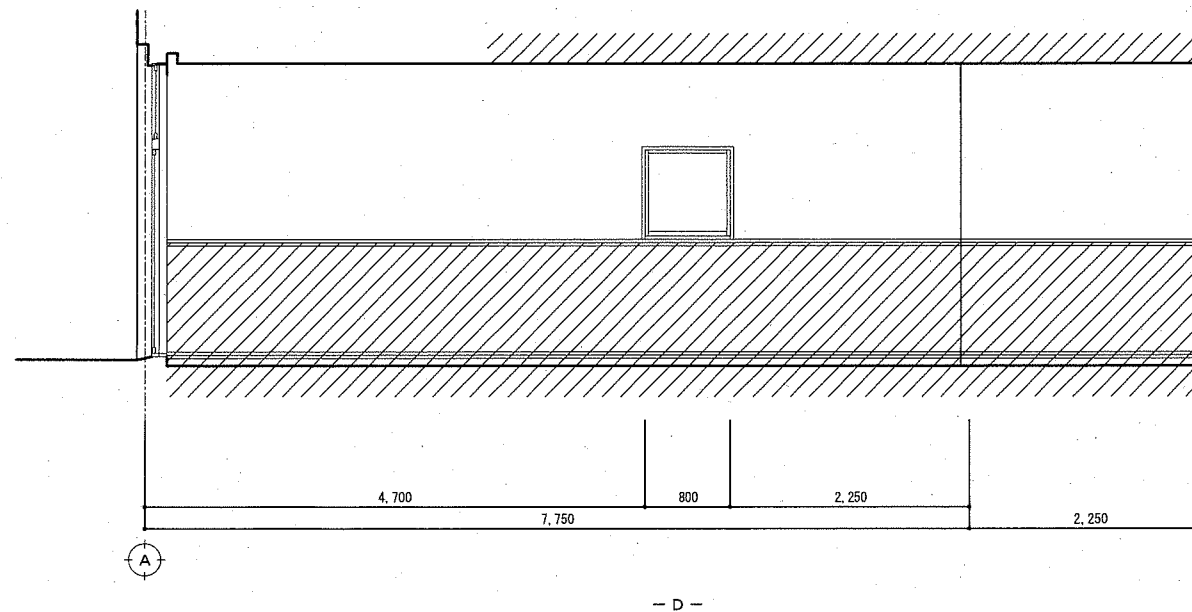
- A -



- B -



- C -



- D -

公共建築課長

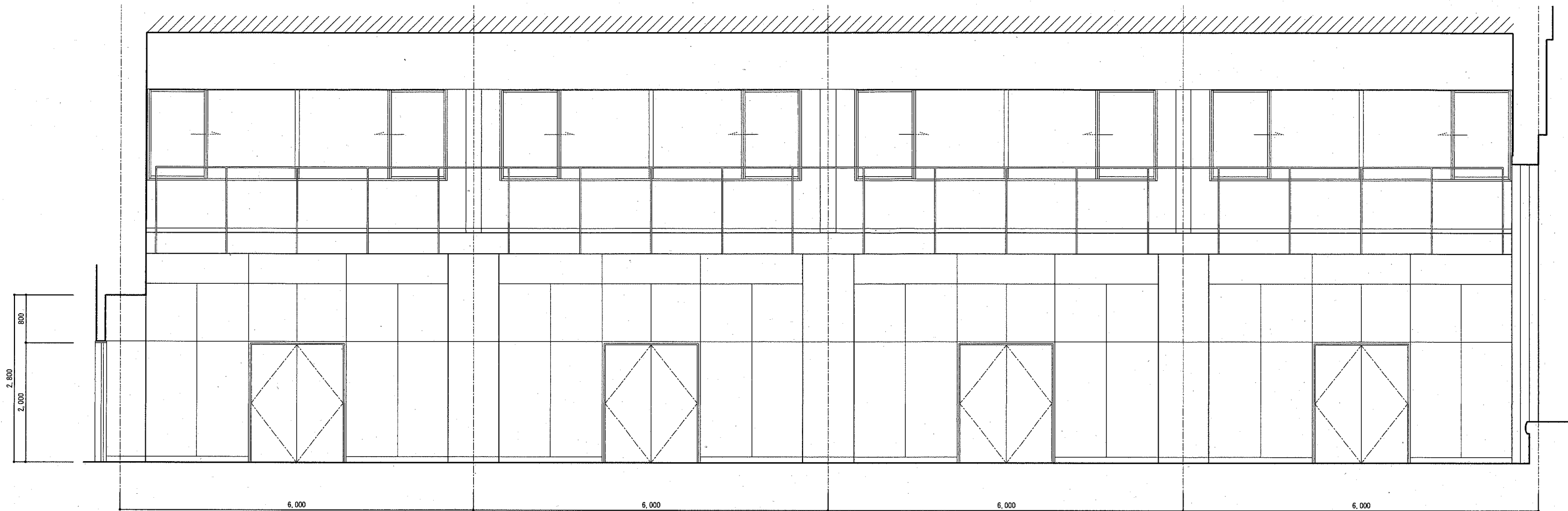


承認設計 設計年月日
2019年11月 日

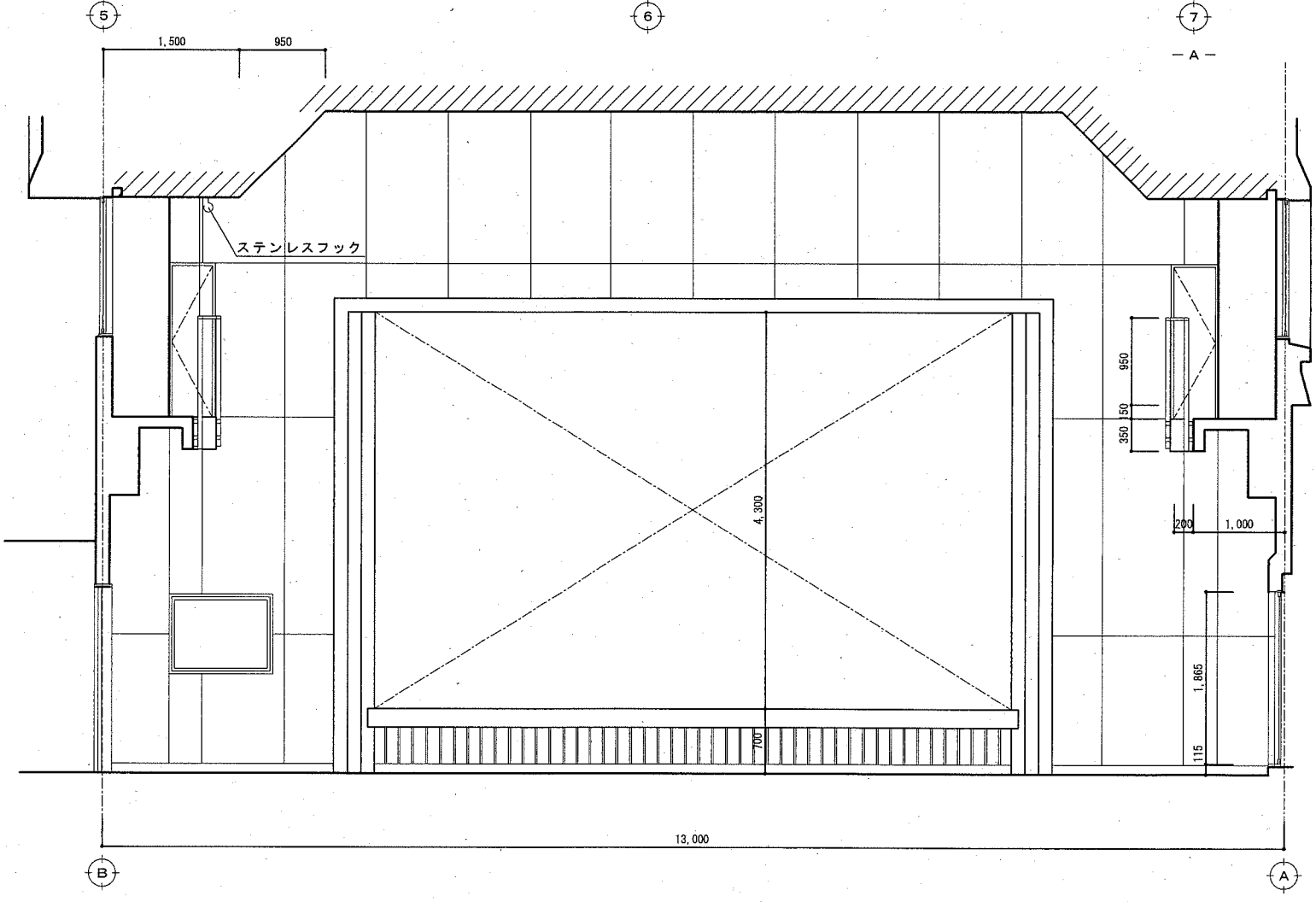
工事名 西行政センター
特定天井及び外壁タイルその他改修工事
図面名称 展開図(3) 学習室 幼児室 Scale 1/50

図面番号

A-34



体育室



改修範囲を示す。

工事内容

	体育室	
	既存	改修
天井	ガラスウレ成型板 (厚25.0ガラスウレ貼 下地共) 撤去	ガラスウレボード (ペイント仕上げガラス繊維布貼厚25 892×892)
壁	—	—
巾木	—	—
床	—	—
備考	暗幕カーテン取り外し	建具塗替え SD-3 暗幕カーテン再取付

公共建築課長

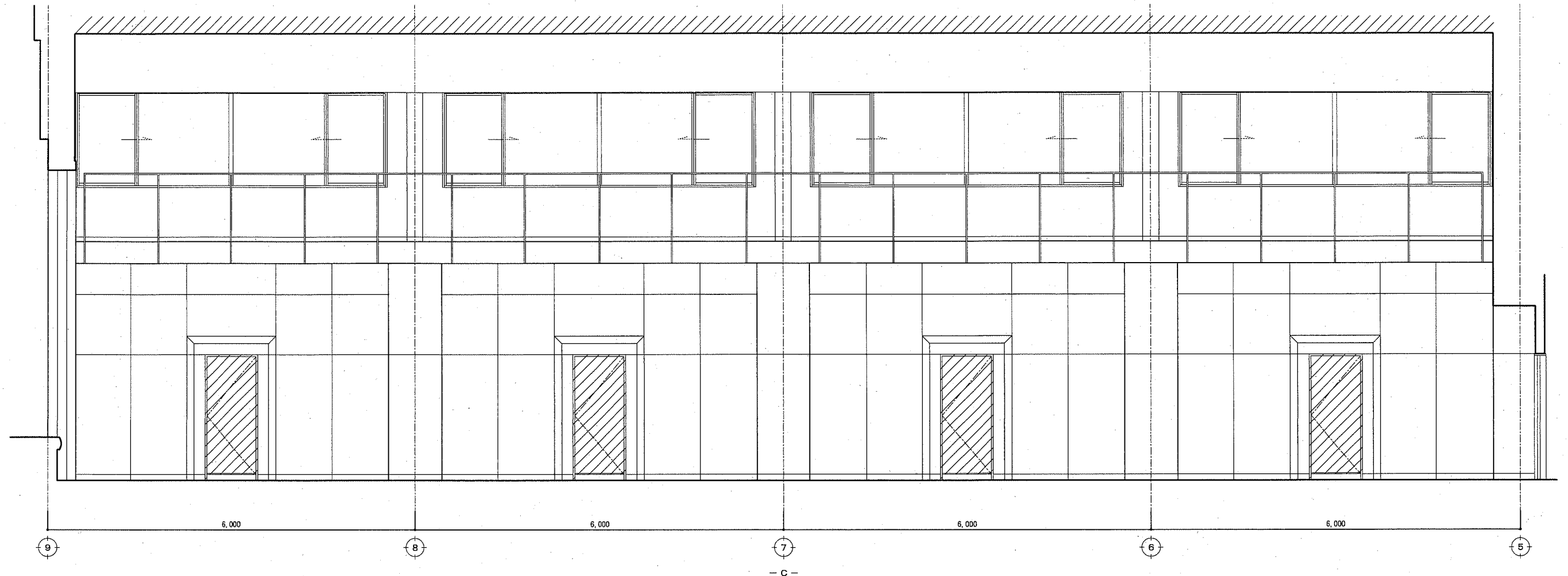


承認設計 設計年月日
2019年11月 日

工事名 西行政センター
特定天井及び外壁タイルその他改修工事
図面名称 展開図(4) 体育室1 Scale 1/50

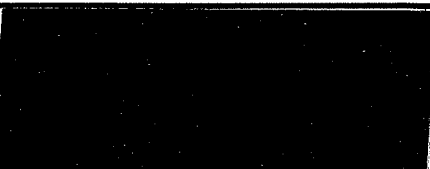
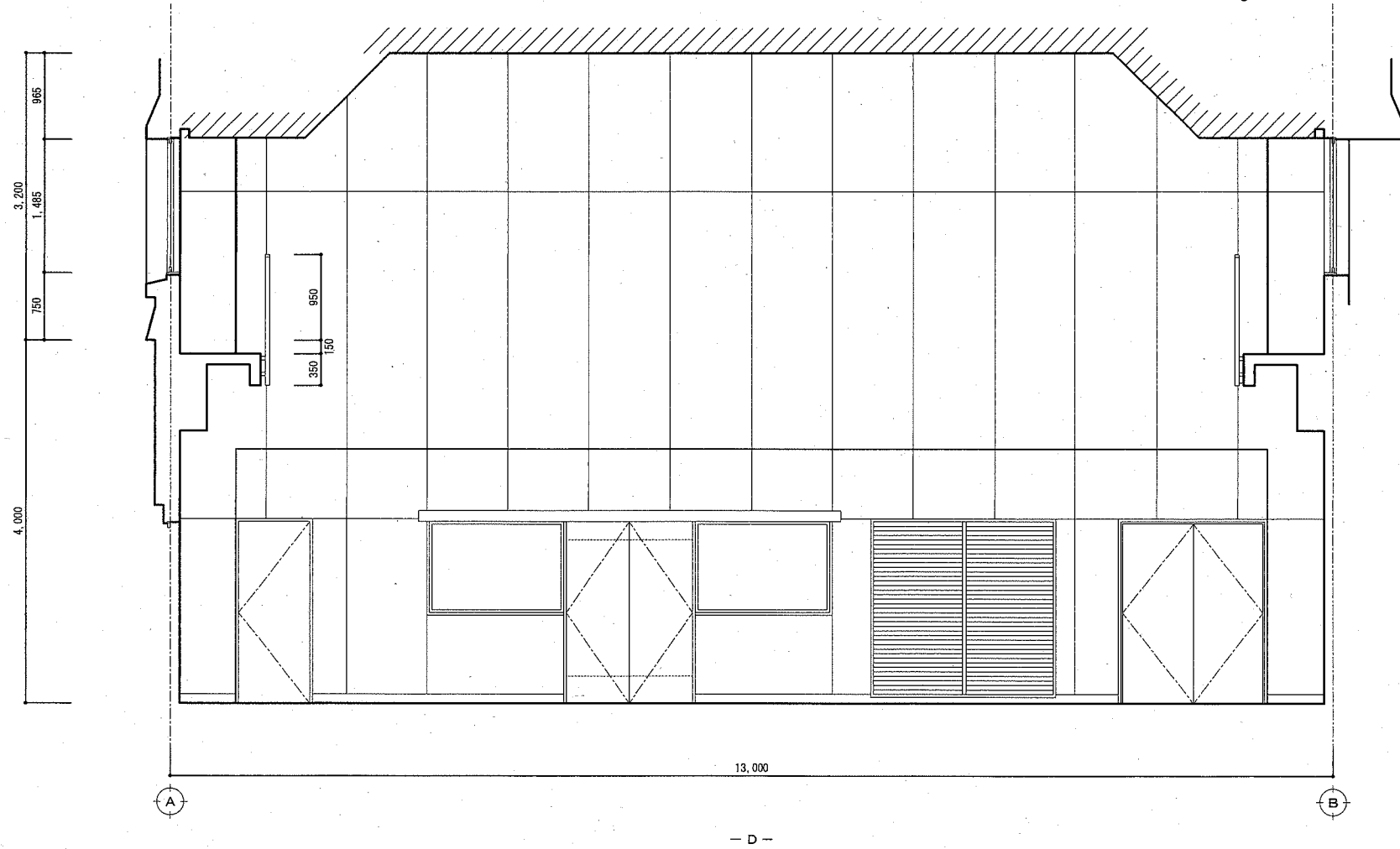
図面番号

A-35



体育室

：改修範囲を示す。



承認設計 設計年月日
2019年11月 日

工事名 西行政センター
特定天井及び外壁タイルその他改修工事
図面名称 展開図(5) 体育室2 Scale 1/50

図面番号
A-36

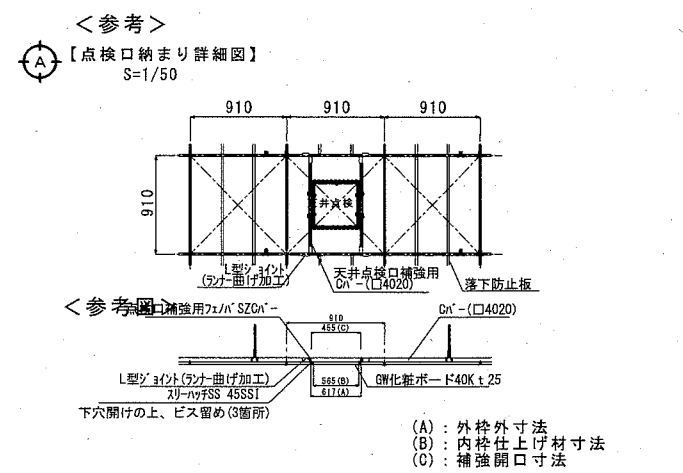
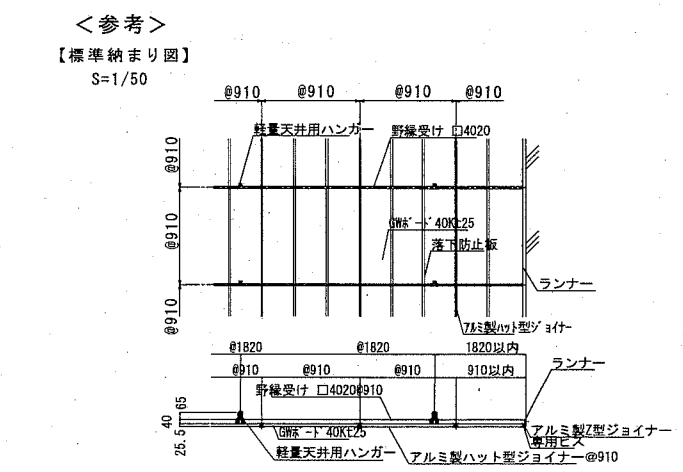
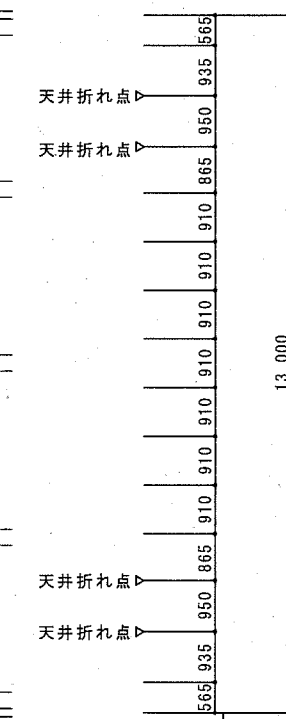
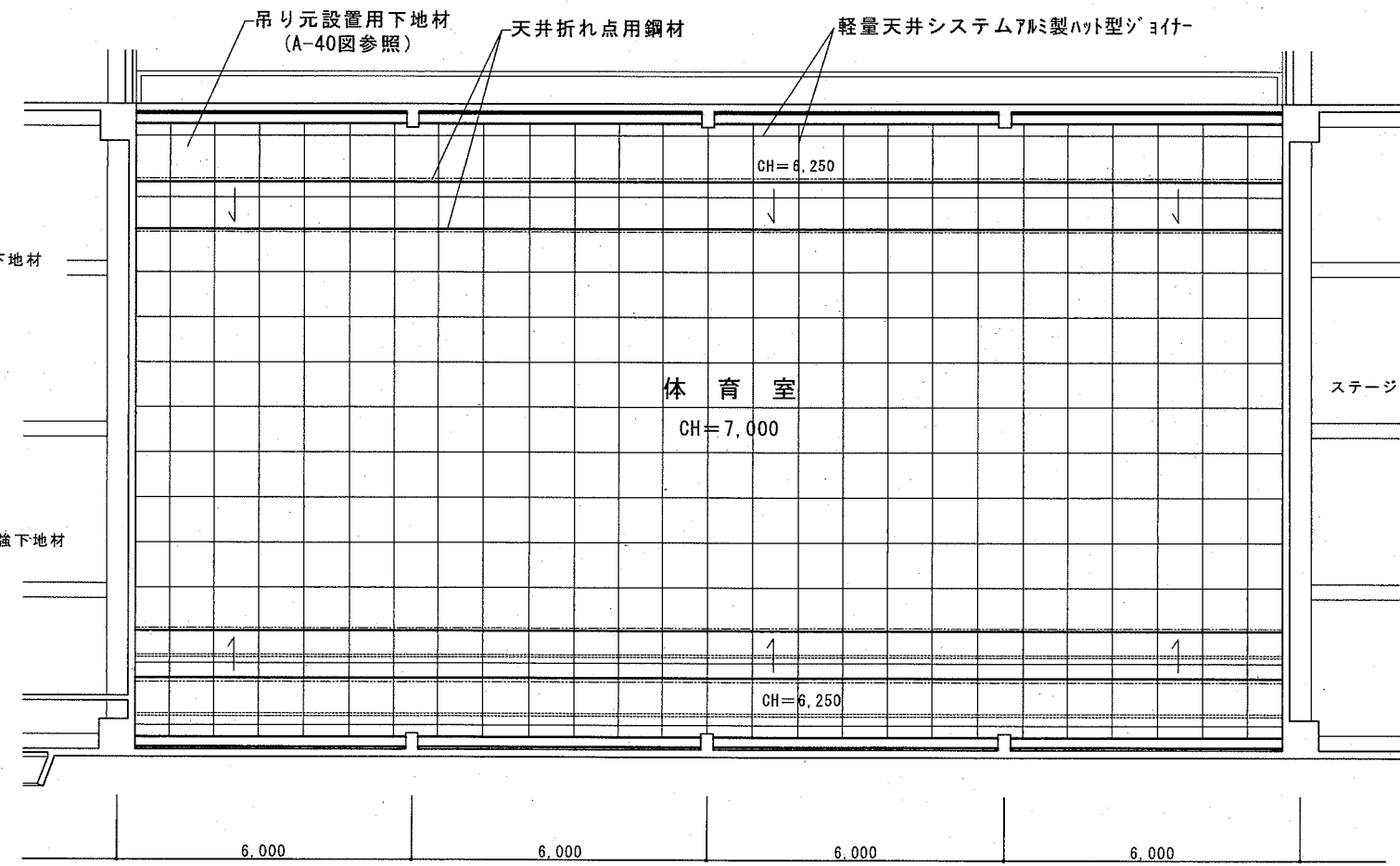
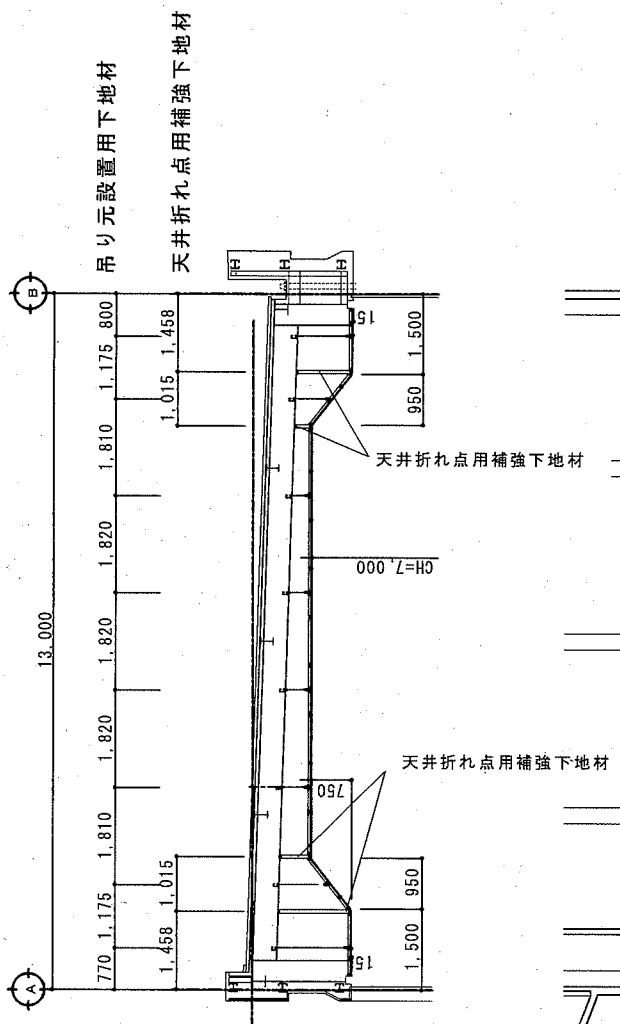
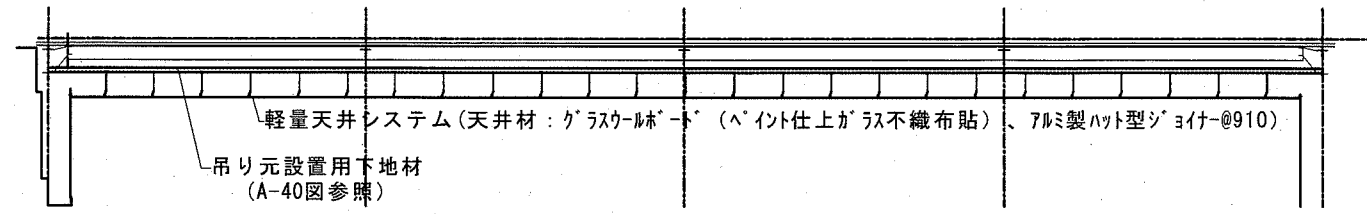
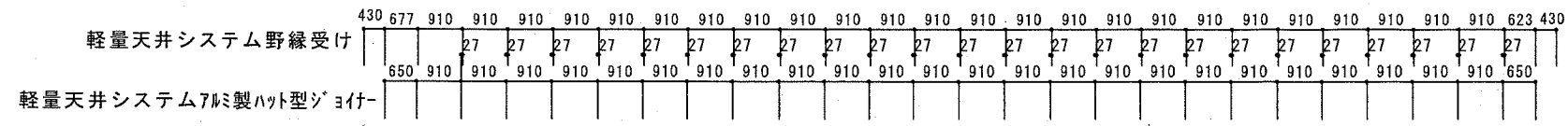
<p>Ra-1 3階ラウンジ横 3階屋根 階段室屋根 1/30</p> <p>ウレタン系塗膜防水</p>	<p>Ra-2 3階バルコニー 1/30</p> <p>ウレタン系塗膜防水</p>	<p>Ra-3 3階テラス 1/30</p> <p>ウレタン系塗膜防水</p>	<p>Ra-4 4・R階 1/30</p> <p>ウレタン系塗膜防水</p>
<p>4階ドレン継ぎ改修 1/30</p>	<p>4階タラップガード 1/30</p>	<p>Rb 体育室屋根 1/30</p> <p>遮熱断熱親水性塗膜塗料</p>	

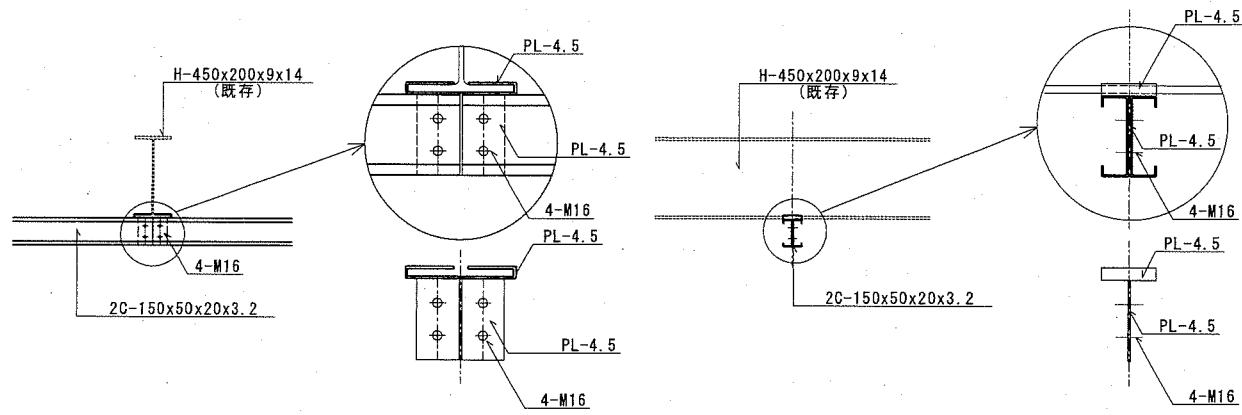


特定天井改修仕様

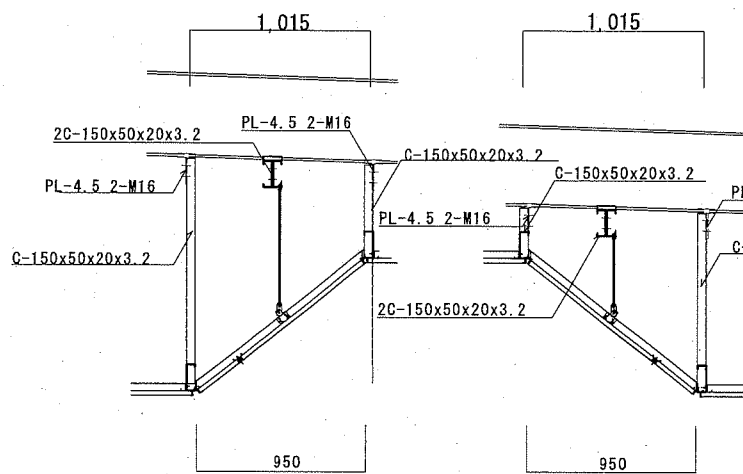
グラスウールボード(ペイント仕上げガラス不織布貼) 密度40kg/m³ 厚25 892×892。
 吊りネット間隔: X軸910(野縁受け直行方向)×Y軸1820以内(野縁受け平行方向)、
 端部はね出しはX軸方向: 910以内、Y軸方向: 1820以内とし、壁際等周辺野縁は壁又は
 取付下地材等に固定すること。
 グラスウールボード1枚当たり 原則として2本の落下防止板を設ける。
 勾配部分は、10寸(45度)以下とし、
 天井面構成部材の水平投影面積あたりの重量が2.0kg/m²未満として確認し施工を行うこと。

- ・天井点検口設置(450×450、開口補強含む): 4か所
- ・照明器具用開口(Φ430程度、開口補強含む): 24か所
- ・設備機器開口(Φ200程度、開口補強含む): 2か所 (スピーカー)
- ・吊りネット及び配線用開口(Φ150程度): 6か所
- ・設備機器取付材: 2か所 (非常用照明) ※フェノール樹脂発泡不燃ボード
- ・設備機器取付材: 5か所 (感知器)

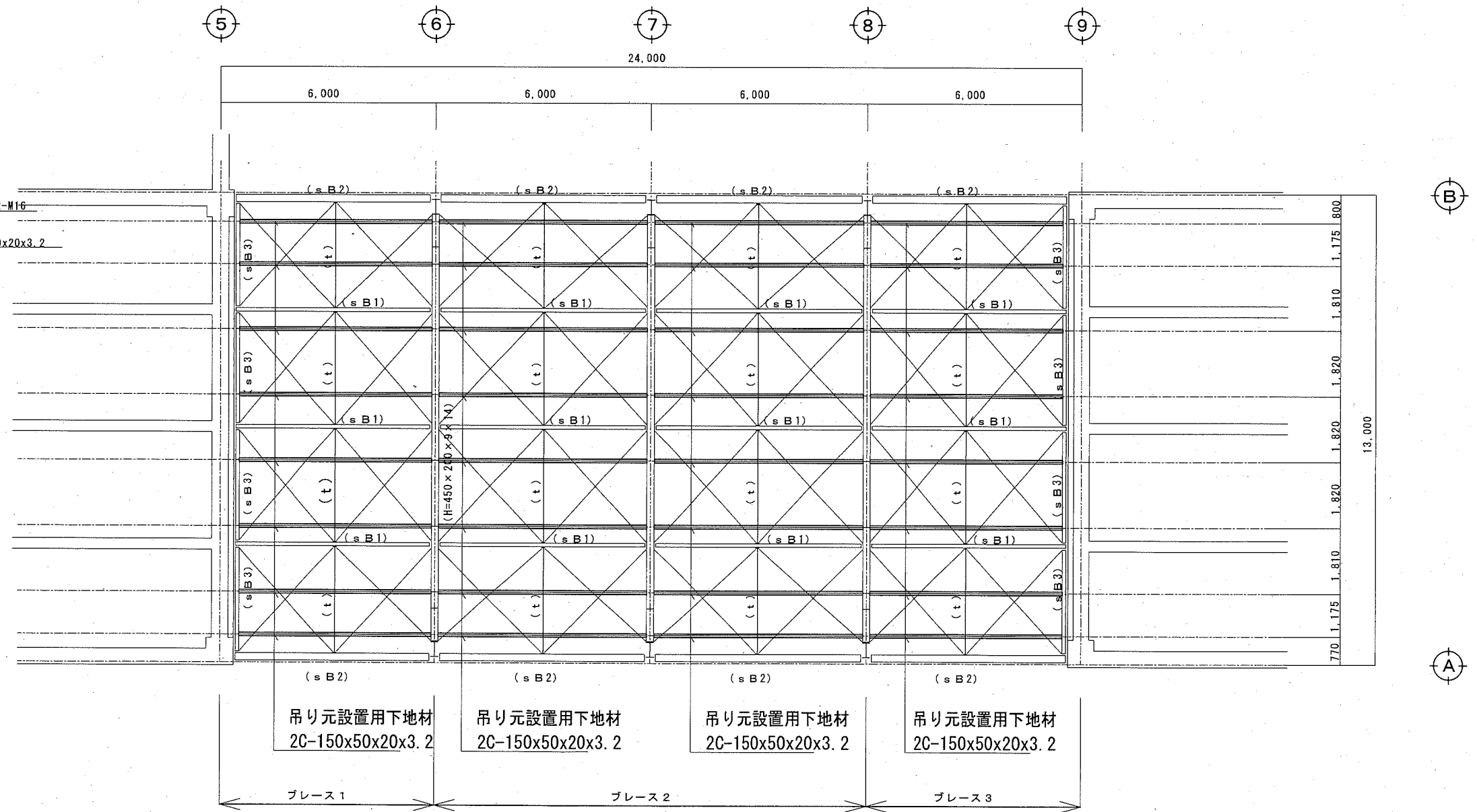




吊り元設置用下地材接続部 1/30



天井折れ点用補強下地材接合部 1/30



4階梁伏図 1/100

() カッコは 既存を示す。

公共建築課長



承認 設計 設計年月日

2019年11月 日

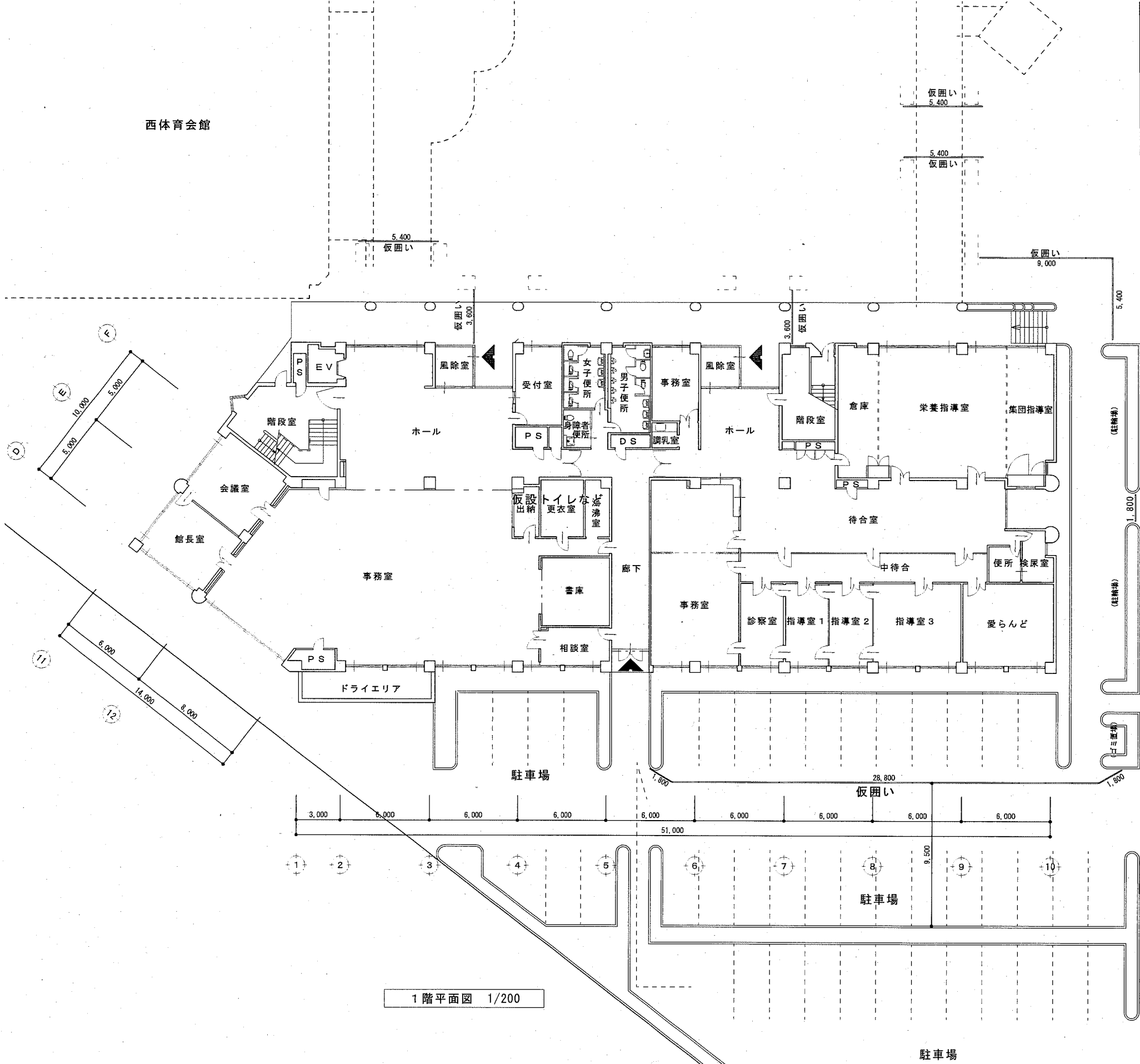
工事名 西行政センター
特定天井及び外壁タイルその他改修工事

図面番号

A-40

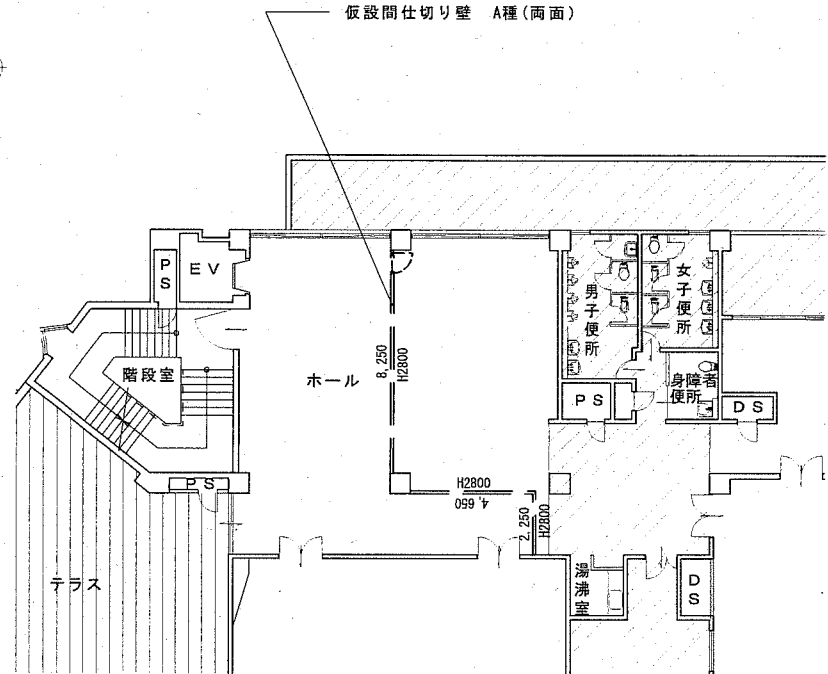
図面名称 体育室天井下地補強図 Scale 1/100・1/30

西体育会館



1階平面図 1/200

仮囲い (ガードフェンス H=1,800)
 仮設間仕切り壁 A種(両面)



3階平面図 1/200
 ホール部分



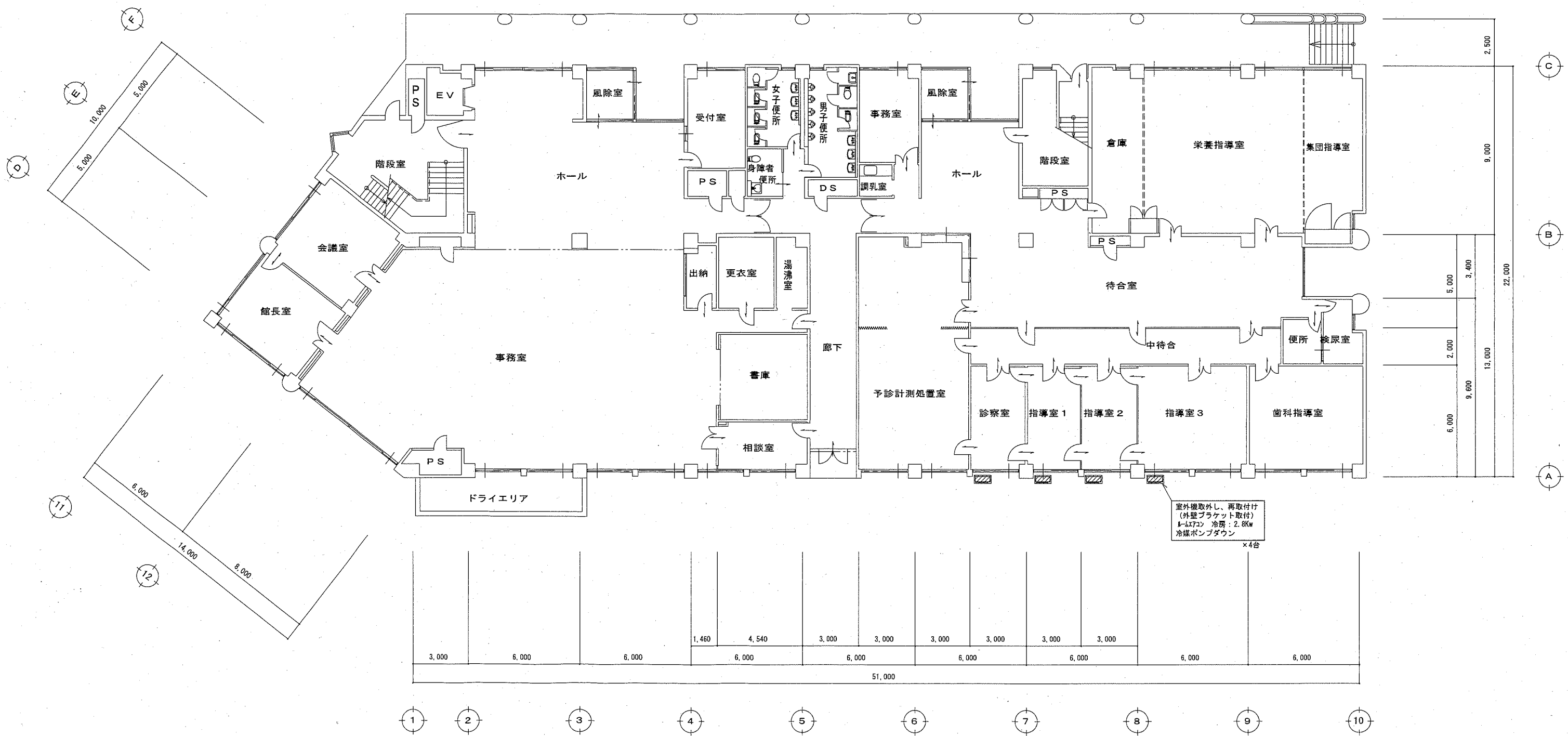
公共建築課長

承認設計 設計年月日
 2019年11月 日

工事名 西行政センター特定天井及び外壁タイルその他改修工事
 図面名称 仮設参考図 Scale 1/200

図面番号
 A-41

2,000 4,000 3,000 3,000 3,000 3,000 3,000 3,000 3,000 3,000 3,500 2,500



室外機取外し、再取付け
(外壁ブラケット取付)
1x1x700 冷房：2.8kW
冷媒ボンパダウン
x4台



公共建築課長

承認 設計

設計年月日

2019年11月 日

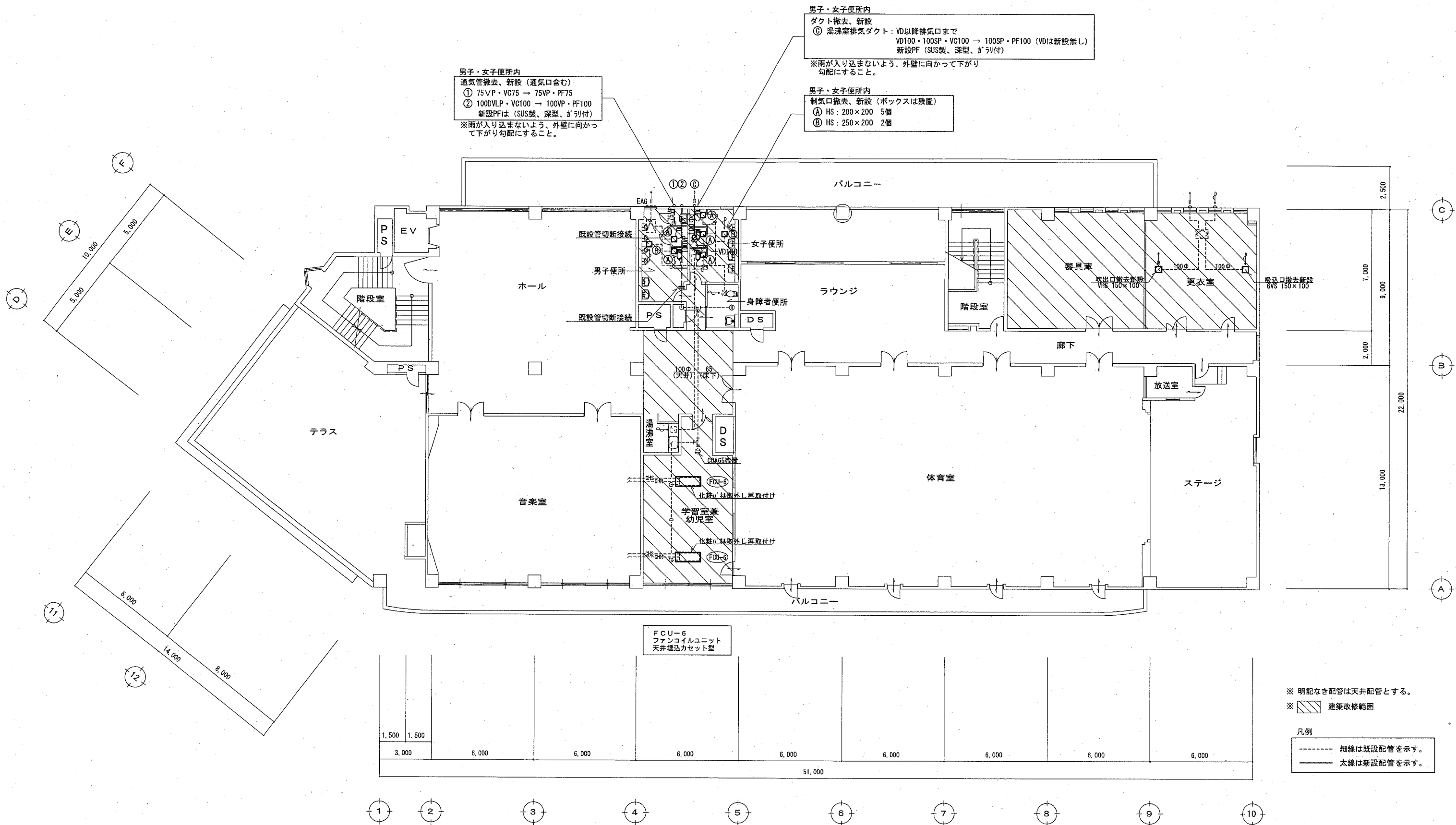
工事名 西行政センター特定天井及び外壁タイルその他改修工事

図面番号

図面名称 機械設備 1階平面図

Scale 1/150 (A2)

M-02



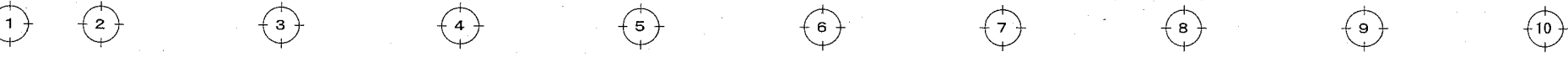
男子・女子便所内
 通気管撤去、新設（通気口含む）
 ① 75VP・VC75 → 75VP・PF75
 ② 100DVP・VC100 → 100VP・PF100
 新設PFは（SUS製、深型、カ引付）
 ※雨が入り込まないよう、外壁に向かって下がり勾配にすること。

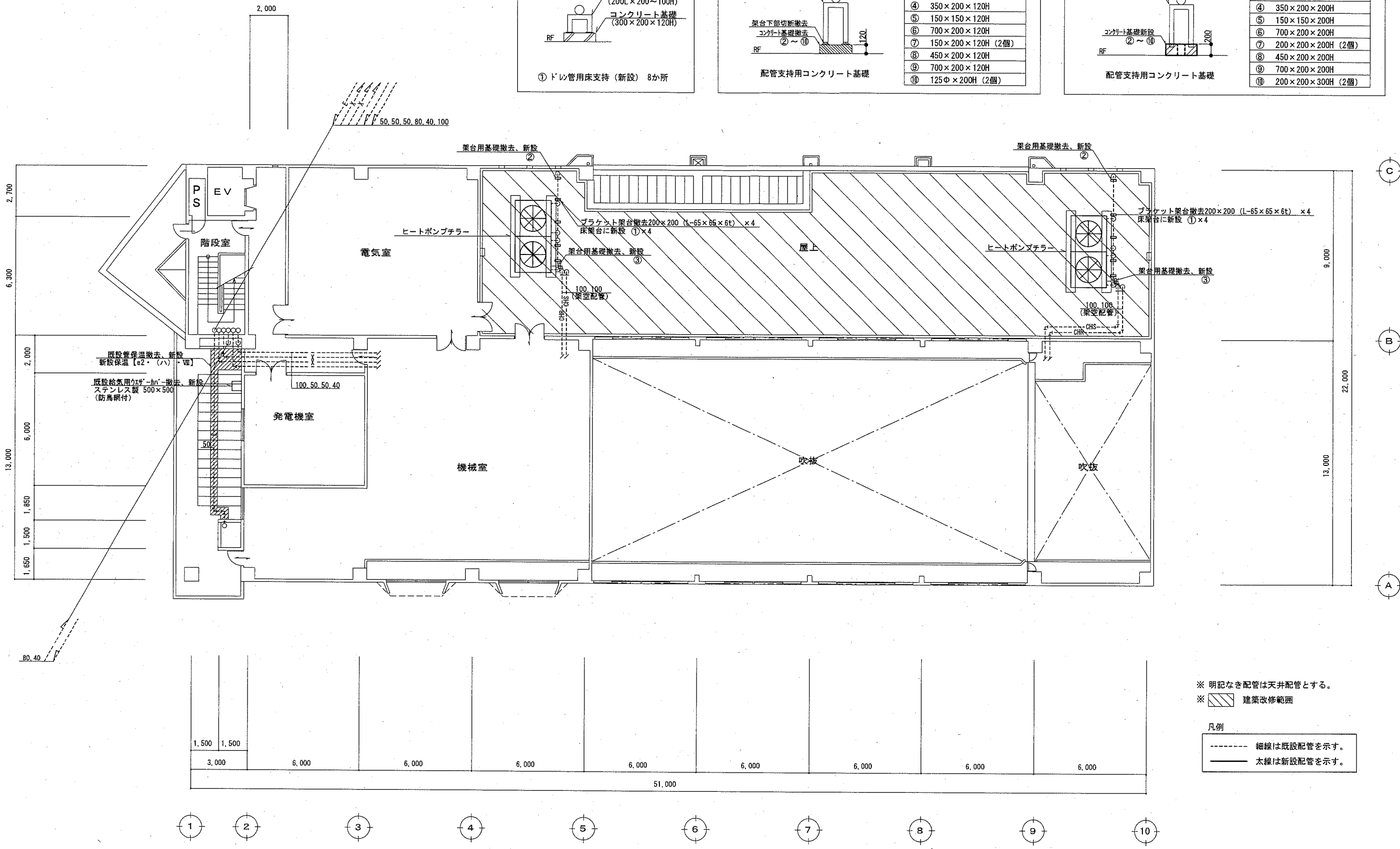
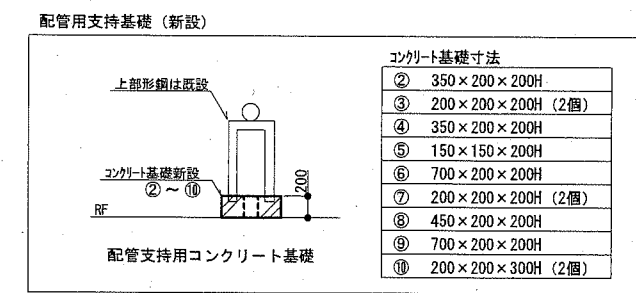
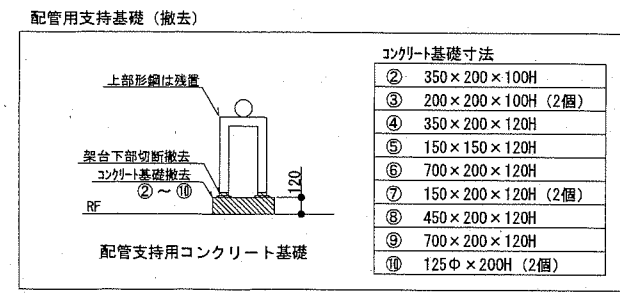
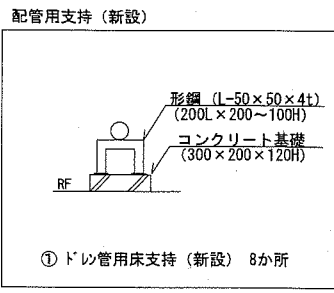
男子・女子便所内
 ダクト撤去、新設
 ③ 湯沸室排気ダクト：VD以降排気口まで
 VD100・100SP・VC100 → 100SP・PF100（VDは新設無し）
 新設PF（SUS製、深型、カ引付）
 ※雨が入り込まないよう、外壁に向かって下がり勾配にすること。

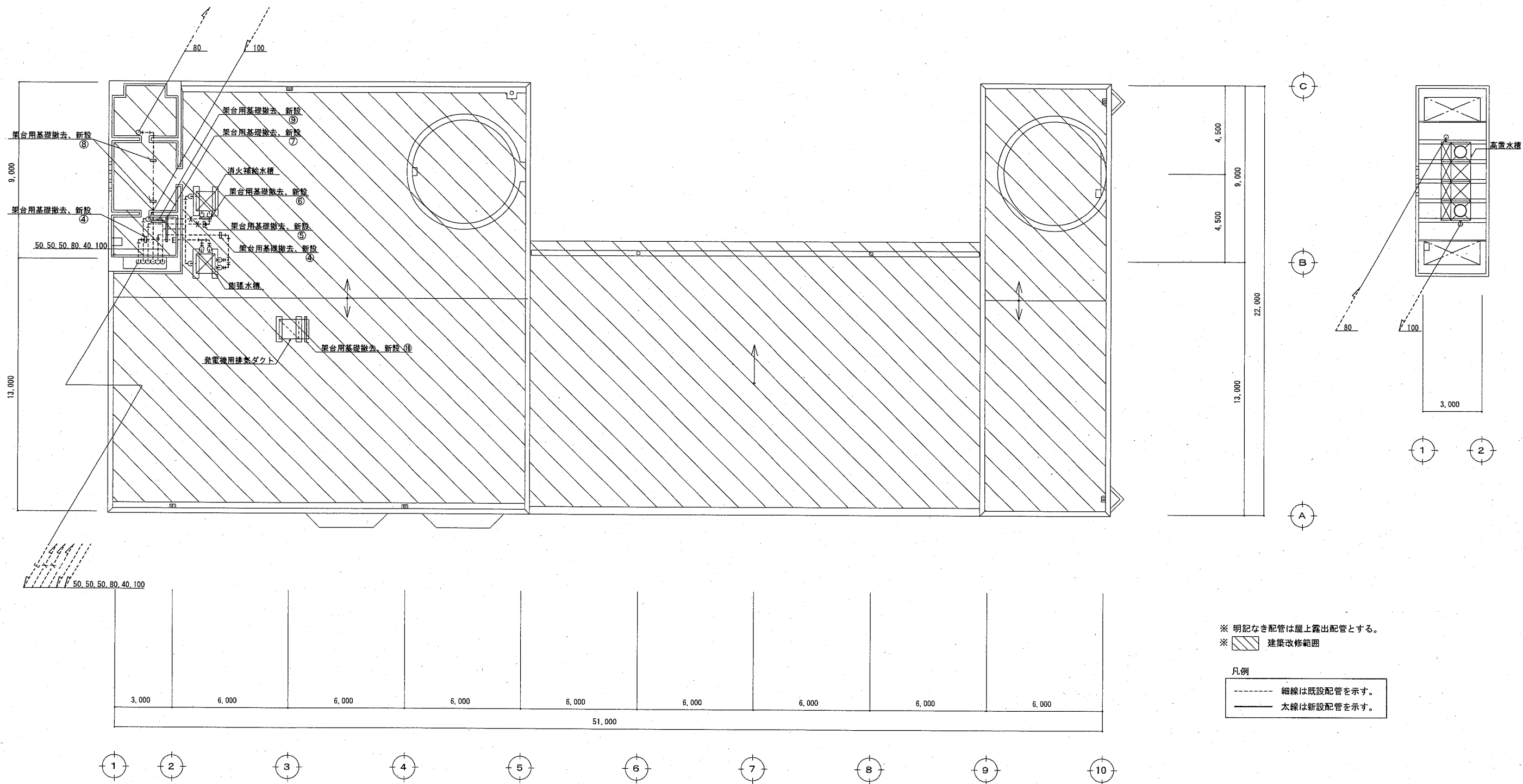
男子・女子便所内
 制気口撤去、新設（ボックスは残置）
 ④ HS：200×200 5個
 ⑤ HS：250×200 2個

FCU-6
 ファンコイルユニット
 天井埋込カセット型

※ 明記なき配管は天井配管とする。
 ※ 建築改修範囲
 凡例
 - - - 細線は既設配管を示す。
 ——— 太線は新設配管を示す。







公共建築課長	承認	設計	設計年月日	西行政センター特定天井及び外壁タイルその他改修工事	図面番号
			2019年11月 日	図面名称 機械設備 R階平面図 Scale 1/150 (A2)	M-05